滿洲日報
三月十四日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村本武盛
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

九年度總豫算案 愈よ貴衆兩院を通過 貴族院けふ無修正可決

【東京十四日發國通】十四日貴族院本會議は午前十時開會、豫算案を上程し討論の後無修正でこれを可決した、かくて九年度豫算案は貴衆兩院を通過成立した

【東京十四日發國通】九年度の大豫算案を審議する十四日の貴族院本會議は午前十時二十五分開會、鐵道豫算に對する修正論が人氣を呼んで傍聽席は開會前既に空席なく重要議案の提出なきためこのところ多少だれ氣味だつた議場も久し振りに緊張を漲はせ、首相始め各閣僚もずらり居並び議員も滿員の盛況、開會直に日程に入り

一、昭和九年度歳出入總豫算案並に昭和九年度各特別會計歳出入總豫算案
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件

を一括議題とし柳澤委員長より豫算委員會における審議の經過結果を詳細報告、更に非常時財政の内容を説明し

かゝる顯著な國防費の増加ありしに拘はらず委員會では何等この點に關する質問なかつた、これは恐らく近き將來における問題を見透しての結果だと思ふ

と極めて皮肉な口調で總會の空氣を傳へ正味一時間に亘つて長廣舌を揮ひ報告を終る

傍聽席からビラ 齋藤内閣挂冠せよと 議員さん達面喰ひ

【東京特電十三日發】警戒嚴重な議會の傍聽席からけふはビラが撒かれて議場を面喰はせた、それは午後四時半頃米穀關係法案の質問中傍聽席からバーンといふ音がしたと思ふと議場目がけて黄いろい紙がばらまかれた、そのビラには齋藤内閣挂冠せよ、彼れに經綸なく勇斷なし、國家非常時の時艱は累加す強力人材内閣要望との文句が書いてあつた、犯人は直に逮捕されたが紙鐵砲やうのものに仕掛けてまいたものでどうして持ち込んだか疑問視されこの分では次ぎに何が飛び出すか物騒に思はれてゐる

會期延長 廿日頃提議か

【東京十四日發國通】總豫算案は十四日貴族院で可決となつたが、追加豫算は未だ衆議院にあり其他重要法案選擧法改正治安維持改正法日銀金買上法案等未だ審議中で米穀對策は政府内の無統制により議會提案が遅延し昨日緊急上程されたが、會期は後九日に過ぎず山積の法案を議了し得るや疑問とされる、會期延長は政府は表面之に觸れるを避けてゐるが二十日前後諮議進行程度の目鼻つき會期を二、三日延長せば通過確實となれる場合、齋藤首相は各黨幹部各派交渉委員へ會見を求め延長を考慮せんと會談すべしとの意見が閣内に有力である

前參謀長別宴

【新京特電十四日發】在京官民合同の小磯第五師團長送別會は十三日午後六時より新京ヤマトホテルにおいて開催されたが、折柄長春座に開演中の浪界の雄酒井雲を招じ石田三成の長講一席に主客一同陶醉して宴に入つたが、出席者は百六十餘名、荒木地方事務所長の挨拶に小磯參謀長の謝辭あり同九時過ぎ盛會裡に閉宴した

小磯前參謀長送別宴（郡總理主催、立てるは謝辭を述べる小磯中將）

滿鐵改組の必要は萬人が認めてゐる 特務部長文官制の話は聽かぬ けふ着任の西尾參謀長語る

【安東特電十四日發】小磯中將の後を承けて關東軍參謀長の任に就く西尾壽造中將は十三日京城において朝鮮軍首腦部に挨拶、諸般の打合せを終へて十四日午前六時着列車で安東に入り滿洲に第一歩を印したが、豫定を變更して軍用機で新京に直行することゝなり驛貴賓室で金谷安東憲兵分隊長、關屋地方事務所長等の挨拶を受け瀬之口安東商議會頭から東邊道縱貫鐵道建設に關する説明と希望とを聞いた後、自動車で新義州に引返し午前八時半飛行機に搭乘新京へ向つた、車中出迎へた記者の質問に對して

まだ菱刈軍司令官にお目にかゝつてゐないし、小磯前參謀長からも引繼ぎを受けてゐないのだから、どんな問題に對しても一切お話しないことにしてゐるから

と堅固な豫防線を張つて、話が要點に觸れると笑顔で默殺して了つたが漸く左の如く斷片的に語つた

滿鐵改組問題は詳しいことは知らぬが改組の必要は萬人が認めてゐるところで、滿鐵自身でもさう認めてゐるぢやないか、現在どうなつてゐるつて？陸軍省で目下研究中だと林陸相が議會で答辯してゐる通りだらう

特務部長の文官制といふことも何も聽いてゐない私は現在もう特務部長を兼任してゐる筈だ、滿洲にはもう匪賊なんていふものは居るまい、居るのは强盜だらう、强盜なら日本にも居る、滿洲でも强盜が絶無といふ時代は却々來まい、私は日露戰爭には第十師團の少尉で三角地帶の大洋河から上陸して戰地に第一歩を踏んだ、上陸した日に大孤山まで强行軍してヘト〳〵になつたものだ、その後聯隊長として鐵嶺にゐる時分に奉郭戰爭にぶつつかつて奉天に出動したことがある、事變後は昨年の正月戰地を一巡した、酒はあまりやらぬ、趣味としては釣の一點張りだ、大晦日でも正月でも朝五時頃から船に乘つて沖に出たものだ、海風に吹かれるのが好きなので連れもなくても好いのだ、まあ一種の健康法と心得てゐる、然し滿洲に來たからには釣は出來ないと諦めてゐる

（寫眞は西尾參謀長）

奉天官民多數出迎ふ

【奉天特電十四日發】新任關東軍參謀長西尾中將は名越副官、平田參謀少佐帶同十四日午前十時新義州より臨時飛行機にて來奉、飛行場には小雪を衝いて蜂谷總領事、于芷山上將、閻市長、久米總務、三谷警務廳長、栗野地方事務所長、庵谷商工會頭、水町、後宮兩少將を始め日滿官民多數の出迎へを受け、直に待合所二階貴賓室に入り挨拶を受けたが、記者團に對し「何も土産話はないよ」と微笑を湛へながら

總て任地に着いてから篤と研究せんと分らない、それまでは感想も何も起らない譯だ、まア何分宜しく賴む

とて一切口を緘して語らない、斯くて飛行機で直に新京に向ふ豫定のところ降雪のため豫定を變更し一と先づ瀋陽館に引揚げ少憩の後午後三時發はとで新京へ向つた

今夕新京着

【新京特電十四日發】新任西尾參謀長は降雪のため奉天よりの飛行機を中止し十四日午後七時半着列車で來京することになつたが、在京記者團とは十五日會見のはずである

蘇聯の不法宣傳に反駁聲明を發す 我外務當局、非公式に

【東京特電十四日發】ソ聯政府の漁區入札ルーブル換算率問題に關する不法なる宣傳に對しわが外務省は十三日非公式にこれを峻烈に反駁せる聲明をなした

第五次共産軍討伐 蔣氏各旅長に作戰指示

【上海特電十四日發】福建問題のため中絶してゐた第五次共産軍討伐の五省聯合第二期總攻擊は近く開始される事となり、蔣介石氏は各軍の旅長以上を南昌に招致して作戰を指示、近く各路軍に總攻擊命令を發する筈である、共産軍討伐の效果如何は國民政府當面の最大關心事であつて蔣介石氏もいよ〳〵死力を盡す覺悟であるといはれてゐる

平和工作に努力 滿洲勤務は故郷へ歸る心地 新任の伊田〇團長談

【奉天特電十四日發】平田〇團の交代として新任の伊田〇團長は神谷副官とゝもに十三日夜來奉、十四日午前十時二十五分奉山線にて任地へ向つたが、驛頭にて語る

小樽にて兵を送つて歸ると同時に發令となり大急ぎでやつて來た、滿洲は七、八年前旅行に來たことがあるが、服部閣下には北京都で、平田閣下には北海道でお目にかゝつた、輝く歷史の後に行くのだからそれを傷けぬやうにしたいと思つてゐる、この〇團の參謀長を二年やり部附として三年ゐたから故郷に歸るやうな氣がする、平和工作をやれとのことだから大に努力するよだが飯塚大佐の戰死を聞くがこれによると未だ油斷ができぬ、先づ任地に行つてそれから新任挨拶に出て來る、後宮少將とも今朝會つたが、少將とは士官學校大學で一緒だつたから懷かしい、又この列車で赴任の田村獸醫部長とも四年ぶりの奇遇である、七、八年前に來た時は朝鮮を旅行するのに後宮少將から背廣を借りて行つたことを考へると實に變つたと思ふ

と語つた、なほ新任上野〇〇團長も十四日午後十時五十分着十一時二十五分發にて新京へ向ひ、小川少將も十日午後二時安奉線で着奉した

職制改正や異動 デマに過ぎない 山崎滿鐵理事語る

滿鐵山崎理事は滿鐵總務部關係最近の問題について十四日午前理事室で左の如く語る

幹部の大異動があるとか、根本的な職制改正があるとか色々デマを飛ばしてゐるやうだが、滿鐵としては目下鐵路總局の職制改正を主管箇所に認可申請中のほかは何等職制改正に關する問題は取扱つてゐない、自分が忙しいやうにもいはれてゐるが僕の部屋は閑古鳥が鳴いてゐる、傍系會社の開放問題も目下研究中で具體的なことはまだ何も決つてゐない、正副總裁の上京は議會の出席のためだし、石本君はなんでもお父さんとかの年忌などがあつて上京したのだ、わざ〳〵そんな問題を東京まで持つて行つてやる必要は何も無いではないか

貴族院の滿洲問題論戰（6） 滿洲農産物と關稅 農民の疲弊に同情せよ

三月三日貴族院豫算委員會第六分科會における滿洲問題に關する質疑

大藏公望男 日滿兩國の經濟提攜の本旨に副ふやうに御盡力下さることは誠に結構でありますが、不躾に申せば、今日まで日滿兩國經濟提攜の本旨に副つたことが非常に少いのぢやないかと思ひます、主として日本の利益のみによつてやつて居る。しかしその結果は決して滿洲國の利益を害するものでもない、矢張り滿洲國にも利益を與へて居る、といふのであつても、日滿兩國の經濟提攜の趣旨よりは、先づ日本自身の國防上の若しくは産業上の趣旨から色んなことが行はれつゝあるとかう思ふのであります

併しながらそれも結果において必ずしも滿洲國の利益を害するものではありませぬので、その點は異論はございませぬが、併しながら積極的に稅を高くするといふことは、これは著るしく滿洲國々民の利害に關係がある、只今の御話の通り日本の農民が非常に深刻に苦しんで居るといふことは、誠にその通りでありまして、これは何とか政府も御心配になりませぬといけない、併しながら政府の御所見に依りますると、土木匡救費の如きも大凡六億の豫定でやられた方針が、本年は非常に少くなつてしまつて、僅か何千萬圓でありましたかで、どうも政府の御所見は、何となく農村の狀態といふものは苦しみの深刻さが多少解消したといふ風に、政府では現はれて居ると斯う考へます

然るに滿洲國農民の疲弊といふものは、到底日本の農民の疲弊どころの騷ぎぢやない、是れは實に深刻を極めて居る、その深刻を極めて居るのは決して日本のせゐぢやありませぬが、併しながら丁度運惡く此の滿洲國が出來た後の今日に於きまして、まあ豐作饑饉とか其の他色々の爲めに物價が非常に下つて居る、其爲に苦しんで居るのです、此滿洲國々民が大體に於て、若しこんな事變が起らなかつたならば、我々はこんなに辛苦しまなかつたであらうといふ風な感じを相當に持つて居る折柄なのであるから、今日日本の農民以上に滿洲の農民が苦しんで居ることを是は日本のせゐだと考へて居る者も少くないやうに思ふ、そこへ持つて參りまして、日本の狀態のみを考へて、それは或程度まで關稅を高くされるのも仕方がないけれども、高粱も入らない何も彼も入れない、米も入れない、元は入つて居りましたが今日は入れない、材木にも稅を掛ける、高粱にも掛けるのだ、さうして何も彼も日本に這入らないやうにするといふことは、いけないことだと申上げたのです、それは或程度日本自身が關稅を左右しまして、入れないやうにするのはこれは仕方のないことです

併しながら最後に殘されたる、而も滿洲の一番大きな生産物である大豆といふもの迄、多くの稅を掛けるといふことはいけないことぢやないかといふことを申上げて居るので、此の點については拓務大臣の御説明もありましたが、まあ此の狀況を能く御考へ下すつて、さうして少くとも何か殘されて居る途だけが一つ此處に必ず眼の前に置かれて居るぞといふ風にして置かぬと、何を作つてもどうしても這入らないやうにするといふことだけは、どうしても一つ御考へ置きを願はねといけないと思ふのです

只今の御説明は誠に御尤もで、日本の農民は今なほ苦しんで居る、大いなる深刻さにあるといふことは御尤もですが、併しそれは程度問題で、この日本の農民を救ふ途は何處にでもある、現に土木匡救費を以てやられたといふことその他色々ありませうが、向ふの方では唯一の殘つた農産物まで課稅せられたのでは、到底やり切れぬであらうといふことを、私は同情するのであります、是非其點について大臣の御盡力を願ひたいと斯う思ふ次第であります

磯村豐太郎氏 關稅の御話が出ましたから一言私も伺つて置きたいと思ひますが、此關稅問題は、是は無論世界の問題で、豈單り日滿のみならんやでございますが、此日本の關稅、滿洲の關稅につきましては、定めし當局者は御苦心のあることだらうと御察し申上げます、例へば日本の銑鐵や何かの稅金が高くなつた場合に、滿洲でも高く爲さない譯には行かぬ、然るに滿洲にも要求所があつて、それは日本人がやつて居るのだからといふやうな點から考へまして、色々な點に於て是は御苦心であらうと思ひますが、此の滿洲の此關稅といふものにつきましては只今日本の當局者と御相談中でもありませうか、此間も……滿洲に工場を造りたいといふ人が中々ある、あるのですけれども、是もさんと關稅問題で困つて居る

例へば紡績會社が滿洲にある……かどうか存じませぬが、關東州邊りには十四、五もありませうか、是が今の稅金では大分儲かつて居るやうです、それを以て將來棉花も滿洲で出來るやうになりました時分には、紡績會社を作りたいとか、或ひは增錘したいとかいふ人が中々あります、ありますけれども、今の關稅ならまだ宜いでせうが、これがあべこべに滿洲の關稅が上る場合はこの紡績はパッタリ止まつてしまふ

さういふやうなことで、今や色々計畫して居るのがありますけれども、悉くの問題は關稅の高低に依つてそれ〳〵違つて來るのですから、非常にこれは大事件だらうと私は思ひます、今大豆の關稅のことを伺ひましたのですが、これは又此原料を滿洲から取る日本におきましては、餘程これは研究を要する、大豆を使ふ點から行きましてもこれは困る點だらうと思ひます、それにこの頃大豆などはドイツあたりへ行きますのが、大分ドイツの關稅の爲めに輸出が少くなつたといふことを承はつて居ります、大豆が滿洲から行く、滿洲の農産物が大分出るのでこれは誠に重大な關係があるので、當局者は兎に角御考慮を願はなければならぬと思ふのでありますが、滿洲だけの關稅につきまして、日本とさういふ點につきまして、只今御交渉中でありませうか、その點を一寸伺つて見たいと思ひます

永井拓相 滿洲國との間の關稅の問題は、これはまだ色々な交渉は繼續して居るのでありますす 先般改正いたしましたのは先づ先程申上げましたやうな範圍て實行し得るものを實行したのであります、出來るだけなほ其上に兩國の利益になるやうな改正は致したいといふ考へで、兩國共に研究は進めて居るのであります

市廳舍の增築案 市會に上程

大連市役所では昨年十一月産業課の增設を始め各課事務擴張等のため、現在の廳舍は狹隘にすぎる嫌みあり、かねて廳舍增築計畫中であつたが今回五萬八千五百圓を計上し、現廳舍東側に地下室附二階建、建物を增築することになり既に參事會をも通過、十五日から開く市會に上程することとなつたが各議員も現在の實情を知つてなり何等異議なく無事通過するものと見られるが市當局では可決早々建築にとりかゝり本年中に完成の豫定であると

豫算市會 あすから開く

大連市第八十二回市會は十五日午後二時より開くが、議題は主として昭和九年度大連市豫算並びにそれに關聯せる諸案で左の如し

一、事務報告書及財産明細表提出の件
一、常設委員推薦の件
一、臨時市場改善委員推薦の件
一、市債償還方法變更の件
一、豫算追加更正の件
一、基本財産繰入に關する件
一、基本財産積戻方法變更の件
一、大連市小學校及公學堂授業料規則制定の件
一、特別會計廢止の件
一、昭和九年度大連市歳入歳出豫算案
一、同年恩賜基本財産歳入歳出豫算
一、同年市營住宅經營歳入歳出豫算案
一、同年質舖經營歳入歳出豫算案
一、同年吏員退職死亡給與金歳入歳出豫算案
一、同年中央卸賣市場經營歳入歳出豫算案
一、中學校建築資金起債の件
一、自昭和九年度至昭和十年度大連市立中學校營繕費繼續年期及支出方法設定の件
一、豫算外市費負擔契約締結の件
一、實業學校建築資金起債の件
一、有給吏員定數規定中改正の件
一、市吏員給料額規定中改正の件

扶桑丸の船客

【門司特電十四日發】新に大連航路に就くことになつた扶桑丸は十六日大連に入港豫定であるが、主なる船客は左の諸氏である

畵伯橋本關雪、陸軍運輸部大連出張所長奥村中佐、愛知縣參事會員渡邊玉三郎、滿鐵社員佐藤正典、愛知縣會議員磯部陸次、同神戸眞、工學博士竹内壽太郎、大鹿合名社長大鹿由太郎、村田誠孝、永田安太郎、工藤勝衛、上野對三、旅順醫院長樋口修輔、吉田砲兵中尉、中山中尉、原少尉

人事

▲大島大平氏（滿洲土建書記長）十三日午後十時發列車にて奉天へ
▲瓜谷長造氏（大連商議副會頭）十四日午前七時四十分着列車にて歸連
▲安藤紀三郎氏（前旅順要塞司令官）十四日出帆のうすりい丸で家族同伴離滿
▲松山忠二郎氏（前本社々長）同上
▲長谷川清氏（海軍中將）同内地へ
▲田村羊三氏（豆信專務）同上
▲梶井貞吉氏（新任關東軍々醫部長）十四日入港ばいかる丸にて來連
▲栗田愛之助氏（同副官）同上
▲嘉悦三穀夫氏（陸軍二等軍醫正）同上
▲近藤駿介氏（京都府内務部長）同上
▲ジエン・ロイエ氏（新駐哈佛領事）同上
▲エッチ・ダブリュー・キイニイ氏（滿鐵囑託）同上歸任
▲緒方勝一大將（陸軍技術本部長）十四日午前九時發はとにて北行
▲相馬中佐（同副官）同上
▲小柳津正藏氏（昭和製鋼所顧問）同上
▲片岡春隆氏（ジヤパンツーリストビユウロー事業主任）同上

蛇角

◇豫算料理、愈々最後の色揚げ。
◇鵜呑みはいかぬ、少しは嚙んで見やうとの説もある。
◇齒拔け内閣の苦い顏を見よ。
◇議員鳩山一郎君登院、明鏡文相破鏡の姿である。
◇飛んだ話、赤トンボ一疋、フラ〳〵と雞山に不時着。
◇飛んでもない話、勝美公判に、フラ〳〵と桃色の一組。
◇いかゝ、邪道句子曰く「黄泥ともに氷流る〻遼河かな」

小川少將赴任

【安東特電十四日發】〇兵第〇〇團長小川正輔少將は十四日午前七時安東通過新京へ向つたが語る

日露戰爭に出征してから三十年振りの滿洲だ、本日新京へ直行して軍司令官に御挨拶してから任地へ行く

梅津司令官赴任

【東京十四日發國通】新支那駐屯軍司令官梅津美治郎少將は十四日午後九時四十五分東京驛發天津に赴任する

十六日會例會

滿洲技術協會にては十六日會例會を來る三月十六日午後四時半より技術會館にて開會、當日は大連警察署警務主任末光高義氏の「滿洲の秘密結社」の講話ある筈

生活の虹（72） 菊池寛作 志村立美畫

邪魔な助手（三）

書間の待合は森閑としてゐる。

今日は、二階のやゝ明るい座間に通されたが、女將や女中は、昨夜の今日、しかも暮れない裡から早くも姿を見せたので、いゝお客を完全に獲得した氣になつて、下にも置かないもてなしぶりである。

部屋は、ちやんと支度がしてあつた。

「玉香さんから、先刻御前さまがいらつしやると云ふお電話がありましたので、ちやんと支度をしてお待ち申してゐました」

と、云ふことであつた。彼が、子爵であることを、玉香が早くも、しやべつたと見える。

「御前さま丈は、よしてくれ。そんな事を云はれると、ゾッとするんだ」

「あら、だつて御前と申し上げないと、お怒りになる方が多いんですよ」

と、女將は笑ひながら云つた。

「僕は、家でも、そんな風には云はせないんだ」

「さうですか。ぢや、みんなにさう申して置きます。玉香さんは、今電話をかけさせましたからすぐ參るでせう。今日は、御飯を召し上つていらしつたらどうですか」

「さうしてもいゝね。ぢや、なにか註文をして置いてくれ」

宴會に使ふらしい二十疊位の部屋で、床の間に翠雲の山水の幅が、かゝつてゐた。

五分も待たなかつた。階段を足音高く、かけ上るやうな音がして今日は六時からのお約束があるためか、うすい水色の地に、水仙の模樣のある着物の裾を引いた玉香が、そのほつそりとした姿を、出入口に立てゝある屛風の陰から現はすと、そこで片手をついて、挨拶すると、ツカ〳〵と寄つて來て子爵の坐つてゐる傍に、膝を押しつけるやうにして坐つた。

「嬉しいわ。こんなに、お約束を守つて下さるとは思はなかつたわ。私、こゝの家から電話が、かゝつたから大急ぎで、かけつけて來たのよ」

此方は、用事であるが、相手はそれを情事にしようと云ふのである。子爵は、慨まされながら

「ありがたう。そして、そのニユースつて、何だい？」

と、訊いた。

「云ふわ。今云ふけれど、これから一週間に一度宛きつと會つて下さる？」

「月に二度と云ふ約束ぢやなかつたのかい」

「月に二度なんか、いやだわ。奥さまもいらつしやらないくせに、するいわ」

「でも、一週間に一度なんて……」

「……」

「おいやなら、私云はないわ」

「おい、おい、僕を手古ずらせるのは、かんにんしてくれ」

「でも、貴君はするいんですもの」

子爵は、苦笑しながら、一時逃れに

「ぢや、一週間に一度と云ふことにする」

「ほんとう？」

「うん」

「ねえ。二十年前の玉香さんならさてきれいな方なんですつて。でもその方は、三四年前に死にましたつて」

十一日ソ聯の輕爆機 密山縣に不時着

匪賊に拉致された將校二名を奪回して嚴重取調中

【新京特電十四日發】當地某所着情報によればソ聯輕爆機一臺が十一日密山縣小興凱湖北方山中に不時着、搭乘者ソ聯軍飛行將校二名は附近の匪賊の爲に拉致されたが縣當局では事件の重大さを感知し、右飛行將校は直ちに匪賊の手より奪回し飛行機は目下縣に於て嚴重監視中である、なほ不時着の輕爆機はソ滿國境を越え滿洲國内に相當侵入してゐた事實あり搭乘將校の取調べ終了をまつて滿洲國政府では右搭乘者の處置方法と共にソ聯に嚴重なる抗議を發するはずだが右が單なる機關の故障による不時着であるか或は滿洲國内偵察の爲めの越境行爲であるか又はソ聯逃亡を企てたものか未だ不明なるもその結果は重大視されてゐる

海軍補充計畫に水雷艇再吟味

友鶴事件重大視さる

【東京特電十四日發】水雷艇友鶴遭難事件查問のため海軍は特に尨大な委員會を組織し徹底的の調査を行ひ國民一般の疑念を一掃することとなつたが、友鶴は第一次補充計畫によつて建造されたロンドン條約制限外艦艇の一として我が海軍が久しく建造を中止した水雷艇の復活で特に我が造艦技術の最善を傾けて造つたもので完成後二十日以内にこの慘事を起したのであつて既に第一、第二補充計畫を通じて二十隻の水雷艇建造計畫の決定されてゐる際水雷艇の造艦並にその運輸方法に對して根本的再吟味を行ふ必要に迫られたものである、なほ我が海軍が斯の如く制限外艦艇を造らねばならぬ狀態にある事は例の比率主義による制限の結果であるとして比率主義撤廢、軍備平等權確立の必要が今更の如く痛感されてゐる

十三名を生存救出

引續き艇内を搜查中

【佐世保十四日發國通】十三日午後七時に入渠した友鶴の排水作業意外に手間取り午前零時に至るも遲々として進捗せず繼續中なるが内部との信號により艇の前部四部中部三名後部八名計十五名の生存者あることを確めらるゝに至つたので一層救出を急ぐべく努力して居る、米内長官は今なほ現場に居殘り作業を督してゐる

【佐世保十四日發國通】十四日午前一時半排水終了、直に艦内の搜查救出に努めたが午前二時半迄に判明せるものは生存者二名、人事不省二名死亡十三名である

【佐世保十四日發國通】十四日午前五時生存者計八名、救出死體三個、收容し人事不省中の一名死亡今のところ生存救助十三名、死亡七名で引續き作業中である

生存者氏名

【佐世保十四日發國通】十四日午前五時四十五分迄に判明せる生存者は十三名で氏名左の如し

一等機關兵 小松邦一
二等水兵 上野信好
一等機關兵 石原敏之
一等水兵 松田卓爾
二等水兵 松本利惣
一等水兵 宍戸宏義
二等水兵 笠井武雄
一等機關兵 山岡讃
三等兵曹 柳田捨一
二等兵曹 戸田憲
三等機關兵 川村清八
同 高橋竹一
一等機關兵 松田俊雄

苦しさの餘り脱出を決行

奇蹟的に三名救はる

【佐世保十三日發國通】九死に一生を得て艇内を脱出し海軍病院に收容された三名のその後の經過的話を綜合すると遭難後三十餘時間を經過し十三日正午頃漸次呼吸困難となつたので苦しさの揚句脱出を決行し奇蹟的にも目的を達したのであるが酸素を入れ始めた時には今から考へると幾分樂な氣持であつたと

脱出者の思出

【佐世保十三日發國通】自力脱出し海軍病院に收容中の某兵の艦内における手記の記憶を遡つての悲壯な言葉（これは某兵が附添の介し語つた手記の想ひ出である）沖も脱出出來やう等と夢にも思つてゐなかつたので手記は艦内に殘してゐるので手記に殘した記憶の儘を申上げます、遭難當時は風雨激しく風浪高く友鶴はアッと言ふ間もなく突如沈沒したと同時に艇内は眞黒闇となつた、その時大元帥陛下と帝國海軍の爲め泰然死に就く覺悟を決めた、時間を經ると食物は無く空氣の流通無く惡ガス充滿今にして生き得た事は全く神の加護と感謝してゐる、過ぎし約二晝夜を振返ると全く夢の樣な心地である

艇長以下幹部生存望みなし

【東京十四日發國通】海軍當局では岩瀨艇長以下の幹部の生死に就いては本事が訓練中に起きて居り訓練作業中は必ず艇長以下幹部將校は艦橋に在つて諸員を指揮して居る譯であるから恐らく艦橋と同時に殆ど全部激浪に浚はれてしまつたものと推定して居る

比率制限外の高級防備艦

末次司令長官語る

【佐世保十四日發國通】末次司令長官は友鶴の遭難に就いて左の如く語る

友鶴は聯合艦隊に所屬してゐない防備艦だが、水雷艇と云つても日露戰爭當時の驅逐艦と云はれた貧弱なものではなく顚覆するなどとは不思議な事だ、あの夜は海は非常な時化でこの金剛でさへ甲板上を瀧の樣な大波をかぶつた、五百二十七噸の小艇だから隨分訓練は辛かつたこと思ふ、波浪のため傾斜してそこへ横波を受け或は窓でも破壞されたものではないかと思ふ、高級防備艦を造らればならなくなつたのも制限のためで比率主義撤廢、軍備權の平等は當然主張すべきである

"裏切つた妻と男を殺す" 父の遺書を持ち歸國

新京から送り返された二兒をうらる丸神戸で發見

【神戸特電十四日發】十三日神戸に入港したうらる丸の三等船室で十二、三歳の少女と少年がはしやいでゐたのを水上署員が不審に思ひ所持せる小型トランクを調べると位牌と男の頭髪を包んだ紙袋に遺書と淨書した封書があり遺書を開き種々子供に尋ねたところ、本籍名古屋市東區矢田町五ノ六現住所新京祝町二ノ一九ノ三市瀨工務所傭員林敬三氏の次女清子（一三）さんと長男貞彦（一二）君で敬三氏は元名古屋市の水道施設工事監督であつたが、三人の妻に死別し昨年三月實兒に前記二兒を託し渡滿、前記工務所に就職知り合ひの菊地キン子を契り子供を引取るために名古屋に歸省し再び渡滿して見るとキン子は情夫と出奔して居り敬三氏は八方搜し漸く七日居所を突止め二人を殺害し自分も子供を道連れに死なうとしたが、心鈍り前記位牌と頭髪と遺書に五百圓を添へ十日大連より名古屋の實家に送つたものと解つた

兇器を持ち忍込み發見され自殺

別れた妻は女給稼ぎ

【新京特電十四日發】林敬三は昨年五月以來新京中央通り市瀨工務所に雇はれ同所が請負つてゐる滿鐵の水道工事に從事してゐたもので妻女キン子（一九）との關係から十一日午前二時自宅において揮發油を嚥んで自殺してゐる

敬三は郷里靜岡市の水道部に勤務中同市内の某旅館の女中をしてゐたキン子と結婚して昨年五月二人で來滿、前記の所に雇はれてゐたが夫婦の間には何故か喧嘩が絶えず遂にキン子から愛想をつかされ仲に入る人もあつて女の方から六十圓の手切金を出して綺麗に別れたものである

その後女は日本橋通りの「日の本食堂」に女給としてつさめてゐたが、男はなほキン子を思ひ切ることが出來ず度々再び一緒にならうとして女を同食堂から誘き出さんとしてゐた、一方女は男の要求をその都度きつぱり拒絶して來たがかうしたいざこざに際して前記食堂の主人本部由三郎が女をかばふやうなことが多かつたので男はてッきりキン子と本部との間に突き進んだ關係があるものと思ひ込み二人を慘殺すべく計畫し十日内地から連れて來てゐた娘を連れて停車場に赴き切符を買つて内地に歸るやうに言ひふくめ娘を見送つて歸宅し同夜薪割りをもつてキン子と本部を慘殺した上同食堂を燒き拂ふことを決意、薪割りを携へて同家に忍び込んだところが同家の滿人ボーイに發見されて果さずそのまゝ自宅に歸つて深更揮發油をあふつて自殺をはかり十二日午前二時遂に絶命したものである

桃色公判で共鳴

奉天丸で逃避行發見

十二日出帆奉天丸で僞名乘船渡動不審の男があるので水上署に連行取調べると懐中に八圓餘の外に靴の中に二百十六圓の現金をかくしてゐたが自供により市内某社員黑井三郎（二七）＝假名＝といひ豫てより知人の市内美濃町春田富雄＝假名＝方に止宿中同氏妻女某と勝美事件第一回公判以來通じ不倫の愛慾生活を續けてゐたが日と共に良心的苛責にさいなまれ遂に逃げ出さうと考へたが何分旅費もなく悶々の日を過ごしてゐる内同人勤務先の出版長植田十三氏＝假名＝が非常な信仰家であるのにつけこみ熱河で死んだ父親の墓を是非たてゝやりたいと訴へ三百圓をせしめ尻に帆かけて、はい左樣ならをしやうとした處を船内臨檢の署員に捕へられたが關係者示談の上やつと無罪放免された

海上ギャング團の身柄引渡しを交渉

駐連ドイツ領事から

國際法上の海賊ときまつてわが裁判所の手で罰せられやうとしてゐるドイツ人ウエスターマン（[illegible]）ほか四名の強盜殺人事件は去る八日第四回公判において共同正犯との認定の下に四名死刑、一名無期懲役の極刑を求刑されたので大連駐在ドイツ領事はいよ〳〵本格的に身柄引渡しの外交々渉を開始する雲行きとなつたが、これに對し國際法上の海賊といへども内國法を以つて處罰出來得るとの見解を持つてゐる大連地方法院の態度は國際間の注目を惹いてゐる、ドイツ領事は公判當初において松本辯護士を通じ關係官廳に對し身柄引渡しに關する内意を伺ふところあつたが、公判進行の結果被告等は極刑を求刑され、裁判所もまた内國法をもつて處罰し得るとの見解を持つてゐる以上ドイツ領事館としてはこれを默過することは出來ぬといふ日本の法律が許す範圍に於いて身柄を受取り自國法律を以つて罰したいといふにありドイツ領事は近く正式辯護士を立て、關東廳外事課に交渉し外事課を通じ地方法院に對し身柄引渡しを要請する段取りとなるべく、この結果法院及び檢察局の態度は注目されてゐる

前例がないから愼重に研究する

裁判長川畑判官語る

右につき海上ギャング事件の裁判長川畑源一郎判官は語る

公判前に松本辯護士からドイツ領事の意向を伺つたことがあるが、法院が行政上の問題に關係することも出來ぬし、正式の話もなかつたので、具體的法院の意見は云はなかつた、目下のところこの事件は國際法上の海賊であるといふに落ちつきさうであり、法院はどの法律適用によつて處罰すべきかを研究中で、未だ身柄引渡しなどに就いては考へてゐない、萬一ドイツ領事から正式交渉を受けた場合、處罰し得る法律があつても身柄引渡しに應ずるか？といふのですか、それはその場合でないと申上げられないが、引渡すことも出來得ると考へてゐる、こんな事件は前例がないからその場合になつて愼重研究して見よう

滿洲國陸上軍

來る十五日より二十日間大連運動場に於いて合宿練習を行ふ滿洲國陸上競技選手一行[illegible]將以下十五名は酒井奥田兩監督に引率され十四日十六時卅分新京發で出發十五日午前七時四十分着列車で着連の上[illegible]大連青年會に投宿する筈

明日の公判で勝美に求刑

實母證人申請は取止

博士夫人の無軌道戀愛が生んだ殺人事件はいよ〳〵ラスト・シーンに入り十五日午前九時から開廷される公判で中園秀雄、藤森勝美の兩者に對し高井檢察官の論告、求刑あり引續いて辯護士團の辯護が行はれる豫定で檢察官の求刑豫定は一般の注目を惹いてゐるのみでなく、法曹界でも[illegible]博士を不起訴した檢察官が勝美に如何なる論告と求刑をなすかといふ法的理論を中心として非常な興味をかけてゐる

高井檢察官は數日前から專ら論告文の作成に沒頭し求刑量定に就いては下田檢察官長、池内主席檢察官等と協議を進めつゝあるが大體左の如き求刑が行はれるものと見られてゐる

無期懲役 中園秀雄（三六）
懲役三月 藤森勝美（三〇）

なほ勝美の求刑に對しては執行猶豫の意見を附する模樣である

更に當日公判廷にははるばる信州長野縣から訪れて來た勝美の實母藤森靜（六四）さんが辯護人の申請で證人に立つ筈であつたが愛しい娘の罪劫に泣き崩れてゐる老母を法廷に立せることは氣の毒であるといふ辯護人側の同情から證人申請を行はぬことに決定した

滿鐵中、小學校教員大異動

主なる拔擢榮轉者

滿鐵學務課では新學期における附屬地中等、小學校の教員新配置及び異動詮衡を終り十二日認可を求める爲め關東廳に提出したが、本年度の異動は確認するところによれば老朽及び結婚等の事情により退職するもの小學校で二十八名、中等學校で十九名に上つてゐる、從つて本年は中、小學校とも未曾有の學級增加を行つたため小學校では新教員の採用配置約六十名を含めて百名餘の異動に上り、中等學校では約四十名の異動を行はれ近來に珍しい廣範圍の異動である而して今回の異動では可成り新進拔擢の跡を見受られるが榮轉組と見做されるものは左の如き人々である

▲轉奉天中學校長寺田喜治郎（現撫順中學校長）
▲轉教育研究所長八木壽治（現奉天高女校長）
▲轉奉天高女校長植村良男（現撫順高女校長）
▲轉撫順高女校長大久保準一（現本社初等教育係主任）
▲鞍山高女校長小野久七（現鞍山中學校教諭）
▲轉安東高女校長畑中幸之輔（現教研所長）
▲轉本社初等教育係主任佐藤安中教諭
▲轉撫順中學校長牧島安中教諭

梶井軍醫部長

東京第一衛戍病院長から關東軍々醫部長に新任の陸軍々醫監梶井貞吉氏は栗田陸軍三等軍醫正を帶同十四日入港ばいかる丸で來連した同氏は昭和六年十二月視察のため來滿したことあり、一泊の上十五日午前九時發はとにて赴任する豫定（寫眞は梶井軍醫部長）

表彰される滿鐵永年勤續者

廿五年は邦人卅二名

滿鐵では四月一日の會社創立記念日に際し恒例により永年勤續社員の表彰を行ふが十五年勤續社員は日本人一四五七名、滿人六〇二名、二十五年勤續社員は日本人三十二名滿人五名の多數で、二十五年勤續社員中參事技師以上は京圖鐵路總局代表酒井清兵衛氏一人である

離滿の安藤中將

松山前社長も同船し けさのうすりい丸で母國へ

春の出船、昨夜來の風の名殘が惜ましいが、十四日出帆うすりい丸は春らしい色彩鮮かなところを見せ、乘客の顏觸れも多彩に、話題豐富にこのシーズンのトップ飾るに應はしい情景を呈した、船は華やかなうちに別れの侘しさを常に持つてゐる、永い間の滿洲生活から離れて母國に歸る人々、まづ滿洲事變以來旅順要塞司令官として旅大官民から慕はれてゐた安藤紀三郎中將、陸軍關係をはじめ官民多數の見送りを受け「絶大な市民各位の厚意を感謝する」と別れの言葉を殘しての凱旋行……同じく事變前より本社社長として筆の力で活躍した松山忠二郎氏夫妻、共に別れの挨拶に名殘がこめられ思ひなしか淋しい

その他知名士としては海軍軍縮全權としてジュネーブで活躍した長谷川清中將、滿洲國の健全な發達ぶりに滿足し切つて離滿こちらの人では豆信の田村羊三氏が商況視察に上京、ジャパンツーリストビウロー事業主任の片岡春隆氏は來る二十二日東京本部で開かれる理事會に出席本年度の旅客シーズンの内地側の情勢視察の目的で約三週間の豫定で内地へ、御婦人客では八田副總裁夫人等、この日の待合所は恐ろしい人の出をみた【寫眞は乘船する安藤中將】

十八日から店開き

大連の豆タク

滿洲内燃機株式會社の豆タクは既に市内各主要地點約三十個に駐車場ホールを設け近く完成するが、一方目下使用車の試運轉中で、三月一日開業の豫定を變更し愈々來る十八日華々しく市民の前にデビューすることになつた、尚ほ十五日には午前十時より遼東ホテルで創立總會を開催する筈

在滿中等校出滿鐵入社試驗

在滿中學および商業學校の滿鐵入社試驗は十五日午前八時より協和會館において行はれ同日は作文および適性試驗を翌十六日は口頭試問を行ふ筈

なほ今年度の志望者は百八十五名で試驗期日がおくれたので滿洲國その他に採用に決定したものが相當あるため例年より一帶に在學成績に劣る模樣で從つて採用者も昨年度より多少減ずるものと見られてゐる

記事訂正 三月十三日附夕刊中等校陸上界の新進選手の入社記事中の諸選手は滿鐵入社内定ではなく希望者である

白衣の勇士

十六日に凱旋

白衣の勇士坪倉隆志軍曹外三名は十四日午前十時五十五分着列車で旅順より來連、多數市民の出迎へを受け直に大江町衛戍分院に入つた、尚十六日午前十一時出帆の照國丸にて傷病兵八十五名は白衣の凱旋をすることになつた

"日滿音頭"發表

日本ビクター蓄音器會社では勝太郎、三島の共同吹込で日滿音頭のレコードを近日發賣する

天氣予報

十五日 北西の風晴一時曇

各地溫度（十四日）

	午前五時	午前十一時
大連	零下四	零下一
旅順	同二	零度
營口	同八	零下一
奉天	同一三	同六
新京	同一一	同四
新義州	同一七	同三

今日の小洋相場（十一時半）

金百圓につき百十六圓六十五錢

御挨拶

本日離滿に際し重ねて在滿同胞諸君の從來の御厚情を深謝仕候生憎く出發前風邪に罹り候爲め新京、奉天其他奥地へは御挨拶にも參上せず又當大連に於ては各方面より屢々送別會等の御寵招を蒙り候にも拘らず總て拜辭し折角の御厚意に背き候事は誠に申譯無之且つ遺憾至極に存奉候、平に御海容願上候、最後に諸君の御健康と御多幸とを祈上候

三月十四日

東京市品川區大井鹿島町三一〇六
松山忠二郎

御通知

來る三月二十四日午前十時より關東廳會議室に於て本會第十六回定期總會を開催致候條御參集相成度此段御通知申上候

昭和九年三月十二日

滿洲結核豫防會

會員各位

會葬御禮 辻山洋行 山縣庄太郎

新講談

丹下左膳（45）

林不忘作　小田富彌畫

火吹紅竹（六）

いつまで綴つても、少女を感動させるやうな名文は、出來さうもありません。

すつかりくさつた左膳、髮の中へ指を突つこんで、ガリ〳〵掻くと雲脂が飛ぶ。

竹になりたや紫竹だけ、元は尺八中は笛、末はそもじの筆の軸……思ひまゐらせ候かしく。

といひたいところだが、これぢやア義理にも、そんな艶ッぽい場面とは言へない。

ましてや。

筆とりて、心のたけを杜若、色よい返事を待乳山、あやめも知れぬ水莖の、あさに殘せし濃むらさき。

なんてエのは、望むはうが無理で、色よい返事を待乳山——どころぢやアない。そのまつち山からまづ夜が明けさうです。

じつさい。

室內のどこやらに、白つぽい氣が漂ひ初めて、今にも牛乳屋の車がガラ〳〵通りさう、お江戸は今享保何年かの三月十五日の朝を迎へようとしてゐる。

卷紙を白眼む左膳の眼つたら、まさに非常時そのものです。

たうとう、書いた。

「萩乃殿——唐突ながら、忘れればこそ思ひ出さず候……」

こいつは何處かで見たやうな文句だ。ちよいと借用したんです。

「可愛い可愛いと啼く明け烏に候」

これは自分ながら上出來だと、左膳、ニヤ〳〵したものだ。

「鳴く蟲よりも、もの言はぬ螢がズンと身を焦し候。さて、小生こと明日出發、埋藏金を掘りに參る所存、歸府の上、その財產をそつくり持參金として、おん身の許へ押かけるべく候。たのしみにしてお待ちあれ。頓首々々」

これだけの文句です。アッサリしたもの。しかし何うも呆れたものだ。支離滅裂……右の腕も右の眼もなく、傷だらけのところは、爭はれないもので、はなはだ筆の主左膳に似てゐると申さなければなりません。

左膳らしい戀文。ブッキラ棒で、ひとり飲みこみで、何が何だかわからない。

唐突ながら——と冒頭に自分でも斷つてるとほり、いかにも唐突。

これを受け取つた萩乃さんは、どんなにおどろくことでせう。二度讀みかへして、噴飯してしまはなければいゝが。

たのしみにしてお待ちあれ……ナンテ、冗談ぢやない、誰が樂しみにするもんか。

だが、左膳は大得意。

「うむ、われながら會心の出來だテ」

と、聲に出して言ひました。

そして、この手紙を見て、萩乃が胸を轟かすであらう場面を想像して、左膳の胸もときめき、また思はず赤くなつた。ほんとに、可愛いところのある左膳、一生けんめいに書いたんですもの。

しかし、これで見ると左膳は、その柳生の埋寶を掘り出した上で、そいつをそのまゝ抱へて司馬道場へ、入り婿に乘り込む氣とみえる。ますます以て容易ならぬ考へを起したものだ。

けれども。

さうなると、あの伊賀の暴れん坊、柳生源三郎との正面衝突は、先づ、免れぬところ……さつき萩乃の部屋の押入れの中で、ソッと聞けば、源三郎は最早や亡きものだといつたが——事實か？

左膳、源三郎を思ひ出して、その生死を案じわづらひ、急にあわて出した。

「死んだ男から、女を奪るなんてエのは嫌だなア。おい！源三！、おれがブッタ斬るまで、頼むから生きてゝ呉れよ」

と、胸のなかで大聲に……。

松竹と日活 發聲映畫戰 花の四月に

春の映畫シーズンを迎へて各映畫會社は一段と活氣づいてゐるが四月には松竹と日活が近來にないトーキー戰を展開する事になつた、片や土橋式松竹フオーン、片やウエスタンシステムに、千葉嶽本格的トーキー（宗像システム）を加へてゐる、即ち

◆第一週——は日活伊藤大輔、大河內傳次郎、極め付の「丹下左膳」（劍戟篇）が日活系及び日比谷映畫劇場に封切られ、松竹は下加茂衣笠貞之助監督、阪東好太郎主演「冬木心中」と蒲田野村浩將監督及川道子主演「夢みる頃」の東西トーキー併立興行で對陣しようといふ

◆第二週——は兩社の「さくら音頭」トーキー競映戰で、これまた絶好の取組にファンを熱狂させるだらう

◆第三週——にはいよ〳〵片岡千惠藏のトーキー「直八こども旅」が出る、松竹は栗島すみ子の第二トーキー「日本女性の歌」か林長二郎、水久保澄子初顏合せの「月形半平太」を封切るプランである

所長を置かぬ日活兩撮影所

日活現代劇部東京移轉及び重役更迭に伴ひ京都撮影所長甲斐庸生氏は辭任と決定、東京多摩川撮影所も京都も、今後所長を置かず、中谷社長が一切これを統轄する事になつた、尙ほ甲斐氏は撮影所顧問辯護士を嘱託され日活との關係を持續すると

兒童慰安映畫

滿鐵社會係の第五十四回兒童慰安巡回映畫は十三日の大房身を振り出しに十四日金州、十五日城子疃、十六日貔子窩、十七日周水、十八日普蘭店、二十二日旅順から州外に出て鄭家屯、チチハル、ハルビンを經て最後に安奉線を廻り五月二十一日歸連の筈

一樹會演能會

一樹會の春季演能會は來る二十一日（春季皇靈祭）午前正九時より大連羽衣高等女學校にて開催、入場隨意、番組左の如し

▲能　竹生島（寶生、白水久吉）實盛（寶生、森川莊吉）草紙洗小町（觀世、比企哲夫）是界（寶生、片桐紋傳）

▲囃子　高砂（觀）西王母（寶）籠（寶）ともゑ（觀）雲林院（寶）安宅（觀）三山（寶）櫻川（觀）芦刈（寶）海人（寶）

▲狂言　昆布柿　吹取　宗八

うわさ話

日活館では「春の映畫案內」といふ美しいパンフレットを作つてファンに贈呈▲內容は「狂亂のモンテカルロ」「ボートの8人娘」「會議は踊る」「ヒットラー青年」「SOS氷山」の洋畫を宣傳▲常盤座は二十日過ぎにパ社の特作品「或る日曜日の午後」「ゆりかごの唄」「妾は天使ぢやない」の三本の中一本を上映▲奉天の洋畫系統は大陸メトロが新富座、ウファが奉天館、パラマウントが平安座となるらしく▲既に內定してゐるものは新富座に「今日限りの命」と「キートンの麥酒王」▲平安座に「無敵タルザン」それにSOS氷山」が交涉中で「ブダペストの動物園」は奉天館▲またメトロの大連封切は「紅塵」「極東兵隊」「ホワイトシスター」を豫定してゐる

三社占有を不公平だと 割込運動を開始
北鮮、表日本航路に對し

北鮮を經由する日本向貨物は國際運輸が北鮮に於て商船、大汽、朝郵、島谷、北日本、北陸の六汽船會社の代理店となつたのでその間完全なる統制が行はれてゐるが、表日本行貨物は從來定航を有つ商船、朝郵並に今後定航を營む大汽三社に對して三分の一宛等分に配給すると共に、貨物の出廻り狀況の如何によつては他社にも供給することになつてゐる、然るに大汽は從來北鮮表日本間に定航を有せず、且つ出廻貨物少量のため定期的な運航を行ふに至つてゐない實情にあるが、それにも拘らず三分の一の貨物を配給されることは公平を缺くとの見地に立脚して北日本汽船、島谷汽船を始めとして從來北鮮に配船したることなき岡崎汽船、三井船舶部等も裏日本行に對して割込まんとするもの、如く曾ての北鮮同盟會の首腦者たりし商船に對して交渉を開始しつゝある模樣である、而して國際として は船會社の紛議に對しては總て船會社間の解決に一任する建前をとつてゐる

日印新協定後の 對印綿製品輸出

日印會商終局と共に日本のインド棉不買決議撤廢と、インドの對日綿布關稅引下げは一月八日より實施され、これにより印棉の輸出並びにインドの日本綿布輸入の上に如何に反映するかは興味を以つて見られてゐたが、一月中の本邦貿易統計を見ると綿布の對印輸出は可なり增加を見せたるも印棉の輸入は未だ極めて少額に止まつてゐる左の如し

	印棉輸入 百斤	對印綿布輸出 千方碼
昨年一月	三七〇、三〇七	三七〇、〇八六
六月	四三〇、〇〇〇	五三、七〇〇
十二月	九〇七	三〇、四〇七
本年一月	九〇三	三四、一六六

之は云ふ迄もなく積出より着荷迄相當期間が隔つる故であるが、一方本月一日インド統計局が發表せる同國一月中の貿易統計は果然對日棉花、綿織物貿易の回復を反映して、棉花の輸出並に綿布の輸入は一躍昨年夏の水準に立ち歸つた

◇

先づ棉花の輸出高を見るに一月中の輸出合計は二十四萬三千俵と昨年六月以來の多量に達し、前月に綿布の輸入を見るに一月中の輸入合計五千六百七十七萬平方碼と前月より約四割の激增を示した、最も增加を見せてゐるのは勿論日本からの輸入で前月より九百三十五萬碼の著增を示してゐるが、イギリスからも六百七十萬碼を增加し三千五百萬碼と總輸入高の過半を占めてゐるのは大いに注目すべきである、轉へつて品種別輸入を見るに各品種共一樣に增加を物語つてゐるが、特に染色、捺染の所謂加工綿布は前月より六割の激增この方面において日本は九百四十萬平方碼と前月の倍以上となつてゐるが、イギリスは四割の增加を見せてゐるに過ぎない、また晒綿布もイギリスは一割未滿の增加に過ぎないが、日本は前月より倍加してゐる、未晒綿布はイギリス品の增加に對し日本品は大して進出を見せてゐない、兩國の輸入比較左の如し（單位千ヤード）

		本年一月	昨年十二月
未晒	英	七、四〇五	五、七九〇
	日	四、五三〇	三、五三三
晒	英	三、三〇七	三、四六六
	日	七、〇七七	三、六〇六
色染、捺染	英	一四、七三三	一〇、五一九
	日	九、三三一	四、五一四

京城地金昂騰

【京城特電十四日發】京城市中地金相場は內地高が影響し賣値十二圓四十錢、買値十二圓二十錢と各十錢方騰貴した

十四日限り 特產納會成績

大連特產市場に於ける豆粕、豆油の三月十四日限は十三日前場を以てそれ〴〵納會を告げた、豆粕は賣買總出來高二百八萬七千枚、受渡高百十三萬六千枚、受渡標準値段一圓八錢、受渡步合五割四分四厘强にして前月十四日限に比較すると、賣買總出來高では七十五萬一千枚、受渡高では三十四萬二千枚とそれ〴〵增加を示し、受渡標準値段は六錢方の安値であつた、荷は公定相場は最高一圓二十八錢最低一圓三錢五厘でこの開き二十四錢五厘である、今受渡の手口を示せば左の如し（單位千枚）

▲渡方

同泰	二五	同聚厚	一五
乾聚和	四二	達盛昌	二五
雙聚福	二三	雙盛長	一〇
萬慶昌	二七	萬義長	一一
福順義	六〇	福聚恒	一五
福和盛	五八	廣源泰	二五
恒昇	一四	益發合	二〇
元和成	八八	天興福	二〇
義順生	六三	裕昌元	二〇
東和長	八二	東記	二〇
西記	九六	東亞	一五
三泰	三四		

▲受方

泰來	一	興成東	一
益興德	一	聚成祥	一
日清	八〇	玉谷	一〇
瓜谷	一八九	三井	三九三
三菱	四四三		

次に豆油は賣買總出來高二十一萬二千五百箱、受渡高七萬九千五百箱、受渡標準値段八圓二十錢、受渡步合三割七分四厘强にして前月十四日限に比較し、賣買總出來高では九萬箱、受渡高では二萬七千五百箱とそれ〴〵增加を示し、受渡標準値段では七十錢方の安値であつた、なほ公定相場は最高十一（以下不明）

福順義	一五	福聚恒	一五
福和成	二五	廣源泰	二〇
恒昇	二〇	興記	二五
天興福	三〇	義順生	二〇
東和長	四五	西記	六〇
東亞	一五	三泰	一八五

▲受方

日清	七〇	三井	一八〇
三菱	五四五		

東拓支店長招集
對滿事業經營方針協議
廿六日から五日間東京で

東拓總裁高山長幸氏は舊臘再選重任と決定したので、いよ〳〵積極的活動に入るべく諸種の事業計畫を樹立したが、計畫遂行に先だち東拓では來る二十六日から五日間東京本社で支店長會議を開催、新方針につき詳細說明を行ふと共に各地支店長より支店の業務近況を聽取し、種々打合せを遂げる筈であるが、本會議は久しく中止されてゐたもので、而も高山總裁の重任直後のこととて時節柄注視されてゐる、なほ中澤大連支店長並に吉岡鴻業公司專務は二十日出帆はるびん丸で上京の筈である

沿線三取引所 二十日限閉鎖決定

豫て詮議中であつた沿線取引所の中、開原、四平街及び公主嶺の三取引所は十三日附を以て本月二十日限り閉鎖する旨前記各取引所に向け指令を發せられた

近年の情勢が この結果を招來した
山中商工課長語る

右につき山中商工課長は語る

開原取引所は大正五年二月、四平街、公主嶺兩取引所は大正八年八月の開設にかゝり何れも重要物產並に錢鈔市場として逐年隆昌に赴き殊に開原の如きは南滿における重要物產の一大集散地であり、市場殷賑を極め、その取引高は大連市場のそれを凌ぐ狀態であつたが、昭和三四年の頃これ等取引所の東方背後地を滿鐵並行線たる瀋海鐵路吉海鐵路が全通するに及びその影響を蒙り重要物產の出廻りは減少するに至りこの外滿鐵混合保管制度の發達市場關係業者の廢業連出その他諸種の事情から漸次市場衰へ滿洲事變發生後はその傾向殊に著しく、最近においては賣買取引皆無となり、全く取引市場を使用することなく、又これ等地方一般の狀勢から見てなほ存置の必要あるを認められざるに至つたゝめいよ〳〵本月二十日限り廢止することに決定を見た次第である、なほ取引所附屬の信託會社は取引所の廢止と共に市場の成效不能により解散し淸算することになつたのであるが、各會社とも會社の內容がよく整つてゐるので簡單に計算事務の完了することができやうと思ふ

新覺書の回答が 否認されゝば結局決裂
注目さるゝ第六次日英會商

【ロンドン十三日發國通】ランカシヤ綿業團の新覺書に對する日本代表部の回答は第六次會議において手交されたが、その內容は日本は左の諸點を主張してゐるものと觀測される

一、新覺書は協定の地理的區域を大陸別に區別してゐるが實質的には舊覺書に關するこの點の條項と何等變りがない

一、世界的不景氣に伴ひ綿製品の輸出が世界的に減退したのを理由に日本の輸出だけを制限しやうとする提案は一方的で相互的な討議を旨とする日英協議の精神に反する

以上日本代表部の回答に對し、ランカシヤ綿業團の反省を求め、次の二項を指摘したものと確聞する

ンカシヤ綿業團が十四日の會議で再考の餘地が無いと拒絕すれば日英協議會は茲に決裂となるが、第四次會議で決裂は免れまいと見られたにも拘らず、最後の瞬間にランカシヤ綿業團の新提案で持越した例もあり、協議會の前途は遽に豫斷出來ない

高率關稅と 外貨排斥から
悲鳴をあげる燐寸業者

【上海特電十四日發】南京政府財政部では不足に不足を重ねて行く軍政費の穴埋めとして公債政策による外、高率關稅政策をとり、專ら收入增加を圖つてゐるが、これが原因をなして國內重要工業を衰退に導いてゐる奇現象を各方面に齎してゐる、その一例として、中國の有力工業として有望視されてゐる燐寸業は、原料品たる軸木の輸入稅が每千平方天二元五角二分の處五元四角に倍加されしため、需要者側に生產費の昂騰を來し、一方購買力の減退と共に益々燐寸工業を衰微に至らしめてゐる、よつて全國燐寸聯合會では原料品の輸入稅引下又は免除の烽火を揚げ財政部當局に請願してゐるが、是等は當局が矢鱈に稅率を引上げ外貨を排斥した失敗を物語るものである

臺灣二期米 移出三百萬袋

【臺北特電十四日發】臺灣二期米の三月三日迄における內地移出高累計は三百五萬一千六百五十七袋で品種別內譯左の如し（單位袋）

丸糯米	一、三三〇、九八一
蓬萊米	一、四五七、五二九
在來米	二〇二、四四三
長糯米	六〇、七〇四
合計	三、〇五一、六五七

大連市場の特殊性と 現在市場の缺陷
(二)
大野勇

取引の現狀

入荷の狀況　昨年十一月より本年二月十五日に至る大連市場取引の大宗たる日本及臺灣よりの輸入にかゝる柑橘類に就て入荷狀況を述べると荷主が市場宛に直送（市場にとつて大事のもの）する分量は內地柑で約二割、臺灣柑約一割は中繼により市場に入るもの內地柑約二割、臺灣柑約五割で內地柑では直送と中繼とが略半々になつてゐる、一方奧地直送は內地柑で僅かに一割臺灣柑絕無（これは奧地行には更に大連で改裝を要するものである）といふ有樣である、最も多いのは全入港量の內、內地柑で七割強、臺灣柑で九割を占むる中繼を見るのは大連市そのもの、特殊性と奧地に對する優越性を物語るものなれば左に特記す

中繼扱の多い理由　中繼送りは安奉線經由に比し一日の時間も早め運賃も多少安いこと、大連商人中には奧地に槪ね有する有力商人が多いこと、中繼送りにすれば大連市場の氣配と奧地の氣配と兩睨かける利便あること、從來の取引關係による荷扱技術に熟練せる大連商人の手を經たき荷主側の希望あること、商品の性質上、金柑類、臺灣柑の如く奧地送には必ず大連で改裝を施す必要あることなどである。

◇

然で考へて見ればならぬことは中繼貨物の「荷扱者は誰であるか」の點だが、それには荷主から見て信賴の出來る荷扱技術の優れた人であらればならず、それには仲買人が選に當り易いが仲買人は受託販賣の出來ぬ人である、萬一販賣の引受でもすれば、それが市場區域內である限り規定違反である、問題はこゝだ、然し一方から考へれば

一、荷主は段々滿洲市場の實情に通じ出荷統制、販賣斡旋の技術も進んで來る

二、各地の市場も追々に整備して信用が高まつて來る

三、奉天、ハルビンの如き主要地にして特殊なる相場の立ち易い地には貯藏設備が出來て調節が行はれ漸次相場の激動が起り難くなり思惑の餘地も減じて來る

かうなれば荷主側の此種の希望や要求も減じて行くであらうとは內地の現狀が證明してゐると考へる

相場の大勢

一、關門相場　大連市場の出來値は奧地に對する關門相場として重要性を有し事實標準相場として利用されてをり、又惡用もされてゐる、惡用とはこの相場を本として之より多少なりとも高値を仕切り荷主に忠勤振を誇示するものでこれがこの種內職の唯一の手段なのである

二、平均相場　大連市場の相場は奧地や內地のそれに比べ低いと難ずる者もあり、又反對に高いと難ずるものもあるが比較的長期間の平均相場を見ると決して他に比べて低くも高くもない

三、値開きが大きい　然らば大連相場のどこに非難があるかと言へば相場亂高下にあり、如何にも辯護の餘地はない、それは八年度において特に左樣に感ぜられる、亂高下とは短時日の間に相場の大きな變動が起ることで倍額に上つたり半額以下に下つたりする事例は珍しくない、此種亂高下は市場の新設又は新制度實施等の際に起り易い現象であるが、これ程荷主を苦めるものはなく、荷主にとつては出荷の目標がぐらついて危險この上もないので市場信用の失墜は職として之に由る場合が多い

四、何故に亂高下が起るか　奧地思惑の興味をそゝる土地柄であること、市場設備不完全にして供給量の調節が出來ぬこと、貨物の損傷防止の必要上賣急ぎをすること、賣止め方法の少く又出來難きこと、八年度は安奉線による未曾有の奧地入荷により商況特に混亂したことなどである、槪して廣大な奧地を控へ而も商略的手段の施し易き土地柄にある事情が相場の騰落を誘發し易い事情にある、この外これの責任の大部分を負擔せねばならぬものに設備の不備のあることはいふまでもない

五、亂高下の結果　この亂高下が市場の上に與へる影響の主なるものは奧地行の中繼貨物を漸增する事、市場の機能を疑ひ全體として市場の信用を失墜すること、規則違反者を多くし市場集中化の作用を妨げることなどである

六、亂高下の防止方法　凡ての改善方策の實施が茲に集結し結果される譯であるが特に重要なものを擧ぐれば市場設備の改善、販賣上の諸注意と見本ぜりの實行、市場取引集中化の方法實施などである

英商が 滿洲へ進出
木材賣出を計畫

【新京特電十四日發】本店を上海に置き天津其他支那主要都市に支店を有する英商ザ・チヤイナ・アンド・エキスポート・カンパニーの店員オットー・マリノスキー氏は目下津方面視察中であるが、右は滿洲における木材事業に着眼し業界へ進出のため支店を設置すべく三井物產上海支店より證明書及び紹介狀を貰ひ各地を視察してゐるもので最近ドイツ、フランス、ポーランド等歐洲諸國の對滿通商締結濃厚なる折柄同氏今回の視察は多大の注目を惹いてゐる

百年の長計を 樹立に來滿
近藤京都府 內務部長來連

京都府內務部長近藤駿介氏は滿洲の產業視察のため十四日入港はいかる丸にて來連したが船中語る
現在京都府は雜貨、織物等年額約五百萬圓を滿洲に輸出して居り、將來益々對滿貿易發展の氣運があるのでこちらの產業を視察の上百年の計を樹てるつもりでやつて來ました、旅程は約二週間で舞鶴との連絡港羅津、淸津を見て朝鮮經由歸らうと思ひます

人絹輸出高 未曾有の記錄

【東京十三日發國通】本邦人絹輸出は印度を始め益々高度化する世界關稅網をよく乘越えて好調を示しつゝあり人絹聯合會調査によれば二月中の人絹織物輸出高二三、〇八六、八五九平方碼、昨年來再び增勢に向ひつゝあつたがその後を受けて再び增勢に轉じ人絹織物に先んじて昨年來絲輸出高は一、八七九ポンドと云ふ實に驚異的の數字で昨年九月中の一、二二四ポンドを凌いで逐に未曾有の記錄を作つた

輸組臨時總會 準備協議會
十三、四日開催

臨時總會招集を前に輸入組合研究會では、既報の如く十四日理事會を開催、議案の審議を行ふことになつてゐたが、突如一日繰上げ十三日夜某所に於て山中理事長、田邊常務理事、霍田、兒玉、久米各理事出席、組合機構の根本改革、理事長權限擴張、見本市其他諸重要案件を審議し、深更に及んだが審議未了となり、十四日午後一時より再開、審議を續行するところがあつた、尙ほ山中理事長、田邊常務理事は十四日午前十一時より約二時間に亙つて十三日の理事會の經過報告を行ひ總會開催日取その他諸重要案件につき協議したが總會日取は來る二十三、四日ごろになる模樣で、總會前日慣例により事務協議會を行ひ下打合せを行ふ筈である

浦鹽の水先料 半額に割引

昨年九月一日から實施された浦鹽の外國船舶に對する强制水先料金は餘りに高率なため非難の聲が高かつたが、去る二月十七日以降半額に割引し、登簿噸數一噸毎に金留一コペックを徵收することになつた旨十三日國際運輸本社に入報があつた

正金副支配人 伊藤氏倫敦轉任

正金銀行大連支店副支配人伊藤稚雄氏はロンドン支店副支配人に榮轉近く出發の筈であるが、後任として漢口支店副支配人吉田雄次郎氏が榮轉來任の筈

黃慶

◇…近頃滿洲國に取つて聞かなニュースは天津上海の有力支那商や在支の外商等が既に滿洲進出を企てゝ居るとた最近でも上海に本據を持つ英商が滿洲の木材界を目指して社員を派遣調査さしてる皇帝に逮捕令を出したり途方もない苦肉の策に奔命してる南京の要人共に篤とこの事實を認識させたい。

◇…問題の沿線三取引所が本月の二十日限り閉鎖に決定した、かれての懸案だけ終ろこの斷行を喜ぶものだが、これがため少しでも地元の繁榮を殺ぐことに對しては當局は別に對策を講じてやるべし。

市況（十四日）

特產

投物續出し 大豆低落

今朝の定期は大豆は投物續出で低落を辿り豆粕も銀高と大豆安に低落を呈し豆油は南支筋の賣に軟調を示し高粱は南支筋の投げに低落を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	三三〇〇	三三〇〇	三三一〇	三三一〇
四月末	三三一〇	三三一〇	三二八〇	三二八〇
五月末	三三一〇	三三一〇	三二八〇	三二九〇
六月末	三三一〇	三三一〇	三二九〇	三三一〇
七月末	三三四〇	三三四〇	三三三〇	三三二〇

出來高　四百六十九車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	一〇五五	一〇六五	一〇五五	一〇五五
五月限	一〇四〇	一〇四〇	一〇三五	一〇三五
五月末	一〇四〇	一〇四〇	一〇三〇	一〇三〇
六月限	一〇四五	一〇四五	一〇三〇	一〇三〇

出來高　十七萬七千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	八一〇	八一〇	八〇〇	八〇〇
五月限	八一〇	八一〇	八〇五	八〇五
六月限	八一五	八一五	八〇〇	八〇〇

出來高　二萬三千箱

▲高粱（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	一六二〇	一六三〇	一六一〇	一六一〇
四月末	一六三〇	一六四〇	一六二〇	一六二〇
五月末	一六三〇	一六四〇	一六二〇	一六二〇
六月末	一六六〇	一六六〇	一六五〇	一六五〇
七月末	一六六〇	一六六〇	一六五〇	一六五〇

出來高　七十二車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
大豆（保管）	三二九〇	三三一〇
混保（袋込）	一〇五〇	一〇五〇
豆粕（特製）	八〇五	八〇五
高粱	一六四〇	一六四〇
包米	二一〇〇	二一〇〇

（出來高：五十車、十六百箱、六千枚 ほか）

錢鈔

强材料を入れ 鈔票引高

海外情報は倫敦銀塊現物八分一安

◇定期喰合高（帳）（十三日）

前日對比較

大豆	四八二四車	△一四車
高粱	一四三六車	△五車
豆粕	四七二二千枚	△一九千枚
豆油	三七二〇百箱	△二〇百箱

豆粕生產高（十四日）九五、〇〇〇枚
出來高 五車

豆

けさ大豆は銀高と南支筋及油房筋の投物出で、五錢乃至八錢方の低落を辿つた▲南支筋や油房が狼狽したのは中歐の政局が危機に瀕したとの入報によるものらしい▲豆粕は三井、三菱、日清等の大口買で十七萬七千枚の手合があつたが大豆安と銀高に押されて材料とならず低落商狀を呈した▲豆油は南支筋の賣りで邦商の買も利かず軟調を示し高粱も南支筋の投物ありて低落を辿つた▲南支筋は各品を通じて投げてゐるが中央政局危機の報は上海面方から這入つたゝめだらう

銀

紐育銀塊は保合であつた倫敦孟買安上海市場も漸水弱含み標金小寤りを入れ▲當市の鈔票も寄鼻マバラの嫌氣投げで四五十錢安の二圓臺を割つたがアト强材料を入れ前日より二三十錢高と引締つた▲けさの情報は米國某議員が金對銀の比價が一對十六になるまで毎月五千萬オンスを買入れる法案を議會へ提出したとあり▲銀價の吊上に關して各種各樣の法案が提出される狀態にあるので結局銀價の吊上げは何とか具體化されるものとみられて來た

株

內地主力株は前日後場稍小締り模樣となつたがけさに至り伸力に乏しく保合を入れ▲地場株はいづれも釘付商狀で無味閑散の面を呈した▲內地當市共人氣は槪して强いがその割に相場は頭重い商狀にある▲インレ謳歌で株高人氣は津々浦々まで浸潤した結果稍買疲れを覺えたらしい▲大勢高かるべき相場としてもこの邊玉整理が行はれなければこれ以上の躍進は困難らしい相場振りである▲雜株も利廻り採算から正株を引取るつもりならよいが尠くとも定期で買つて妙味のある相場でない

先物十六分一安、紐育銀塊同事、孟買銀塊一留比八分三安、米英クロス八分五高、米支爲替同事、米日同事、滙申九六元二五〇、滙煙九五元三〇、滙水百十六圓八分七乃至七圓二分一、上海標金四、五元高を入れ寄鼻軟弱であつたがアト米國議會へ銀吊上法案提出の報を入れ强調に轉じ二三十錢高と昂騰した

◇定期前場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	二三五	二三七五	二三五	二三七〇

出來高　四百七十一萬圓

株式

內地變らず 當市も釘付

◇現物前場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	二三八五	一四三五	一七〇五
十時	二三七五	一四三〇	一七〇五
十一時	一	一	一
十一時半	二三七五	一四三五	一六九五

出來高（銀對金）四十九萬五千圓（銀對洋）一萬六千圓

北濱定期の前場寄は大株二十錢安大新九十錢高、鐘紡同事、鐘新四十錢高、引は保合、東京短期の新東は保合を入れ當市の五品、新豆錢鈔は全然釘付商狀、氷新一圓方安、新東、日產も保合であつた

◇定期前場（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品（寄）	一	三〇〇
五品（中）	一	一〇三〇
五品（引）	二八七	二八九
製氷（寄）	一	二八九
製氷（引）	一	二八九
氷新（寄）	一	一
氷新（引）	一	一

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
電々	一	一五九	一五一	一五一
五品	三八六	三八六	三八六	三八六
新豆	二五五	二五五	二五五	一

滿鐵株（保合）

東京短期滿鐵新株　六十七圓四十錢
大阪短期滿鐵舊株　六十八圓三十錢

◇實取引

銘柄				
錢鈔	二五五	二五七	一	二五五
氷新	二五五	二五〇	一	一
大新	一三〇〇	一三〇〇	一	一
東新	一七八	一七三〇	一七八	一七七
日產	二三六五	二三六五	二三六八	二三六八
滿鐵新	一	六三	六三	六三
滿鐵二新	六〇七	六〇七	六〇七	一

◇籠取引

代行二八五、二九〇、電々一四九、滿興三〇〇、東電三八五、化學工業三三七、三四〇、金福一三〇、郊外土地八四、土木八七、大連機械一二九

○爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代渡	代引	日步
五品	二六五	二三〇	一〇〇	二五	
新豆	二五五	二二五	一	無	
錢鈔	二五五	二五五	一	二五	
氷新	二二五	二五〇	一	二五	
大新	一三〇〇	一三〇〇	一	無	
東新	一七八五	一七八〇	一	無	
鐘新	一一〇〇	一〇〇	一	無	
滿鐵新	六二五	六〇	一	二五	
電々	一六〇	二三〇	一	無	
日產	二三五	四九〇	二五	二五	

株式出來高（十三日）

定期	一、二二〇枚
延羅	四、五一〇枚
合計	六、九五〇枚

商品

麻袋弱含み 綿糸軟調

麻袋　產地鐵八分一安、靑十六分三安、爲替四分一高、當市現物の荷動き依然捗々しからず弱含み商狀を呈した引際唱へ値は現物三十七錢七厘、當限先限三十七錢七

厘見當

銘柄	約定期	値段	枚數

市場電報（十四日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二〇片八分五
同先物	二〇片四分三
紐育銀塊	四五仙四分三
孟買銀塊	五五留比八分五
スチール	四四弗三分一
アナコンダ	一五弗三分一
英米爲替	五弗〇九仙八分五
米日爲替	三〇弗一八仙
米支爲替	三五弗六五仙

神戸日米

第一回	三〇弗〇分〇
第二回	三〇弗〇分〇
第三回	三〇弗〇分〇

棉花

●米棉

現物	一三仙四五
三月	一三仙二四
五月	一三仙三四
七月	一三仙三五
十月	一三仙五一
十二月	一三仙六三
一月	一三仙六六

●印棉

ベンゴール	一四一留比
ブローチ	二〇七留比

大阪株式

（オムラ 一六六比留）

銘柄	前場寄	前場引
大株	一三六三〇	一三三七〇
大新	一二四五〇	一二三八〇
鐘紡	二二八〇〇	二二四八〇
鐘新	一二四九〇	一二三八〇
日糖	一	一
郵船	一	一
滿鐵	一	一
滿鐵新	一	六八〇〇
東株	一	一
東新	一七九〇	一七九〇
（短期）		

	寄値	引値	高値	安値
大新	一一七三〇	一一五六〇	一一五一〇	一一四八〇
鐘新	一一九三〇	一一七三〇	一一五一〇	一一五四〇
日產	一一二二〇	一一二九〇	一一三五〇	一一三八〇
帝人	一三〇〇〇	一三〇〇〇	一三三〇〇	一三五〇〇
滿鐵	一	一	一	一

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一六三〇〇	一六三〇〇
東新	一八一〇〇	一八一〇〇
五品	一	一
豆新	一	一

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	三三〇〇	三三二六
中限	三二二三	三二二七
先限	三二〇三	三二一七

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	三二〇三	三二一六
中限	三二〇五	三二〇五
先限	三一九九	三二一一

東京期米

	前場寄	前場引
當限	一	一
中限	一	一
先限	一	一

大阪綿糸

	前場寄	前場引
當限	一二三九〇	一二三九八
中限	一二三六七	一二三〇七
先限	一二四四	一二三八八
三月	一〇八〇〇	一〇八〇〇
四月	一〇八〇〇	一〇八〇〇
五月	一九七一〇	一九六〇〇
六月	一九六七〇	一九五九〇
七月	一九六〇〇	一九四一〇
八月	一九六六〇	一九四〇〇
九月	一九六三〇	一九三〇〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	六一〇〇	六〇九〇
先限	六二五〇	六二二五

橫濱生糸

	前一節	前二節
三月	五七四〇〇	五七四〇〇
四月	五六六〇〇	五六六〇〇
五月	五六八〇〇	五六八〇〇
六月	五七〇〇〇	五七〇〇〇
七月	五六八〇〇	五七〇〇〇
八月	五六〇〇〇	五六八〇〇

印度麻袋

鐵筋直積	二四留比三分一
直積直積	二七留比八分五
爲替直場	七六留比四分三

上海爲替情報

【上海十四日發】銀塊安のため標金高弗稍弱く寄り後保合標金乘替轉六七弗先安にて賣手見送る圓は北方筋賣り花旗銀行よく買ひ三月物百十七八分一、六月物百十八丁度、出來値引前北方筋百十七二分一、五月物百十七八分一賣る

綿糸　米棉現物五ポイント安、先限一、二安、印棉小寤り米日七仙安、大阪三品は當限九十錢安、中限小一圓安に寄りアト當限同事先限一圓安を入れ當市は氣乘薄で見送つた

鐵筋　四月限　三七七　七〇
出來高　七萬枚

上海標金

寄値	九四七弗九
高値	九四八弗三
安値	九四六弗四
止値	九四七弗〇

手形交換高（十四日）

金	一、三〇〇枚	四三、三〇一、三九六圓
銀	三七二枚	三、三二一、九四圓

爲替相場

鮮銀

倫敦向電賣（圓）	一志二片八分一
紐育向電賣（金百圓）	三〇弗〇分〇
同上海電賣（百弗）	一一七圓八〇
同賣（銀百圓）	九六圓〇〇
日本向電賣（同）	一三圓八〇
同五日拂買（同）	一三三圓〇〇

奧地相場

錢鈔

奉天金票對（現物）	五一、三三	一
（奉天）國幣對鈔票（現物）	一〇六、七〇	一〇六、七〇
（奉天）國幣對金票（現物）	一二四、八〇	一二四、八〇
金票對國幣（先物）	八七、七〇	八七、七五
開原國幣對金（現物）	一二四、八〇	一
新京國幣對金（現物）	一二四、一〇	一二四、一〇
哈國幣對金票（現物）	一二四、一〇	一二四、八〇
安東金票（當限）	一二六、四	一
鎮平銀（先限）	一二六、八	一

特產

▲大豆

	寄付	大引
哈爾濱 三月限	四五〇〇	四五〇〇
四月限	四五〇〇	四六〇〇
五月限	五〇〇〇	五〇〇〇
六月限	五〇三五	五〇〇〇

▲小麥

	寄付	大引
哈爾濱 三月限	一、二三〇	一、二三〇
四月限	一、二三〇	一、二三〇
五月限	一、二〇〇	一、二〇〇
六月限	一、二〇〇	一、二〇〇

各地特產發送高

▲開原		▲公主嶺	
大豆	一	大豆	八車
高粱	一車	高粱	九車
豆粕	一	豆粕	一
雜穀	一七車	雜穀	一車
▲四平街		▲新京	
大豆	二車	大豆	一二〇車
高粱	八車	高粱	五車
豆粕	一	豆粕	二車
雜穀	一九車	雜穀	一二車

大連埠頭到着高

大豆	八五車	高粱	二三車
豆粕	三四車	雜穀	四六車

明治四十年十一月三日第三種郵便物認可

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一ヶ月 金一圓五十錢 郵税 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

貴族院無修正可決
九年度總豫算案成立
新線削除修正動議は葬らる
きのふ貴族院本會議

【東京特電十四日發】貴族院は十四日豫算案討議の際鐵道特別會計豫算中新線三線削除問題でこの議會初めて各派對立情勢を示し頗る緊張の場面を呈した、即ち特別會計の討議に入るや公正會から鐵道三線削除の動議提出され大藏公望男まづ專門的見地からこの削除の至當なる所以を明快に述べこれに對し研究會の兒玉伯は政治的見解から「これを修正すればすべての特別會計が不成立となる慎れがある」と削除反對論を述べる、次いで同成會の次田大三郎氏は法律論及び先例から「特別會計の各案はすべて可分であるから鐵道のみが不成立となつてその他のものが不成立となる理由はない」と兒玉伯の結論を攻撃し續いて青木周三氏また痛烈皮肉な論調で修正案を支持し、演説では修正派が頗る氣勢揚つたに拘らず堂々廻りとなるや研究會、交友倶樂部その他の反對で百八十八對八十二即ち百六票の差で修正意見敗れかくて一般特別會計を通じて豫算案全部原案通り可決しこゝに豫算成立をみた

貴族院本會議
九年度總豫算案上程

【東京十四日發國通】貴族院本會議々事夕刊つゞき——質疑のため

三上參次君(無)登壇

私の質問要旨は今日の高等教育から普通教育に至るまでもう少し日本人らしい教育をして頂きたいの一言に盡きる、現在の教育は要するに外國教育方針の直譯に過ぎず、中等學校科目の三分の一は外國語修得に當てられてゐる、私は飽迄外國語修得の必要を認めるがさりとて外國語一點張りの教育は日本人たる事を教へるに足らない憾みがあることも認めねばならぬ

さて國民的精神教育の缺如を指摘し、我國の教育制度沿革を論じ外國語修得の時間を減ずれば世界大勢に遲れぬかと心配があるが政府は有力な飜譯機關を設置し新智識輸入に努むればよいと提唱し文相の教育根本方針に對する所信を質して降壇すれば

齋藤兼文相 御説には全く同感である政府も日本精神作興に努める考へで外國語科目の整理については目下教育調査會で愼重調査中だから何れ成案を御目にかけたいと思ふ、飜譯機關設置は經費多大で早急實現は期し得ない

と簡單に答へ午後零時二十七分休憩

再開【東京十四日發國通】貴族院本會議は午後一時五十四分再開總豫算案に對する討議に入り贊成意見陳述のため

長岡隆一郎君(交友)登壇

私は本豫算案に對し贊成するものである、併しその内には幾多の不滿をも持ち乍ら已むを得ず贊成する次第であるけれども現内閣は現下の國政を擔當する能力ありとは考へられぬ、本豫算案にしても何等統一せる政策なく只數字の羅列に過ぎぬ

さて農村對策の不統一と無爲無策を痛撃した後豫算案に轉じ

本豫算案中には重大な國防費が含まれてゐる、東洋平和維持のために是非共必要缺くべからざるものだから此の意味で本豫算成立を希望する次第である、他の幾多の諸政策には不滿あるもこの豫算には多分の緊急なる國防費を含むのである、これ敢へて贊成を表する所以である

と結んで降壇、次いで

菅原通敬君(同成)登壇

歳出入の不均衡より來る豫算編成難を克服してこれを纏め上げたことは慶賀に堪へぬ

と藏相禮讃を一席辯じた後

財政樹直しが裏切られたのは遺憾だが大局から見て本豫算案に贊成する、たゞ二、三の議を贈りたい

さて財政樹て直し公債發行制限、租税政策等を舉げ縷々として述べるので、議場は早くも惰氣漂ひ代つて

前田利定子(研究)登壇

本豫算では尨大な軍事費に壓せられて農村對策中、中小商工業救濟其他何等見るべきものなく甚だ不滿であるが、現下の情勢から見て已むを得まい、將來は國家財政の基礎を確立すべく國防費も出來るだけ減額するやう努められたい

さて國防偏重主義の不滿を述べた後結局贊意を表しこれで討論打切り、議題中特別會計豫算案を除きたる

一、昭和九年歳出入總豫算案
一、豫算外國庫負擔となるべき契約を要するの件

を採決し滿場一致可決、次いで

一、昭和九年度各特別會計歳出入豫算

を議題とし之に對し修正動議説明のため

大藏公望公(公)登壇

私は本年度鐵道新設線中より名寄—朱鞠内間、小出—只見間、柳津—川口間三線を削除すべしとの動議を提出するものである現在の國鐵增收は一時的現象であり一旦不況到來せば慘憺たるものとなる斯る際新設の線は經濟的に最も國家に取り必要なものでなければならぬ、この見地から今回提案の八線中三線は首肯出來ない

と三線につき具體的に不必要な點を強調して最後に

將來に對してもこの三線は惡例を殘すものだ

と説明を終れば議席から拍手湧く

次いで兒玉秀雄伯右三線が必ずしも不必要でないことを説明して政府擁護論を述べれば、次いで次田大三郎氏(同成)修正動議贊成演説を述べ最後に青木周三氏(同)も修正贊成意見を述べ、討論終結記名投票の結果一八八對八二で修正案否決され、特別會計豫算案の採決に入り委員長報告通り可決斯して茲に空前の尨大なる豫算は兩院を通過成立、時に五時五十五分、次いで

一、選擧法中改正法律案(政府提出)衆院送附を議題とし山本内相提案理由を説明、九名の委員附託
一、著作權法中改正法律案(政府提出)

を上程、内相提案理由を説明、既設委員に附託、この時大角海相發言を求め友鶴遭難問題を詳細に報告し更に

一、民事訴訟法中改正法律案(衆院提出)
一、司法保護法案(衆院提出)

を一括して委員附託

一、衛生組合法案(衆院提出)
一、傳染病豫防法中改正法律案(同上)

を一括九名の委員附託

一、蠶糸法案
一、營業收益税法中改正法律案

の衆院提出二案をそれ〴〵既設委員會に併託、最後に請願三十四件を委員長報告通り採決、午後六時十四分散會

議會風景

【東京特電十四日發】總豫算成立の日貴族院本會議は珍しく空席少く傍聽者もハチ切れさうな入りだが▲傍聽の大半は婦人と女學生でビラが飛び出す懸念もなく和やかな空氣のうちに議事が進む▲柳澤豫算委員長の報告演説が一時間餘り續いたあと▲三上博士が質問として登壇したが太政官以來の文教史を述べ立てゝ期待外れのものとなつた▲要するに學校で英語を尊重するのは怪しからぬといふだけのことと▲午後討論に入つて劈頭登壇した交友倶樂部の長岡隆一郎君▲朗々たる聲と落ち着いた態度で内閣は大臣の寄合所ではない、渾然一體となるべき有機體でなければならぬか▲來るべき危機に處して經綸を行ふ能力ありと認めないなどゝ殆ど彈劾的論評を進めたうへ▲清廉潔白、至誠の人たる齋藤首相は徐ろに善處さるゝものと見てこの豫算に贊成するといふ意味深長な結論をつけたが、論旨明徹で頗る好評であつた▲かくて一般豫算案は四名の討論で可決され特別會計ののち鐵道新線三線の削除、修正問題で討論が行はれ記名投票まで行はれて片付いたのは夜になつてからであつた▲これも貴族院では稀有のことだ▲この日貴族院の一室で伊藤博文公の秘藏した守り本尊藤原藤房卿が楠公の英魂を慰めるために奉仕したといふ虚空藏菩薩が安置されて▲大臣、議員代る〴〵參觀して賑つてゐた▲これは近く朝鮮の寺に安置されるといふ▲なほ先頃勅選された朝鮮の朴泳孝侯が初めて議席についたのが人目を惹いた

わが學校教育 外國偏重の極
三上參次博士の質問

【東京十四日發國通】十四日の貴族院本會議に於て文學博士三上參次氏は我學校教育に於ける外國偏重を詰り齋藤首相兼文相に對し左の如き質問をなした、三上參次氏の質疑の大要は

今日の高等教育から普通教育に至るまで日本らしい教育を決定せしめ度い意見である、明治維新以來今日の教育は一言にして言へばフランスもしくは米國の直譯そのもので、高等教育に至つては三分の一は外國語で學ばねばならない、然らば外國語は上達するかと云ふとその效果は一向現はれてゐない、外交官にしろ實業家にしろ學校を終へてから特に外國語を學ぶ状態である、もとより私は語學を輕んずるものではないが日本人として學ばねばならぬ事は多々あるのに何故外國語の爲めにかゝる時間を費さねばならぬか、此の點を文部大臣に伺ひたい外國語を驅逐する事によつて日本は世界知識に疎くなる虞はないかとの反問を生ずるやもしれないが、これが對策としては國家が大きな飜譯機關を設置して世界の知識を早く國民に知らせ、又我國を世界に知らしめる機關とすればよいと考へる

これに對し齋藤首相兼文相は

三上君の御意見は誠に有益である、我教育の根本方針は徒らに外國を模倣するものではないのであるから今後もよく考慮する御主旨は贊成である

と答辯した

對支對露外交
廣田外相答辯

【東京十四日發國通】衆議院の貿易調節通商擁護法特別委員會は十四日午後一時二十分開會、政友の畑桃作君より北支停戰協定後の日支外交關係如何を質問したるに對し廣田外相は左の如く答辯した

日支關係は最近改善の方に向つてゐる、國民黨部では日本と對立關係を作ることは東洋に國を樹てる所以でないと諒解して來た、政府は南京政府のみならず中央官憲と種々折衝を進めてゐる次第である

畑桃作君(政)次いで對露經濟關係に對する所見如何を質したが廣田外相は

對滿關係については兩國の共存共榮を圖るため努力してゐる、日滿間の貿易關税に關しては考慮すべき時機の來るものと思つてゐる、對露貿易關係は北平の基本條約における露領内の天然資源を日本に利用させることについてはこれを履行せしむるため屢々露國政府に注意を喚起してゐる

と答へた

選擧法改正 法律案
本會議に上程

【東京十四日發國通】選擧法改正案は十四日の同案委員會で修正の上可決されたので十五日の本會議に上程可決の上貴族院に送附する事となつた、かくて政府の金看板選擧法改正案は衆議院に於て大修正を加へられる事となつた

中南米向け 輸出組合
設立に決定

【東京十四日發國通】中南米の片貿易調整を目的に商工省の斡旋で輸出入組合を設け輸出組合が輸入組合に補償金を交附し同市場よりの輸入を增加しその反面輸出增進を企圖してゐたが、補助金交附には往航路運賃を値上げし之を復航路運賃に割當てる形をとる事に意見一致を見先づ輸出組合を創設する事になつた

日英會商決裂
きのふ六次協議會で

【ロンドン十四日發國通】日英通商協議會は十四日の第六次會商をもつて遂に決裂した

松平大使訪問
代表意見表明

【ロンドン十四日發國通】我綿業代表は十三日午後松平大使を訪問し英國案を拒絶せざるを得ざる事情を説明し更に英國側が態度を變更せざる限り十四日の會商が決裂の外なき事情を述べて諒解を求めたるに對し松平大使は決裂は止むを得ずとするも成るべく圓滿に打切り將來會商再開の餘地を殘されたしと希望した

織田萬博士

【東京十四日發國通】織田萬博士は今回ヘーグの國際仲裁々判所裁判官に任命された

けふの議會

【東京十四日發國通】
・貴族院　十五日貴族院本會議休み各委員會を開く
・衆議院　衆議院は午後一時から本會議九年度追加豫算案三件の外朝鮮私鐵補助法中改正法律案その他多數法律案を上程他に各委員會を開く

鴨江護岸工事

【安東十四日發國通】安東縣當局においては毎年夏期鴨綠江の氾濫により多大の被害を蒙りつゝある現状に鑑み、その護岸工事は刻下の緊急事としてゐたが今次財政部より五萬元程度の工事費の認可を得たので、本年解氷期を待つて鐵嶺、臺安、遼中の各縣と相呼應し一齊にこれが工事に着手することゝなつた

チモール島賣却説は虚傳
葡公使館否定

【東京十四日發國通】十一日附ロンドンのサンデイ・デスパッチ紙の報道としてポルトガル政府は東印度諸島中のチモール島東半部のポルトガル領を英國に賣却する意圖を有してゐる旨傳へられたが十三日駐日ポルトガル公使館では右は全然虚報であり何等の根據もないと公式に否定した

不時着陸機飛行士 引渡斡旋を頼む
ス總領事、森島總領事を訪問
直接交渉を説き拒む

【ハルビン特電十四日發】ソ聯飛行機の滿洲國領内不時着陸問題に關しスラウスツキー總領事は狼狽して十四日森島總領事を官邸に訪問し右飛行機は全く天候のため進路を誤り滿洲國領内に飛來したもので何等他に意味はないから飛行士兩名を當方に引渡す斡旋をして貰ひたいとて種々諒解を求めやうとしたが森島總領事は問題はソ滿國間に限られた問題であるから滿洲國に交渉ありたい、當方は斯樣な問題に斡旋は出來ないと拒絶した、なほ右ソ聯軍用機がソ滿國境から三十キロも離れた滿洲國内に着陸したことはソ聯の飛行機が屢々滿洲國内に侵入したとの情報を立派に裏書きするものだとて滿洲國當局は極度に憤慨してゐる、ソ滿間の重大な外交問題とする模樣だが當時同方面における天候は極めて快晴にて航路を誤ることは絶對にあり得ない、なほ右飛行機は不時着陸と共に破壞したが解體のうへ一兩日中にハルビンに輸送する、飛行士二名は嚴重監視のうへ一兩日中にハルビンに護送して來る

赤機越境に嚴重抗議
わが軍部當局の見解

【東京十四日發國通】蘇聯邦飛行機の滿洲國内の不時着陸について陸軍當局は左の如き意向を有してゐるソ聯飛行機が從來から滿洲國領土上空に度々侵入して來た事は今回の不時着陸によつて之が單なる噂でなく事實である事が明かにされたわけである、このソ聯飛行機の不法領土侵入に對しては滿洲國政府は當然ソ聯政府に對し嚴重抗議するは勿論であつて滿洲國の國土防衛に共同責任を有する我陸軍としてもこのソ聯飛行機の度重なる不法行爲には不快の感を抱かざるを得ない、併しソ聯は現在何等交戰状態にあるのではなく親善なる國交を保つてゐるのだから不時着陸した飛行機並に搭乘者には保護を加へてゐるが滿洲國政府の抗議に對しソ聯が如何なる態度に出るかを見極めて處置するが、誠意ある態度を待つて搭乘者並に飛行機は歸還せしめる事になるであらう

北鮮鐵道移管か
滿鐵增資拂込として
政府より現物出資

滿鐵の昭和九年度の所要資金は二億圓でこの内五千四百萬圓(一株十五圓)は第二次拂込みとして八月乃至十月に徴收すべきことは既報のごとくであるがこれに對應する政府拂込み額は十四日帝國議會を通過成立を見た國家豫算中に計上されてゐず、追加豫算にも計上せらるゝことは明瞭なので、全然

拂込を 見ざることが明かとなつた、滿鐵は創立當時より官民折半の會社であつたが、最初の資本金二億圓當時の政府出資は鐵道、炭坑等の現物出資であり、第一回增資による四億四千萬圓の當時政府は一千二百萬磅の英貨債を肩替りすることにより增資持分一億二千萬圓に充當し、さらに昨年の第二回增資により八億圓となり、第一回拂込みの必要に迫られるや殘れる英貨債四百萬磅を再び肩替りしてこれに充て、結局政府は過去三十年間全然滿鐵に對し現金出資をなした例がない事になつて居る、しかるに九年度に第二回民間拂込みを行ふに當り當然これと

同額の 政府拂込みが期待されるわけであるが滿鐵には最早肩替りすべき外貨債がないのでこの方法によるわけに行かず今後政府の未拂込分一億四千四百萬圓を如何に處理するかゞ問題となつてゐる、これに對し昨年の增資交渉の際にも政府は國庫が赤字公債に惱んでゐる際とて滿鐵に現金出資をすることは思ひも寄らずとして滿鐵側の再三の要望を峻拒した事實もあり、今後も政府の現金出資はまづ絶望と見るよりほか仕方ない状況にある、たゞ大正八年第一次增資の計畫を樹てた當時の原案の一つには朝鮮鐵道を一億五千萬圓と評價して之に同額の民間出資を加へて資本總額を

五億圓 とすべしとの議もあつた程だから今後滿鐵に對する一億四千四百萬圓の政府未拂込が喧しい問題となれば北鮮管理局に屬する北鮮鐵道を現物出資として滿鐵の財産に移すごとき方法も考慮されるやも知れず、とにかく政府が現金出資を行はぬ事がほゞ確實である以上、增資によつて滿鐵の調達し得る資金はそれだけ減少するわけで、將來相當深刻な論議を起すものと見られて居る

各派代表者に諒解を求む
市會豫算審議の前

十五日よりの豫算市會をひかへて小川市長は十四日午後四時より市長應接室に市會各派代表者を招致從來市會の紛糾を極めた問題並に新規事業に關し事情を説明諒解を求むる所があつた

出席者は桑野、石川、芦刈三氏(同志クラブ)山口氏(滿鐵)森川氏(明政會)熊谷、小野二氏(革新倶樂部)等で夫れ〴〵市長との間に質疑應答を重ね、大體に於て市長の提案を諒として六時半散會した、協議事項左の如し

一、小學校長、公學堂長の電話料問題　本年度に限り市に於て負擔し、爾後市當局が善處する
一、火葬場問題　市當局に於て場所設備等に關し尚一層の調査研究をとげ可及的に具體案の作成を終へ追加豫算として提出するに至つたことを述べ解決
一、小賣市場問題　市長は桃源臺、聖徳街等に設置せんと要望する向きもあるが未だ決定に至らず追つて決定次第追加豫算として提出する旨を述べ諒解を求む、之に對し代表側は場所の決定に關し周到なる研究を希望
一、市營住宅問題　目下の住宅難に鑑み可及的實施を急ぎ博覽會場跡に建築の意志あることを表示し、追加豫算として提出の旨を述ぶれば代表側異議なく贊成
一、卸賣市場の移轉問題　市長、既に成案を得て居り之に依つて愈々最後案を練り、臨時市場改善委員會の研究を經て追加豫算として提出する旨を述べる、これに對し代表側この問題に關しては大野氏の調査研究もあり市當局に於て一日も早く之が實施を希望し、市長の提案に諒解を與へる
一、貿易公所設置問題　市長、當局として未だ決定的成案を得ず周圍との圓滿なる關係を圖り然る後實施したき旨を述べこれも追加豫算として提出するに諒解を求むれば代表側に於ても之を諒とす

以上の六件に關し、大體に於て市當局の態度に對し代表側は諒解を與へたことになつたが豫算會議を前にして市當局が正式各派の諒解を求めたことは今回が最初である

社説 支那對日態度の表裏

南京政府の對日政策は一定してゐる。それは親日とまではいかないが、兎も角抗日態度を執らず、滿洲國に對しては成る可く觸るゝを避けんとするにある。それが徹底的のものであるかどうかは知らぬが、現在の政策がそこにあることは各種の消息によつて察せられる。我有吉公使と蔣介石氏との會見の模樣によりても推せられる。その本意は今露骨な抗日態度を執れば、國内の情況も益々紛糾して收拾し難きに至るを恐るゝからである。それよりも現在の支那の急務は内部の統一にあるとの主旨である。先づ共産黨を倒すのが國家保持上の先決的急務であると考へるのであるが、これは同時に南京政府保持の爲めにも必要であると考へるのである。更に共産黨のみでなく、各種の反蔣勢

…

司令部を設けてから、更に長江沿岸に日貨排斥熱が起つた。親の心子知らずといふべきでもあらうが、必ずしもさうでもない。本心か對内的方便かは知らないが、蔣汪二氏は元來長期抗日を稱へて、國力の足らぬ間は雌伏すべしと誡しめてゐるのみならず滿洲國否認を反復聲明し、陸海空の軍備の整頓充實に努力してゐる。眞僞は不明だが藍衣社の滿洲國要人に對する良からぬ策謀もあるとすら傳へられる。此故を以て抗日を以て矢張り愛國行爲なりと自認し、抗日行爲は蔣汪二氏の本心と必ずしも背反しないと思惟する向もあるかも知れない。

◇

要するに。南京政府の對日態度には日本に對しても表裏あり國内に對しても表裏があると見るべきである。又反蔣派の對日態度にも亦表裏があり、その對南京態度にも亦表裏があると見るべきである。畢竟國際關係の事は裏に裏あるは當然の事と見て、裏の事は裏にて考慮して可く、裏面の事をわざ〳〵表面に持つて來る必要はない。我邦としては表面だけでも、彼の政府が理解的態度を執つて來たのをよい機會として、その理解を漸次裏面にも及ぼすやうに利導すべきである。それには此頃計畫されゝある經濟的提携なども、よく彼國人間の日語日文流行に伴ふ日本文化吸收慾望を援助するもよい。而して吾人の切に望むは、支那の有力階級が、表面政治的でなく、眞實に日本を理解して、東洋和平の大局に着眼するに至らんことである。

…

には、大局に疎くして南京政府の對日策を否認するものと、その適當なるを知りながら、只反對してこれを苦しめんが爲めに反對するものとある。實際に於ては政略的に南京政府の對日策を非議する者が多く、これに雷同する脂々者が亦甚だ多い。それらの處置に就きて南京政府は困つてゐる實情である。

◇

此の故に、汪行政院長は曾つても、南京政府は滿洲國が帝政になつてもその否認の態度を改めるものでないと云つて、滿洲國乃至皇帝に對して罵詈に近き談話を發表してゐる。のみならず、滿洲國の國政に參與する中國人を叛逆者として懲罰すべき旨を各機關に命令したと傳へられる。しかも、支那人にして滿洲國に對し擾亂を圖らんとするものあらば嚴重に之れを處罰すべしとも通告してゐる。南京政府の苦しき立場が察せられる。

◇

兎も角も、南京政府が抗日態度を露骨にしないやうに取締つた爲めに、最近の邦貨の上海輸入は著しく增加したが、一方では、張學良氏が漢口に三省剿匪

滿洲産業銀行設立 要望の聲民間に起る
奉天地委、期成委員會

【奉天特電十四日發】十三日の地方委員聯合會において可決された滿洲産業銀行設立要望に關する件は特別委員を定め十四日午前九時その他委員を定め定款その他の草案を決定し軍部並に各要路に申請することゝなつた、右銀行は資本金五千萬圓にて實現の曉は滿洲國産業振興、地方行政などの諸政策を着々實行に移すべく、直接地方行政實施の衝に當つてゐる縣參事官の意見を徴して具體案を作成し、

…

縣參事官會議
來る廿三日から新京で開く

【新京特電十四日發】滿洲國においては地方行政制度整備上の意見を徴して具體案を作成し、整備に資するため來る二十三日より三日間新京において縣參事官會議を開くことになつた、會議においては君主制樹立に伴ふ地方國民の精神作興並びに地方行政、農村經濟、縣財政、その他地方行政の指導、地方行政全般に亘り論議され、滿洲國今後の最大政治工作たる地方行政制度整備に多大の效果を擧げるものと期待されてゐる

奉天靖安軍 將校訓練開始

【奉天特電十四日發】奉天の靖安軍は十三日去る五日皇帝より賜つた軍人への勅諭並に御下賜金の莊嚴なる傳達式を擧行したがこれに感激した全軍は忠誠を誓ひ一層發奮することゝなつたが、十五日より美崎參謀長を中心として將校の訓練を開始この月末には第一回の觀兵式を擧行する筈で名實ともに新滿洲國精兵としての向上に力めてゐる

西尾參謀長着奉（夕刊參看）

訪日答禮使

【新京特電十四日發】訪日答禮使一行は二十一日はとで新京發大連經由赴日することゝなつた一行は左の如し

赴日本國修聘特使

國務總理大臣　鄭孝胥
同上財政部大臣　熙洽
隨員總務廳次長　阪谷希一
國務總理秘書官　鄭禹
同　上　白井康
總務廳秘書官　羅潛
外交部理事官總務司長　朱之正
財政部理事官總務司長　星野直樹
同上事務官　胡宗瀛
吉林省公署參事官　趙汝楳
同上秘書官　羅振邦

なほ隨員は右の外事務官屬官など約十名が加はる筈

菱刈全權設宴

【新京特電十四日發】菱刈大使は十四日午後七時半ヤマトホテルに赴日本國修聘特使として二十一日赴日することになつた鄭總理、熙治財政部大臣以下隨員一同を招待し送別宴を催した

ヤツと掘り當てた『井戸掘り外交』
桑島亞細亞局長の持論實現
山西省から機械人夫の註文

【東京十四日發國通】外務省の桑島亞細亞局長は天津時代から對支外交は井戸掘外交でなくてはいかんといふ持論だつた、それは「支那は何處へ行つても用水に惱んでゐるから、日本の優秀技術で各地に井戸を掘つてやれば、支那の民衆は非常に好感を持つに決まつてゐる」といふのであつた、ところが最近山西省自動車製造廠技師の仇慕濤といふ人が中央滿蒙協會の星野理事を訪れ山西省一帶の酷い旱魃被害を述べ灌漑用水井戸を掘るためポンプ機械と井戸掘人夫の周旋方を依頼して來た、星野理事は十三日外務省を訪れ此の話をしたので桑島局長はすつかり乘り氣になつて愈々僕の持論が實現されたわけだと大いに喜び此の機會に人夫の一隊を支那へ派遣し井戸掘外交の實現を期さうと大變な意氣込みである

フォードの賃銀 一日五弗
二年ぶりで一弗增

【デトロイト十三日發國通】フォード自動車會社は本日同社の總ての從業員約十萬人に對する最低賃銀を一日五弗に引上げる旨發表した、因にフォード會社の一日最低賃銀は一九二九年には一時七弗に上り高賃銀の牙城を誇つてゐたが一九三一年十月先づ六弗に又一九三二年十月初めより更に四弗に引下げられてゐたが今回之を五弗に增加したのである

文化協會の活動
諸般の改革を斷行し 九年度から積極的に

永年滿洲の文化發展のため努力をつゞけて來た滿洲文化協會では滿洲國の帝制實施と共にます〳〵その使命の重大さを加へて來たが、この際同協會としては新規蒔直しの意氣込で以て更に積極的な活動に入ることゝなり、その前提として同協會の基礎を確實にする必要から寄々協議中のところ、先づこの際同協會の負債整理を斷行すると共に事業の合理化を圖り同協會として獨立經營を行ひ得る方針の下に諸般の改革を斷行することに決定、こゝに同協會も昭和九年度からその内容、外部的活動共に面目を一新使命遂行に努力すべく一般から期待されるに至つた

本田高等課長

關東廳本田高等警務課長は十六日出帆の青島丸にて約二十日間の豫定で上海天津、北平等の主要地の狀況視察に赴くはずである

中村中將來滿

【天津十四日發國通】今期陸軍異動で第八師團長に榮轉した支那駐屯軍司令官中村孝太郎中將は二十二日轉津歸途、滿洲に立寄り滿洲に出征中の第〇團將士を率ゐて内地に凱旋の筈

三浦中佐來連

奉天憲兵隊長三浦三郎中佐は十四日午後七時とこにて下浦特務曹長帶同來連管内初巡視を行ふ事となつたが驛頭には飯島大連分隊長はじめ多數の出迎へあり星の家に投宿したが十五日大連分隊を十六日旅順分隊を巡閲歸奉の豫定である

關東廳辭令（十四日）

依願免本官　關東廳屬　柳澤一水

人事

▲高橋和男氏（横濱正金副支配人）十四日午後四時二十分發列車で北行
▲田中恭氏（滿洲國財政部理財司長）同歸任
▲江崎重吉氏（滿鐵大連鐵道事務所長）同北行
▲向坊盛一郎氏（東亞勸業社長）十四日午後はとにて來連
▲藤懸廣氏（第〇團軍醫部長）同上
▲若月太郎氏（大連市會副議長）同
▲三浦三郎中佐（奉天憲兵隊長）同上

大觀小觀

アメリカの大規模建艦計畫、イギリスの大規模建艦計畫……

滿洲國の極東大會參加問題眞相（下）

岡部平太

四、文相の態度

二月二十七日貴族院に於てなされた二荒伯の文相に對する質問演説はいたく吾々を失望せしめた。やるならもつと本氣に突き込んでやつて貰ひ度かつた。翌二十八日は日本體協が最後の理事會を開いて、吾々に回答を與へるといふ日なので其の日東京における滿洲國側委員會は極度に緊張して必死の活動をつゞけて居た。自分が貴族院にかけつけて某議員を說いて、明日の委員會に提出して貰はうとしたら、その時、その問題はたつた今二荒伯が質問して、文相と首相があつさり答辯したと聞いて實にガッカリした。實は二荒伯には

會ふ機會なく伯には問題の根本性質が不明であつたらうと思はれた。果して朝日の系統からはその夕刊に鳩山文相談として實に馬鹿々々しい記事が出た「日本は國際聯盟は脫退したが國際的な文化事業に對しては世界人と協力せねばならぬといふ詔書も出て居る。極東大會は文化事業だ、脫退したりする法はない……」果してこんなことを文相がいつたかどうか知らぬ、いつたとすれば文相のスポーツに對する認識も十分でない。スポーツがフエヤーである間それは文化事業かも知れぬ、今スポーツが不純に化しやうとするので抗爭して居るのだ、くさり果てたスポーツでも文相は尙ほ文化の事業と見るのか。流石の文相もその

職を決心してゐた時で少々輕率だつたと思ふ。

◇

丁度その頃滿洲陸上競技聯盟が奉天に於て會合し東京における滿洲國側の運動に對し、袖を引き止める樣な奇妙な聲明書を發表したことは時が時だけに東京委員會の空氣をいたく憤慨させた、何れ關西方面からの宣傳に乘ぜられてのことゝ思ふが、東京に於て熱し切つて居る時大日本體協に有利な宣傳材料になる外何もならない聲明書を發表してくれたとは甚だ遺憾であつた

◇

二十八日の體協理事會が鳩山文相の談話に引ずられたことは事實だつた。滿洲側ではこの理事會には出席を拒まれたが出席理事三十

名の中一名を除く以外全部「滿洲國の參加、不參加に拘はらず日本は第十回極東大會に參加すべし」と主張してさう決議した。

たゞ之をその時發表しなかつたことは日本運動界の爲に非常な幸運といはねばならぬ。若しこれがその時發表されて居たら日本運動界は名狀すべからざる混亂に陷り收拾すべからざるに至つたかも知れぬ。

だが諸君――この三十名は少くとも現在日本の體育界、スポーツ界における善知識で名實共に日本を指導して居る人々であるといふ事を銘記して置いて貰ひたい。

自由主義を清算せよ

その他茂木君の失言問題、僞僞人に對する凡ゆるデマ、滿洲側の不統一といつた樣な問題が八方に飛び散つたが兎も角も滿洲國側は最初からの主張は體協を動かし、完全な提携となつて今では日滿兩體育協會は一體となつて動いて居る。だが日本の運動界を動かして

…

市況（十四日）

株式
內地ボンヤリ 地株保合

特産
銀價の軟調に 大豆反騰

錢鈔
マバラ氣崩れで 鈔票反落

商品

奥地市況

市場電報

東京株式（後場）　大阪株式（後場）　大阪期米　神戸期米　東京期米　大阪綿糸　横濱生糸

妻芳枝儀病氣中の處本日午前十一時半逝去仕候此段謹告仕候
追て葬儀は途中行列を廢し來る十六日午後四時常盤橋メソジスト教會に於て告別式執行可仕候
昭和九年三月十四日
夫　梶山蕃樹
親戚總代　佐志雅雄
友人總代　久保衛門

來る三月十六日故辯護士河内山武雄君の一年祭に相當致候に付同日午後四時半光明臺產靈教會に於て追悼會相催候間此段辱知諸君に謹告候也
昭和九年三月十四日
發起人　關東州辯護士會有志　七高會有志　山口縣人會有志　大連獵友會有志

會葬御禮　奉天省警備司令部

家庭

春を彩る花　さあ準備しませう
そろ／＼園藝シーズンです

そろ／＼園藝のシーズンです、滿洲では苗や種子が手薄なためにわざ／＼内地へ注文して取寄せられる方も澤山あるやうですが、先づ

急ぐ　のは霧島（久留米つゝじ）や牡丹、芍藥などです、霧島は四月に入ると花を持ちますし牡丹、芍藥の花は五月以後ですがもう芽が出かゝつてゐますから餘り芽の伸びないうちに取寄せて移植しないと花がよくありません。

種子物では寒さに耐へる金盞花スヰートピー、石竹類、エゾ菊類、雛菊（デージー）飛燕草、ケシ類、矢車草、パンジーなどは三月中に播いた方が花が早く見られて樂みです、野菜類ではエンドウ、ソラマメ、二十日大根、春菊、葱などは早く播いた方が成績がよいやうです。しかし寒さに耐へないものを早く播くと發芽に對する

温度　が足りないため、或は低温の濕地中に在つたり、時には乾燥が過ぎて發芽不能に終ることが多いのです、花ものではサルビヤ、ダリア、カンナ、ホーセンカ、金蓮花、百日草、美女櫻、朝顔、夕顔等野菜では隱元豆、茄子、トマト胡瓜、南瓜などがそれで、花物は四月中旬以後、野菜類は四月下旬頃播いた方がよい發育が見られます。

球根　類ではアマリリスだけは早くとり寄せて植付けた方が成績がよいが、バラヂウム、球根ベコニア、グロキシニアの類は五月になつて取寄せた方が安全です熱帶物の苗は一般に晩い方が安全ですがデンドロビウムは早く注文しないと花がつきますし、葉蘭類の低温に耐へるものはボツ／＼取寄せて結構です。胡蝶蘭、カトレアのやうな高温を要するものは五月中にとり寄せること、何れにしても取寄せやうと思ふものはなるべく早く註文して大體の

到着　の日取を指定して豫約して置くのが一番よい方法でせう。

註文先は一般に躑躅類は久留米名古屋、宇都宮、山形方面が非常に進歩してをり、球根類では奈良、名古屋、靜岡、神奈川、東京、千葉、新潟方面、盆栽類は廣島、兵庫、大阪、長崎地方がよいやうです。露地栽培用の種子物は札幌を中心に北海道が有名ですし、シャボテンは大阪堺、横濱、名古屋、東京など、露地、温室向の種子物では横濱の坂田商會と横濱植木株式會社などへ註文なされば安全でせう（安東盛氏談）

【寫眞・上はパンジー、下はルピナス】

スターリン顔負け

アメリカで映畫俳優の高給が政界の問題となつたが「赤い」ロシアでも踊りつ子の方が、政府の高官より遙かに割つてゐる。勞働者になると平均月に約二百ルーブルだから共産主義國も共處に行くとブルジョア國に比べてあまり變りはないとみえる。（カット、ルジョア國に比べてあまり變りはないとみえる。（カットはスターリン）

に「赤い」政府の首腦は月に五百ルーブル、月に五千ルーブル位の報酬は普通である。然るに「赤い」政府の首腦は月に一千ルーブル位なもので共産黨員の俸給はそれが限度になつてゐる。……が好いといふのだから、世間は大概似たり寄つたりだ。例へばバレットのプリマ・ドンナはスターリンよりも高給を受けてゐる。彼等は一興行五百ルーブル、月に五千ルーブル位の報酬は普通である。

家庭顧問
信じきつてゐた夫に　愛人が出來てゐる事を知つた

【問】私は十年前現在の夫と戀愛から結婚生活に入り今日まで極く平和に過ごして參りました。ところが先日ふとしたことから夫に二年前から他の愛人が出來てゐることを知つたのです。全く夫を信じ切つてゐた私は露程も疑ひを持つたことすらございませんでしたのに、この事を知つてからは夫と居るのが苦しく自殺しやうかとさへ思ひます、私は今も何結婚當時のやうに夫を愛してをり夫無しでは一日も生きて行けない氣がします。夫は決して私を捨てるやうな事はしないと申し乍ら、その愛人とも別れることが出來ないと云ひ、相手の女（藝者）も奥樣に濟まないが別れられないと云つてゐます。私は一體どういふ道を選んだらよろしいでせうか、何卒御教示下さいませ（大連芳子）

たゞ「忍」の一字　心で泣いて笑顏せよ

【答】神聖な戀愛から終生苦樂を共にするつもりで結婚され、ひたすらに夫を信賴し十年間も平和に幸福に日をすごしてゐられた貴女の驚き、悲しみ、苦しみは深くお察しします。しかし御良人は決して貴女を捨てないと言ひ、相手の女性も奥樣に濟まないと言つてゐるのなら、二人とも道理はよくわかつてゐるが所謂思案の外とやらで今のところ互に手を切ることが出來ないのでせう。この際貴女は先づ心を廣く持ち決して短氣を起してはなりません、昔から女子に嫉妬の無い者はないと言はれ又嫉妬は或程度まで愛情の花でもありますが、今貴女は一世一代の運命の岐れ路に立つてゐる最も大切な時ですから呉々も嫉妬の爲に精神を亂したり、妻としての道を踏外すことの無いやう自重せねばなりません。御良人が藝者に夢中になつてゐる今こそ、貴女が良妻たるの眞價を發揮する絶好の機會です。御良人の愛が貴女から仇し女に移つて行くのは貴女自身にも全然責任が無いとは云はれませんから大いに反省し、當分は唯「忍」の一字を守り何處までも純眞な愛を以て捨我精進しつゝ氣永くお待ちなさい。御良人の愛は屹度再び貴女の許に歸つて來ます、自殺など以ての外、心に泣いても笑顏で夫を迎へるそれが勝利の秘訣です。（岡内半藏）

わが夫を語る（九）
坊ちやん社長
株式會社福昌公司　相生由太郎さん

株式會社福昌公司における相生由太郎さんの社長振りは年少とはいへ、どうして／＼指一本差させないガッチリしたものですが家庭における氏、素封家相生家の當主としての采配振りは？播磨町の靜かなお宅で語る逸子夫人は、その豐滿な體軀のやうに、いかにもふつくりと、あたゝかい感じの方です。

タクの社長ぶりは、ついぞ一度も見たことがありませんけれど、うちでは全くお坊ちやんで、あれでよく社長樣がつとまると思ふ位ですわ、エー、エー、うちでは何一つするにも「あれは何處に在るか？」「これは何處に？」といつた調子で子供以上に手がかゝる位、まるで大きい坊やですわ……でも男の人に家の中であんまりゴソゴソされるのもねエ……と暗に夫君のお坊ちやん氣質を肯定する逸子さんの幸福そのまゝの微笑。夫人には、この「大きい坊ちやん」の他に本年六歳のさわ子さんを頭に三人のお子さんがおありです。

パパとして？とても未だ及第點に行きませんわ、さわ子だけはどうやら相手になつてくれることもありますけれど小さい方なと抱つこするのさへ何だかこわいらしいんですの、別に子供嫌ひつてわけではなく、ひまがあるとさわ子をのせてお馬になつてはひ廻つたり、日曜日には大抵分家（相生常三郎氏宅）からみんなで遊びにまゐりますのでお山の大將になつて二階から階下から馳廻つてかくれんぼをしたり、鬼ごつこをしたり、それあ大變な騷ぎ方で、どう見てもまだ中學生氣分でございますわ氣性はいたつて快活でスポーツが大好き、大連一中時代にはランニングの選手でしたとかで……えゝ、タクは四つの時からの大連つ兒です。逸子つていふ名は遼河のほとりの營口で生れたからで二人とも全くの滿洲つ子で滿洲が一番好きです。

タクの自慢といへば、先づ親孝行なこと――母が今なほ健在ですから、この家の生活は總て母親を中心にいたしてをります、從つて趣味も母を中心に麻雀をしたり、長唄をきいたり……ダンスなんかあんまりやりません。ゴルフも少しやりますし、昨年の夏はスカールを買込んで黑石礁の沖で大分猛練習をやつてゐたやうでした。元々活動的な性質ですから會社のおつき合ひで自分の親爺位の年配の方ばかりの宴會など、どうも苦手らしいんです。

もう一つ――これは中學の四年の時かに甲種の運轉手の免狀を貰つてゐますので、今でも大抵自分で運轉手を助手臺へかけさして自分で運轉して宴會へでも何でも參りますの。（寫眞は相生由太郎氏の御家庭）

日本棋院秋季大手合戰譜（第十四局）
先　三段　染谷一雄
　　初段　藤澤庫之助

●一八一レ八　○一八二ヨ十一
●一八三ヨ十　○一八四ワ八
●一八五チ八　○一八六ワ七
●一八七ワ九　○一八八ハ十二
●一八九ニ十四　○一九〇ヌ十九
●一九一カ八　○一九二ホ九
●一九三ヘ九　○一九四カ十六
●一九五カ十七　○一九六ヨ五
●一九七タ五　○一九八ル十二
●一九九ル十一　○二〇〇ル十三
○二〇一ツグ　●二〇二劫トル
●二二四同　○二二七同　○二三〇同
○二三三同　●二三六同　●二三九
同　●二四二同　○二四五同　●二四四

——【10】——

七劫ツグ
所要時間累計（白六時五十七分／黑六時二十八分）（制限時間各七時間）

對局者のことば

黑　百八十五で百八十六に出て白（チ七）黑百八十五とキルのは中央の味が惡くて打てませんでした、さう出ギルと白百九十八黑百九十九白（チ十一）とハネ出されるやうなことが恐いのです

黑　百八十九は（ホ十二）にツイでもさくはないやうに思ひましたが部分的にはもちろんツグ方が有利です―

白　百九十と黑百九十一とは仕方が無いやうでした

戰の跡

◇黑百八十一に（ツ九）にオサへ白（レ十一）と交換してしまはなかつたのは譜の如く白百八十四とトビ出される具合があつて、この邊で間違ふとせつかくの好局を少しの貪りの爲に失ふ惧れがあると見たのであらう
◇黑百八十七、百九十一とオサへたので大勢は全く決したやうである、白は百九十の手で百九十一に出ても黑（リ十八）白（リ十七）黑百九十のヨセを容るしてはこの方が大きい

大連 JQAK　三月十五日

▲午前六時三十分ラヂオ體操第二
▲午前七時ラヂオ體操第一
各地温度通報
▲午前十一時相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）
▲午後零時五分相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース　公設市場値段
▲午後三時三十分相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後五時三十分支那語講座テキスト第六十課　滿鐵學務課秩父固太郎
▲午後六時ニュース　職業紹介事項
▲午後六時三十分映畫物語「三日婆婆」藤原愛、峰一路、伴奏日活管絃部、指揮片野源吾
映畫伴奏吹寄せ　日活管絃部、編曲並に指揮片野源吾
▲午後七時三十分この花踊り（大阪堀江演舞場より中繼）
▲午後八時三十分時報
▲午後八時三十一分ニュース、氣象通報
▲（引續き）詩吟、忠臣藏一番から十二番まで長谷川秀隆

モダン・ボール・ルーム　ダンス教授時間

○女子　午前九時＝午後三時
○男子＝午後三時＝午後十時
春期初心者募集致します
○場所　大黑町廿七（電氣遊園裏）
M・A・T・D　サトウ舞研　佐藤和子

本社特選　新棋戰（其四）

香落　六段△山北孫三郎
　　　四段▲志澤春吉
【圖は七三金迄の局面】
山北氏持駒銀

△七四銀　▲同金
△同飛　▲五四角
△七一飛成　▲八七歩成
△六五銀　▲八六飛
△五四銀　▲同歩
△七五角　▲八五飛
△五三金　▲五一銀
累計六十手

土居八段講評

志澤君の五四角打は、攻防ともに響きが薄い、七三銀打、三四飛、三三歩、九四飛なら八五角打の方が面白い山北君が龍を利用して飛車取り王手を掛ける意味の下に六五銀と打つたのは安全第一の手段である。

萩原七段解説

志澤氏の五四角は、七三銀と防ぎ三四飛、三三歩、七四銀、同銀、同飛、七三銀、七二銀、七四銀、八三銀、同銀で納得になる、又七四銀で九四飛なら、八五角と打つて指し易い、從つて前回山北氏の七六飛は敵に八六歩の順を與へて仕舞つて面白くなかつたことが判明したのである、だから志澤氏は五四角で七三銀と防ぐべきである、山北氏の七五角は、攻防兼備の好手で、志澤氏の八五飛は、七六飛では三一角と切られて惡い、次に五三金と打つて四一飛の先を取り、敵に五一銀と防がした後、九三角と飼得た圖つたのは巧妙な指手で、如何に七五角が好手であつたかゞ、この五三金によつて判然としたのである。

ソ滿國境に躍る 綠林の大和撫子

戀の放浪から馬賊の仲間入り 今は參謀として虎林襲擊

【吉林】密林に閉す北滿の曠野を征服し自ら匪群の上に君臨して參謀となり反滿抗日に躍る妙齡の邦人女子がある

彼女の名は極秘に附されて居るが長崎の片田舍に呱々の聲を擧げた彼女は年十歳にして父を失ひ、十一歳にして母を失ひたる後性來の淫蕩振りを發揮し、故鄕を後に轉々男から男へとさすらひの旅を續ける內、二十七歳の五月大阪に於て一支那人と知り合ひ、廣き大阪の一角で幾夜重ねた情痴の世界は彼女に取つて此の上も無い性の狂奏曲として喜びの絕頂に達せしめた、明けて二十八歳の陽春の四月半頃二人は手に手を取つて大連に上陸した

斯くして彼等二人は滿蒙の地を我物顏に橫行し轉々として流れる內華やかな馬賊生活に興味を抱き遂に彼等は李杜の部下として馬賊生活の第一歩を踏み出した、斯くする內に李杜の參謀たりし張春玉は何時ともなく彼女の美貌に野心を抱き、種々秘策を練る內彼女の情夫を山中に誘ひ出して殺害し彼女を妻にした、蚌殼に活きる彼女は早くも前の情夫を打ち忘れ張參謀の寵愛に陶醉して幸福な幾年かは夢の如く過ぎた、張も又彼女を得た爲めに幸福の堆塥に萬物を忘れて自ら主權を彼女に委せ、多年野望の實權は遂に彼女の把握する處となつた

之れより幾千の部下を手足の如く自由自在に動かし北滿は期せずして彼女の勢力範圍となつた

然し永久には續かなかつた、昭和六年の九月十八日突如起つた柳條溝事件は滿蒙の天地を震動し、全滿の事情は大變革を來した、事の急を悟つた彼女は早くも露滿國境に難を避け頻りに反滿抗日の策を練つた

斯くする內に昭和七年十二月下旬より大々的に開始されたる日滿協力の大討匪工作に哀れ彼女の華やかな夢も密林の露となつて消えんとした、男優りの勝氣な彼女は早くも機先を制して張及び李杜を屈服させ我が軍の前に歸順を申込んだ、厚意を示す彼等の態度に歸順を許した我が軍は善良なる國民として其の儘彼等を聖業に導いた、然るに我が軍及び關係者が穩穩た引揚げるや再度反逆の旗を飜へし同志を糾合して露滿國境に逃走し機をうかがふ事幾月、去る一月下旬虎林縣城を約一千名を以て包圍襲擊をなし我が友軍に多大の損害を與へたるは參謀彼女の策略とは誰一人知る由もなかつた、暗に躍る反滿抗日の彼女今は又しても露滿國境に逃げ延び密林のクイーンとして覇を稱へて居る模樣である

熱河駐屯部隊に 『武士の花』贈る

嬉し・土木課の心意氣

【旅順】熱河省內の各地に駐留する我が將兵に對し各方面から種々なる慰問品が寄せられてゐるが、その中にも關東廳土木課が昨年の三月末北票の駐屯部隊兵營に數十本の吉野櫻を移植したところ、花時には全枝に花を持ち將兵の心を慰めるに非常な效果があつたので關東廳土木課では本春も更にその苗圃から二年生から八年生の吉野櫻一千本を各地に送り駐留部隊の兵舍の四圍に移植し、花時に無聊の將兵を慰めることゝなつたが、右櫻樹は來る二十日頃各地に發送される筈でこの花時には熱河方面各地とも櫻花の爛漫たる中に軍中花見を催すことが出來よう

飽くを知らぬ 年增の吸血鬼

車中に泥醉して暴行

【四平街】十日午後十時四十分頃北行二十三列車二等寢臺車內において、一見三十歳位の泥醉女が年若き一人の娘を蹴る殴るの暴行を加へるのを警乘員が見るに忍びず娘を一等車に避難せしめた處、泥醉女は其の後に追ひ迫り更に手酷く暴行するので一般乘客の迷惑ばかりでなく如何なる危害を加へんとも測り難く、止むなく列車が四平街驛に到着すると共に兩人に下車を命じ驛前派出所に連行取調べた結果、婦女誘拐の嫌疑があるので翌十一日午前零時本署に身柄を移し被害者の娘には慰安を與へ泥醉女は留置場に保護檢束をなし、醉ひの醒むるを俟つて當直の北村高等主任取調べたる處

泥醉女は原籍山口縣玖珂郡神代生れ好本モミ（三二）娘は同縣熊毛郡平尾町西土手濱崎サツヱ（一七）といひ兩人は遠緣に當るところから昨年五月頃モミはサツヱの兩親に對し滿洲は大した景氣であるから、此の際サツヱを滿洲に連れ行き軍隊の酒保で働かせれば金は儲け次第と言葉巧みに欺し込み、當年漸く十六歳になつたばかりのサツヱを帶同昨年五月二十四日渡滿、それ以來錦州、城子、山城鎭地方を流れ歩きつゝ嫌がるサツヱに暴力を加へて賣淫賣を強要し、客から貰つたチップなども全部捲き上げ一錢の小使錢も與へず血を吸ひ續けてゐたが、北滿地方にて賣淫賣をさせんと去る十日北行列車に乘り込み車中で強か酒を呷つてゐたが、サツヱは行先恐しく國へ歸りたいと言ひ出したのが癪に障り、遂にこの暴行に及んだといふのであるが

サツヱは取調べの係官に對し私は奧地へ連れ行かれて上ドンナ酷い目に遭ふか知れませぬ、どうか國へ歸して下さいと父母の名を呼んで泣き伏し哀れさに係官も痛く同情し結局モミは……

西將軍いよ〱凱旋

十三日、錦州から新京へ

【錦州】熱河、河北の作戰に赫々の武勳を樹て、王道樂土の建設に多大の功績を殘した承德の西第○○團長は久納參謀長、松山高級副官、藤原軍醫部長、城戶獸醫部長、衣川法務部長、江川經理部長以下幕僚を從へ、十二日午後二時二十分の飛行機に分乘、雪の省境を翔破して錦州に凱旋した

飛行場には白石飛行○隊長、秋山、高木、黑岩、桑原各部隊長、馬淵參謀、後藤副領事、宇井警察署長、濱口民會長、馮縣長始め官民多數の出迎ひあり、滿洲航空會社出張所に入り、晝食を取り少憩後西第○○團長は菊地副官を從へ同三時五分發列車で新京に向け出發したが

幕僚は市中各旅館に分宿、暫く滯在の豫定である（寫眞は錦州飛行場に到着の西第○○團長（下）と幕僚（上）向つて右より衣川法務部長、城戶獸醫部長、藤原軍醫部長、江川經理部長）

田中部隊が 眞つ先に凱旋

安藤司令官 多數の萬歲聲裡に きのふ離旅

超弩級『入學難』 鐵嶺の日語學堂

志願者十七人に一人

【鐵嶺】事變前までは生徒數に困憊してゐた當地日語學堂も事變後の急激な日本語熱勃興の詮衡に惱まされるといふ現象を呈し……

好績の大石橋青訓

少年團設立をも協議

意氣込む鐵嶺

音頭小唄の正式練習

在鄉軍人分會 滿洲里で發會

農村指導員 熊岳城へ派遣

景勝維持會 常任理事任命

公主嶺青年 演劇研究會

商業美術展 募集數增加

旅順放送

遼陽片々

國線の通學兒童に犧牲的な割引

四月からの新運送規則とともに　全線に亘つて實施

【奉天】鐵路總局では旅客小手荷物運送規則を公表四月一日より實施、全線運送の規律化によつて鐵路の機能を一段と發揮する筈であるがそれに伴つて滿洲王道の趣旨に則り滿洲の學童生徒學生に對して全く犧牲的な割引を行ふこと〻なつた、卽ち修業年限一年以上一ケ年七百時間以上の授業を行ふ學校の兒童生徒學生に對しては五十キロ以上に對し四割引とし學生團體に對しては次の如く割引を行ふこと〻なつた

十名より五十名四割
五十名より百名五、二五割
百名より二百名五、五割
二百名より三百名五、七五五割
三百名以上六割

斯くて學生の旅行其他に多大の便宜をはかること〻なり其の外移民については五割の割引を行ふこと〻し其奬勵に資すること〻なつた

一瀉千里に片附け

全滿地委聯合會終る　十三日第二日會議内容

【奉天】全滿地方委員第十一回聯合會第二日は十三日午前九時より社員俱樂部において開催された、昨日に引續き粟野所長、三浦憲兵隊長等も傍聽、定刻鹽尻議長の開會挨拶あり議事に入つたが、郭家店提出の

滿洲國大典事業として郭家店に一大公園別莊地を實現要望の件は撤回意見起り提出者前田委員あつさりと撤回、熊岳城高島委員植物檢査所設置を滿洲國へ要望の件は字句を改め「關東廳、滿鐵へ要望」として可決、次に宮川奉天委員は

滿洲產業銀行設立に關する件を提げて登壇、種々議論百出したが特別委員を定め更に討議する事として可決、松樹提案

社會事業は社員のみを目的とせず在住民を主眼となす事を要望す

は提出者撤回、公主嶺大岩委員の沿線各都市の全面的建直し都市の特異性に關する件

もあつさりと可決、一瀉千里の勢ひである、次に双廟子提出の

滿洲在住農業者をして母國農業移民の指導奬勵に當らしむる事を要路に要望の件

異議なく可決され、瓦房店の得丸新京委員の熱烈なる態援あり

滿洲事變により直接發展を見ざる地方の施設と雖緊急を要するものに對しては之が實現を要請する件

を上提するや蘇家屯側も俄然上げて說明、中西地方部長の之に對する說明あり可決さる、新京提出の

免囚保護機關設置方要望の件

も滿場一致可決され、正午の會議を終り一時より續行されたが再會に先立ち產業銀行設立案に對する左の十五名を特別委員に依囑し異議なく可決

(新京)得丸(四平街)添田(開原)江尻(鐵嶺)末廣(安東)大津(撫順)寺西(遼陽)渡邊(鞍山)野毛(大石橋)伊藤(瓦房店)松尾(奉天)鯉沼(奉天)高垣(奉天)宮川鹽尻、佐伯正副議長

次に新京大原委員より緊急動議あり自席より

小磯參謀長に對し感謝電を發したい

と述べるや拍手して可決、電文は議長に一任愈々本會議に入る、鞍山提出の

關外支那勞働者移入緩和の件

は播種期を控へ當面の重大問題として異議なく可決され、五分間の休憩に入り三時再會、奉天提出四十七議案

滿鐵社員の組織する消費組合にならひ滿洲國官吏團結し消費組合式の購買組合の如きものを組織せんとする傾向ありときく、果して事實とせば滿洲に於ける日滿商業の發展を阻害することと尠少ならずと思考するを以つて之が事實のなからん事を滿洲國要路及び全權大使に要望す

范家屯、十四議案と、大石橋三十六議案は同一問題として一括討議小松、伊藤兩委員交々說明、工業條例、阿片問題等に言及可決さる

新京提出の

邦人奧地進出妨害除去方關係當局に要望の件

得丸委員は下九臺事件、ハルビン法院の不法公言を述べて邦人進出阻害を絕叫滿場一致可決さる、次に大石橋の

滿鐵の委任經營鐵道沿線の鐵道用地經營方要望の件

起立により贊否を問ふと保留二十名あり保留に決定、公主嶺提出

農業移民實行上商租權設定方促進の件

を上程可決され、第三十八議案大石橋の

附屬地地方行政改革等に際しては豫め地方委員に周知せられたし

もあつさりと可決、蓋平若松委員愈々

滿鐵借地の耕地料金舉此の儘延長の件

を提出、熊岳城提出の

臨時農耕地地代三割減免を當分繼續方滿鐵に請願の件

と共に可決、開原提出十八議案

土地貸下げ料金減額撤廢延期に關する件

昌圖提出の二十一議案

土地貸付料金復活方延期要望の件

大石橋提出、三十九案鐵嶺提出の三十二案も大同小異とし一括して可決さる、次に双廟子提出の

滿鐵附屬地農耕地貸付年限延長實行促進の件

につき池田委員の說明あり中西部長の說明あり双廟子提出者は滿鐵側と打合す事として撤回となる、更に開原提出

不動產登記手續統制に關する件

も異議なく可決、新京提案

全滿人力車營業雜種割輕減方滿鐵に要望の件

の審議に入る、この時新京馬車組合よりの減額請願電報來り中西地方部長

適當の時期を見て御期待に副ひたいと思ひます

と答へ簡單に可決さる、次に范家屯提出の第十三號案

全滿地方委員を網羅して社外線視察要望の件

は提出者撤回し四平街提案の

滿洲國線待遇乘車證を地方委員に發給方要望の件

審議の結果二十三名の多數の撤回論あり撤回となる、奉天鯉沼委員

滿鐵會社はその社業運用上特に居住民の利害に影響する事項については民意代表機關たる地方委員會乃至聯合會に諮問せられん事を要望す

も直に可決、新京提出四十一議案も奉天案

可決事項促進に關する件

提出者側より撤回四時三十五分本會議を終り、鹽尻議長

可決事項を詮衡し研究するために委員をあげたいと諮り、奉天安東、新京、撫順、四平街、遼陽、大石橋、瓦房店

の八ケ所を選び又產業銀行支那勞働者移入問題につき十四日午前九時より溫泉ホテル貴賓室にて協議する事とし、鹽尻議長の閉會の挨拶あり次いで大津安東委員、委員を代表し議長に感謝し、更に滿鐵當局に謝意を表し、正五時散會慈に意義ある第十一回全滿地方委員聯合會は終幕した

戰友の靈に……川原部隊奉天忠靈塔參拜

奉天附屬地の人口

一ケ月に千五百人增

【奉天】月を逐うて增加する奉天附屬地の人口は二月に入つて益々殖え奉天署の調査による二月末現在の戶口數は戶數內地人八千五百二十六戶、朝鮮人二百二十九戶、滿人二千六百五十八戶、外人二百三十五戶、合計一萬千六百四十八戶で之を前月末に比較すると內地人百七十二戶、朝鮮人十八戶、滿人十六戶、外人二戶、合計二百十八戶增し又人口は內地人四萬三百四十六人、朝鮮人千三百九人、滿人一萬七千二百人、外人七百八十一人、合計五萬九千七百三十六人で之を前月末に比すると內地人は千廿八人、滿人三百二十人、外人二人、合計千四百四十九人の激增を示してゐる、是によると二月末で奉天附屬地內の內地人の數は四萬を突破し又これまで每月のやうに減じてゐた滿人の數も二月は著るしく增加してゐるが、是は解氷期を目前に控へ北支那より來滿出稼ぎ支人の增加と內地より滿洲目指して渡滿する內地人の增加によるもので四月五月に入つたら更に激增するであらう

川原部隊凱旋に冷淡な地委代表

市中一般に非難の聲

【奉天特電十三日發】武勳を遺して凱旋する軍隊と新たに來滿する軍隊の歡送迎に對し大連その他の各地より奉天は一番冷淡であり昔の如く熱が無いとの非難がある際十三日熱河聖戰以來特殊の地點にありて奮戰して來た川原部隊の凱旋があつたに拘らず町內會方面よりの出迎へが少かつたことは甚だ遺憾とされてゐるがそれよりも一般各方面より遺憾として傳へられてゐるのは

恰度同日は奉天において全滿地方委員聯合會も開催されてゐるのであるから聯合會として全代表が揃つて川原部隊を驛頭に迎へたならば聯合會の意義もあり且つ在滿地方代表の顏が揃つてゐる好機會であるだけ意義深きものがあつたであらうが如何に重要議事の進行中であつても三十分間位の休憩をとして會期をたとひ延長しても川原部隊を歡迎することは當然のことでか〻る驛に出てなかつたことは主催地たる奉天の恥辱で議長の責任ではなからうか、聊か物足らぬ感があつたと

市井の間に幾多の非難が加へられてゐる、しかも軍旅を歡送迎することは日本國民の義務である、それは公共團體の代表として社會の耳目となる地方委員の集まりとしては當然考へねばならぬ問題であるといふのが一般の聲で甚だ遺憾なことであるといはれてゐるなほ最近軍隊の歡送迎が淋しくなつたことは熱し易く冷め易い國民性を暴露し實に慨歎に堪へないと心ある人々は唱へてゐる

滿洲セメント敷地問題

【奉天】滿洲セメント工場敷地に關しては其後工場設置基本調査の結果、同會社は遼陽停車場用地元遼陽工場跡を第一候補地と變更、第二候補地として附屬地東北隅の一角約二萬五千坪(現生田農業園用地)とし工場跡に對しては鐵道部へ生田農園用地に對しては三月五日申出あり附屬地に設立するについては防塵設備其他關係につき夫々研究中である

痘瘡患者金州に發生

【金州】民政署殖產係主任高橋長八郞氏は去る四日頃より發熱し九日發疹チフスの疑ひにて入院加療中であつたが十二日に至り痘瘡と確定し大連伝染病院に送られた邦人に痘瘡患者が發生したので一般に大恐慌を來して居る、因に本人は種痘を受けて居なかつたと

甜菜を試作

先づ虻牛哨の農場で　結果次第で全滿に

【奉天】東京に於て設立された滿洲製糖會社は今般舊南滿製糖會社を買收し近く事業開始をなすものゝ如く同社は製糖原料たる甜菜の試作に就て同社技師鷲山義直氏を派遣し實地農家方面其他と折衝中であるが右鷲山氏の語る所によると滿鐵沿線虻牛哨に於ける協調農場と契約し本年試作として六畝歩を耕作し結果良好なれば將來該地を採種地として其の種子を全滿農家に頒布耕作せしめる豫定にしてその他奉天、ハルビン、海倫及東部線方面に於ても同樣試作土地選定中で本年度に限り種子及び殺蟲藥液を會社負擔とし大豆作收益以上の收益保證が出來ると云はれて居る

旅順の噂

十一日昭和園に於ける安藤中將の送別會が了つて好い機嫁になつた第十五驅逐隊「ツタ」乘組の某將校(特に名を秘す)二名彌生へ二次會次で壽へ第三次會と出掛けた▲處がその歸途に際し老仲居のおムラさん、自動車迄送りに出た際、どうした事か左の手首がポキリと折れて仕舞つた▲この原因は海軍將校がふざけたのか自分の過失かそこはハツキリしない、だが世間では妙に噂されてゐる▲然し全部の治療代はその海軍さんが支拂ふ事となつてゐる事が事實とすれば底に底あり鍋に蓋あり?▲森脇旅順療病院長の令孃圭子さんが僅か一晝夜で疫痢の爲め死去された事は御氣の毒に堪へない▲專門の醫師であり而かもその病院の傍で此不幸に出會した事は矢張り病氣と定命は逢ふと云ふ事が判る

女の部屋(114)

林芙美子作　一木弴畫

誹謗(八)

泥醉した靑年は友達に援けられながら一番奧の座席に坐ると水溜りのやうにごろんと濁つた目をあけて、暫くの間自分の居る處を判別しやうとするもの〻やうにジーツと邊りを見てゐたが、軈て又ぐつたりとなつて了つた。

君江は、何事か大聲に喋りながら一人の靑年の方に近附かうとする麗子を、彼女がむつとして激しく振り向く程しつかり握りしめた。

——一寸御覽よ！

——何さ、何をするのよ？

君江は默つて先刻の四人連れの一團を指差した。

四人の處には二人の女が行つて坐つてゐた。お銚子が運ばれてまだつぶれてゐない三人は女達を相手にお喋りをし乍ら飲み始めてゐた。

——其方はもういけませんの？

まつたやうに顏色を變へた。

その男は土方であつた。

——どうしたのでせう？

君江も解せぬらしい顏つきで云つた。

麗子は急にしやんとした步調で、つかつかと土方の方へ步いて行つた。

——ちよいと御免。どいてれ。

彼女は女給とも一人の男とを亂暴にかきのけて、土方の橫に立つた。そして輕く肩を小突いた。

——眠いから擲つといてくれよ！

——眠いぢやないわよ。どうしたのよ？

——ようよう、御……

冷嘲しかゝつてゐたヴアイオリニストは案外險しい麗子の一瞥にあつてそのまゝ口を噤んだ。

——よう、明さん、どうしたのよ、こんなに醉つ拂つて……のめもしない酒をのんだりして？

土方は朦朧とした眼をあげて暫く麗子の顏を見てゐたが、軈て如何にも怪訝さうに

——やあ、君も來てゐたのか？

——君も來てゐたのかがありますか、此處は妾の家よ。

——君の家？君……の……

彼は急に身を起した。

——何處に連れて來られたかも判らない程のむ人がありますか。

——弱蟲！

土方は何も怪訝さうに四方八方をキヨトキヨト見廻してゐたが、すぐ眼の前に君江も立つてゐるのを見ると、すつくと立ち上がつて連れの三人に

——失禮する。今晚は許してくれ。

と云つて、そのまゝ、ふらふらと外に出て行つた。すぐ後から麗子もその後を追つて走つて行つた。

つぶれた男を揺り乍ら一人の女が云つてゐる。

——お一つ如何？

——煩さい！もう澤山だ。酒なんかうまかあ、ないぞ！

つぶれた男は懶るさうな手つきで女を拂ひのけた。

——はつはつはあ！

と三人の中の一人が大聲をあげて頓狂に笑つた。

——擲つとけよ、此奴は女嫌ひなんださうだ。女が嫌ひな上に失戀しちまつたんで、もういけねえうつかり傍によつたりなんかすると喰ひ殺されるぞ！

——まあ、ちよつと、こちらのやうないゝ男になら喰ひ殺されてみたいわれ。

麗子はふらつく足を踏みしめて右の肘をカウンターに凭せて身體を支へながら、それでもじーつと眞中の泥醉男を凝視してゐたが、突然さつと、靜も何にも醒めてしまつた。

肺·肋膜·喘息·神經痛の人々が良く効くと感謝する

イマヅミンの好成績

鰻取粉で有名な今津佛國理學博士の發見せるイマヅミンは各地同病者から喜びの禮狀が澤山來てその良効を感謝してゐる。本劑は何等副作用なく鎭咳、鎭痛喰菌の作用強く、病原菌及その毒素を除きて病氣を良くし自癒力を強くして病體を健康にする眞の良藥である肺、肋膜、腹膜喘息、咳、百日咳、神經痛、胃痙攣の人は早く良藥で治療せられよ。なほ胃腸及腦を丈夫にし衰弱を元氣にする良効ある活動素リンを使用すると兩劑の效果が同時に働くので早く良くなる。全國藥店に有品切れならば市西淀川區大仁本町今津化學所へ申込あれ。「文獻進呈」

大滿洲國帝政記念

ジーエス蓄電池
グライター水銀整流器
颯爽
大滿洲帝國に捧ぐ
盟友
科學日本が
世界に誇る
二大逸品を
PATENT GS ACCUMULATOR
日本電池株式會社總代理店
三菱商事株式會社大連支店
大連市山縣通一六五
電話大連八一五一番

北滿の草原を這ふ凄慘野火の襲撃
湖岸一帶猛烈な吹雪の惱み　鏡泊湖調査隊の難行
島田特派員發

【海林十四日發】去る十日國線バスに分乘して敦化を出發した國立公園豫定地鏡泊湖調査隊一行は警備隊員二十名に護られ、途中鏡泊湖岸松乙溝、湖沼、寧安に宿泊、十三日正午約三千五百キロの行程を

突破
無事海林に到着した、しかもこの間二千五百キロは牡丹江並に鏡泊湖の氷上走破で陸地は僅かに一千キロであつた、敦化出發後十、十一の兩日は天候に惠まれ氣溫も零下五度程度寧ろ鏡泊湖が解氷せぬかと危ぶまれたほどで、これがため水力調査班、道路調査班は短時間のうちに最大能力を發揮して活躍した、また映畫撮影班及び普通寫眞班は鏡泊湖岸の風景を撮影すると同時に問題の鏡泊學園を訪問、自立自衛をモットーとした學園の

全貌
をフイルムに收めればならぬためこれまた大車輪の活躍を續けてゐた十二、十三日の兩日は打つて變つた天候で湖岸一帶より海林は吹雪に閉ぢこめられ氣溫も零下十餘度に降下してキヤメラもクランクする映畫班の手も自由を失ふほどであつたが幸ひに一同元氣旺盛一名の落伍者も出さず、海林より更に牡丹江驛を迂廻して寧安に歸ることが出來た、この四日間の調査中最も恐れてゐたのは匪賊の襲撃であつたが我々は遂にそれらしき影だに認めず、むしろ昔の匪地帶も今は王道樂土の和やかな光に充ち滿ちてゐるかの如く感じられた

時に
黑ずんだ皇軍戰歿勇士の墓標を見れば僅かにその時の慘ましい匪賊時代の皇軍奮闘の跡が偲ばれ、墓標附近に漂よつてゐる淸淨の氣に打たれるのであつた併し匪賊の襲撃こそなかつたが一行の調査撮影にはまた豫期してゐなかつた恐るべき障碍が横はつてゐた、それは先に述べた十二日よりの大吹雪と北滿の草原特有の猛烈な野火とである、咫尺を辨ぜぬまでに降りしきる吹雪の恐ろしさはいはずもがな、限りなき矮林地帶を火焔と黑煙を揚げつゝ燃え廣がつて來る

野火
の襲撃が如何に恐るべきものであるかは、遭遇したものゝみが知り得るものだ、この二つの強敵は大自然の現象であるだけに流石の一行も手が出せず漸くその障碍を突破して寧安に到着することが出來たのであつた、寧安で一行は二班に分れ撮影班は更に北湖頭より鏡泊湖に入り、西岸、吊水樓の大瀑布撮影に向ひ他は伊林に出で更に牡丹江驛に向つた、野火と吹雪とに爭ひつゝも一名の落伍者も出さず一同元氣旺盛である、なほ撮影班は西岸の撮影を行ひつゝ敦化に引返し他は北鐵によつてハルビンに出で十五日に新京に落合ふ豫定である（寫眞は北湖頭港の全景）

豆タク街頭奔流で惱みも深き表情
駐車場割込みも見事失敗し　大型系矢繼早の評定

豆タクの出現に大脅威を來してゐる大型タクシーはこれが對抗策に就いて頭を惱まし一部營業者は値下げ對抗を考へてゐたが自動車營業組合の意見纏まらず、花見ごろのタクシー最需要期を前にして

如何
なる戰術に出るか注目されてゐたが、いよ〳〵豆タクの出鼻を挫く戰法として駐車場に割込み豆タク驅逐の計畫を樹て、積極的に猛運動を開始することゝなり藤井組合長は十四日午後大連署保安係を訪れ土屋次席警部補に駐車場割込みを出願した

僅か
即ち自動車組合では豆タクが大連全部に設置してゐる駐車場に大型タクシーの駐車も許可されたいといふのであるがこれに對し土屋警部補は現在許可されてゐる豆タクの駐車區域は二臺乃至三臺位の駐車より出來ぬといふ狹隘な場所でこゝに大型が割込むことになれば、小型駐車の餘裕がなくなる譯であり、また大型と小型とはその業態を根本に異にし、ガレーヂを營業本據としてゐる大型が街頭の客を目的としてゐる小型同樣に街頭駐車の特典を與へることは二重の利得を占むる結果となり行政運用の公正を期する上からも大型駐車は絕對許可することは出來ぬと出願を却下した、これに對し藤井組合長は然らば豆タクが街頭以外の場所ではガレーヂなどにおける營業に對し充分な取締を願ひたいと希望したが之に對し同警部補は原則としては街頭以外の營業を認めぬが、大型が

街頭
で客を拾ふことがあると同樣、客の便利のために幾分の融通性は認める外はないと回答し會見を終つた、大型組合では近く役員會を開き更に第二段の對抗策につき協議する筈である【寫眞は豆タク】

賊團と遭遇戰
延吉縣下で三時間にわたる　倉本部隊果敢に擊破

【間島特電十四日發】倉本○隊は十二日朝延吉縣明月溝管内で賊團約百名と遭遇激戰三時間に及びこれを擊破したが、我が軍にも鹵取上等兵は胸部に三宅上等兵は腹部に敵彈を受け壯烈なる戰死をとげた

武藤山治氏敍位
【東京十四日發國通】畏き邊りでは、武藤山治氏一級追敍され正五位に敍せらる

旅順高女卒業者
けふ卒業式擧行

十五日擧行される旅順高等女學校第二十三回卒業式に際し卒業證書を授與されたる者左の如し

補習科甲部
青野俊子、伊藤ちよ子、柿本美枝子、北山睦子、設樂和惠、田中美惠子、布施貞子、渡邊フミ子、伊藤千壽、大塚千代、神田嘉榮、黑田美佐枝、竹森眞理子

補習科乙部
柿本ヤス子、近藤華子、猿渡武子、中根京子、原田千佐子、村上エミ、若松喜久江、御坊前靜子、佐々木富子、土屋トシ、野間口重子、前林展、毛利妙子

第五學年
伊勢榮子、大山昭子、野田松代、土方久子

第四學年
フミ、今泉久子、岩田英子、上野よし、枝元テル、岡喜美子、岡野□子、大津明子、鐘ケ江治子、川熊あや、菅野綾子、後藤春江、後藤美枝子、小梨信、阪本キミ子、佐々木滿津江、佐藤日那子、島崎しづゑ、淺田敬子、糸山カツ、井上美登利、今枝富美子、岩藤佐和、上村芳子、小熊絢子、岡田瑠璃子、大木富美子、笠原雅子、梶田光榮、川島靜子、菊地喜美子、後藤美枝子、後藤光子、坂田豐、酒元久代、佐藤喜美子、柴田勝子、下寺智惠子、白土文子、高木ひさこ、高崎ヨシエ、高田定子、高橋雅子、武田綾子、種田滿洲子、筒井御和子、外池晴子、富浦小枝子、中壽滿、長谷川安佐子、濱田ノブ子、原富士子、春口繁子、日向照子、堀岡滿洲子、松田百合子、松本稻子、關和子、高木フサ、高瀨千代子、高野好枝、宅島雅子、谷本幸惠、土屋百合子、寺岡澄子、東畑昌子、中戸川靜子、長門滿子、南場節子、西村ハツ子、乃美秀子、濱崎靜子、早瀨靖子、原田茂子、東克子、細田田鶴子、堀之内利子、松井綠、前田貞子、三澤鎭子、宮崎春枝、宮原定子、森重一枝、安永靜子、山田八榮子、吉富恭子、若林輝、峰松タカヨ、宮野光子、村上光恋、茂木葉子、山口龍子、吉田サキ、吉野政子、渡部智枝子

反目が爆發し春宵血の喧嘩
酒氣を帶ぶ鮮支船員

日頃の鮮支船員の反目が遂に爆發して北大山通海岸で血なまぐさい大喧嘩、十四日午後六時半頃、西森ドック横の道路上で酒氣を帶びた鮮人と支人が血みどろになつて喧嘩してゐるのを水上署員が發見關係者一同を本署に引致目下取調中だが、加害者と認められる鮮人□□□□□□□□□□□□(二二)□北され李鳳道(二三)被害者は支人山東生れ范本良(二□)で、原因は平素乘組の鮮支人間がとかく不和で、この解決に腐心した船主側では范を十四日下船させたところ船を下り際惡口をいつたのを根に持ち鮮人船員は共謀の上范の歸途を待ち伏せ大亂鬪を演じたもので范は石塊で前額部並に後頭部をザクロの如く割られ本署に引致されると共にその場に昏倒、最寄の醫師にかつぎ込まれた目下原因取調中

生存者は十三名死體は六十六
遭難は十二日午前六時ごろ　友鶴艇の作業續く

【佐世保十四日發國通】友鶴の生存者は遂に十三名を出でず死體は漸次發見され只今迄(午後七時半)に六十六個に達し、その内には吉村中尉、古谷機關中尉、野村機關兵曹長、安廣兵曹長等あり、准士官以上は岩瀨艇長、大島特務少尉を殘すのみで運命は決つた譯であるが、吉村中尉は雨合羽を被つて廊下に斃れてゐたところから見て朝食を了し室に歸る刹那この災厄に遭ひしものと見られ、古谷機關中尉は機關室にあり當直勤務中なりしことを想像され、野村機關兵曹長、安廣兵曹長は共に艦の中部から發見され共に勤務中なりしものと見らる、なほ時計は皆六時十五分前後に止りをり遭難は十二日午前四時頃と推定されゐたるが、夜明後の六時十五分顚覆せしこと明かとなつた、なほ相當數の遺骸は艇内にある見込みであるが、乘組員の大半は顚覆の際海中に投げ出され或は曳航の途中艇内から脫出して激浪に浚はれたらしく遭難直後から軍艦龍田、常磐、驅逐艦子日、初春、水雷艇千鳥、眞鶴、敷設艦燕、鷗、佐世保航空隊の飛行艇、偵察機等の大搜査網を張り搜索に全力を盡してゐるが只今迄は海上には一個の死體も發見されない

彌生高女卒業式
大連市立彌生高等女學校の第十五回卒業式は十四日午前十時から同校講堂で擧行、菱刈關東長官代理大貫視學、御影池大連民政署長代理井上庶務課長、小川大連市長他二十餘名の來賓と二百に餘る保護者並に全校職員生徒列席の上で五年新卒業生二十二名、四年新卒業生百八十七名に對しいと盛大に榮ある卒業證書授與式があげられたが、午後は引つゞきいよ〳〵學窓を巢立つこの二百餘の卒業生によつて長年の師の恩惠に對して謝恩の會が催された

櫻の内地へ
白衣の勇士

安田中尉以下七十九名の白衣の勇士は戶田一等軍醫外十名の附添ひに守られ十四日午後四時四十分着列車で着連、岡野助役始め多數の市民に迎へられて直に衛戍分院に向つたが、十六日午後四時出帆の照國丸で內地へ凱旋の豫定

大連海務協會廿五周年記念
大連海務協會では來る四月十日を以て創立二十五周年に相當するので當日は旅大の官民知名士約一千名を招待し盛大なる記念祝賀會を擧行することゝなつた、なほ記念事業として同會刊行の海事雜誌「海友」の增大記念號を發行すると共に郵船、商船の後援にて「海に關するポスター展」を當日より約五日間の豫定で開催し海事思想を普及せんと目下種々準備中であると

第二次豫選
極東競技大會

日本陸上競技聯盟では來る四月十四、十五兩日明治神宮外苑競技場で第十回極東選手權競技大會全日本豫選會を開催するが、今回は斯日の都合上地方第一次豫選を廢して直に第二次豫選を行ふことゝなつた、尙參加規定左の如し
▲競技種目　百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、一萬米、走高高障碍、中障碍、走巾跳、走高跳、三段跳、棒高跳、圓盤投、砲丸投、槍投、五種、十種
▲申込方法　現住所氏名所屬職業年齡本年度登記の有無及び申込種目を明記し申込金一圓を添へ（登記未濟者は登記料三十錢を添へること）申込みのこと
▲申込種目　三種目以內のこと
▲申込締切期日　四月五日午後五時迄
▲申込場所　東京市麴町區丸の內仲六號館ノ一日本陸上競技聯盟宛のこと

製氷會社の爆發騷ぎ
製氷機空氣流出

十四日午後五時十五分頃市內常盤町二十三番地大連製氷會社機關部內部から大音響が起り周圍四ケ所の窓ガラスを飛散せしめたが各會社の退社時とて人通り多く昨年の爆發事件の二の舞ではないかと思はしめたが、右爆發はかねて修理中の製氷機の壓力檢査中空氣流出パイプが落下し一度に空氣が拔けたため起つたもので昨年の出來事とは全然性質を異にして現場に居合せた四名の從業員にも幸ひ負傷者なく損害極めて僅少である

新入學のお祝に

腕時計
寫眞機
バックル
指輪
記念文字の無料記入を致します
大連連鎖街
森洋行

滿鐵運動會
五月六日開く

滿洲運動界の年中行事たる滿鐵運動會大連支部の第二十四回滿鐵運動會は來る五月六日大連運動場で例年の如く華々しく擧行する、九日午後各部幹事集合の上種々協議の結果參加規定左の如く決定した
▲競技方法　選手對抗競技、採點一般競技及び一般競技の三種目
▲出場者資格　(1)選手競技（四月二十五日發行の社報までに社員として採用發表を受けたるもの）(2)採點一般競技並びに一般競技（滿鐵社員たること）但し選手競技出場の正補兩選手をのぞく
▲出場回數　(1)選手競技（三種目以內）(2)採點一般競技（無制限）(3)一般競技（三回限）
▲競技種目　(1)選手競技＝百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、一萬米、千米瑞典式繼走、高障碍、走巾跳、走高跳、棒高跳、圓盤投、槍投、砲丸投(2)採點一般競技＝幌負ひ連絡競走、百足競走、盲啞連絡競走、二人三脚連絡競走、皇荷連絡競走、陣笠連絡競走、陸上ボート競走(3)一般競技＝百米、四百米、八百米、一萬米、登山競走、サックレース、戴嚢スプーン、盲啞競走、二人三脚、提灯競走、年齡別百米（三五―四〇、四一―四五、四六以上）陣笠競走、我慢競走、機械體操（自由型五種）假裝行列（各種單位）
▲入賞及採點法　(1)選手競技＝入賞者三等まで、採點は一等より六五四三二一點(2)採點一般競技＝入賞者三等まで、採點は一等より三二一點(3)一般競技＝三等まで但し登山一萬米は十五等まで
▲招待競技　(イ)全滿中等校八百米繼走(ロ)全滿專門大學八百米繼走(ハ)全滿高女四百米繼走(ニ)在連傍系會社八百米繼走(ホ)沿線各支部八百米繼走
▲申込方法　一萬米及び登山競走は社員外よりも募集するに付き希望者は四月二十五日迄に滿鐵本社地方部學務課氣付滿鐵運動會に申込みのこと、社員の申込みは各部に於て取まとめること
尙選手對抗競技の色別け左の如し
黃組　總務部、計畫部、經理部、經濟調査會、社員消費組合、社員貸從事員
綠組　鐵道部（同部中別記を除く）鐵道建設局
赤組　地方部、商事部、大連社員俱樂部
樺組　埠頭事務所（同所管內全部を含む）
白組　大連鐵道事務所（大連、沙河口並甘井子の驛區、分區、駐在所を含む）
海老茶組　鐵道工場

結婚倦怠期
結婚倦怠期にある二組の男女の種々相を描いた問題の大傑作『薔薇の圓舞曲』（德田秋聲氏作、富士四月號所載）は文壇近來の大收穫と素晴らしい人氣を呼んでゐる。

伊田○團長
錦州に到着
【錦州特電十四日發】松原第○○團の殿りとなつた伊田第○○團長は綿谷副官を隨へ十四日午後三時三十六分着列車で新警備地錦州に到着した

脇屋次郎氏表彰さる
陸軍大臣から

大連在鄕軍人分會の幹部として專ら軍事に盡瘁して來た退役一等軍醫脇屋次郎氏は今回陸軍大臣から多年軍事に貢獻する處淺からぬ理由を以て左の如き表彰狀に添へ銀杯一箇を授與された、大連で軍事功勞者として表彰されたのは脇屋氏一人で、同氏は深く感激して居る

表彰狀
從六位勳五等　脇屋次郎
多年力を軍事に效し貢獻する所尠からず仍て銀杯一箇を授與し玆に之を表彰す
昭和九年二月十一日
陸軍大臣　林銑十郎

大連神社月次祭
十五日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町山縣通區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭典を執行す

鐵路學院生徒募集
鐵路總局の鐵路從業員養成機關として今年度より開設される鐵路學院では左のごとく學生募集を發表した
▲募集人員　滿洲國人二百名（業務科豫科八十名、機械第一科豫科六十名、機械第二科豫科三十名、土木科豫科三十名）
▲入學資格　滿洲國初級中學卒業者
▲願書提出期日　四月十五日

八木橋訓導結婚
大連常盤小學校訓導八木橋雄次郎氏は榊原常盤、鈴木大廣場兩校長の媒妁により大廣場校訓導桐畑綾子氏との婚約整ひ、來る十八日大連神社で華燭の典をあげるが、同夜五時半から連鎖街扶桑仙館で披露宴を張ると

山岡五段就任
滿鐵運動會柔道教師石垣良知氏退任後小谷六段のみで缺員中であつたが今回永岡九段の推薦に依り昭和八年東京高等師範學校體育科出身の山岡保孝五段が就任することゝなつた

獵友會總會
大連獵友會では十五日午後五時半より電氣遊園登瀛閣に定時總會を開催し終つて懇親會を催すので會員多數の出席を希望すると（會費金貳圓）

河內山氏慰靈祭
故辯護士河內山武雄氏の一周忌に際し大連辯護士會、縣人會、七高會、獵友會等主催となり十六日午後四時半より市內光明臺產靈教會において故人の慰靈祭を催すと

多田恪氏
滿鐵多田地方課長の令弟で北滿の北安で齒科醫開業中の多田恪氏は十三日午前不慮の災害で燒死した、多田地方課長は奉天より直ちに北安に急行したが故令弟の遺骨帶同十八日歸連の上大連で葬儀を行ふ

永澤氏母堂
滿洲チーム圓盤投選手永澤文雄氏母堂はかねてより罹病、鄕里青森縣北郡梅澤村瀨良澤で靜養中であつたが十三日病革まり死去したとの報に接したので同氏は十四日發うすりい丸で急遽歸省した

安樂子
O・S・Kが日滿連絡を獨占的な立場でモノポッてゐる事は先刻御承知のところだがこれにどの船會社でも競爭船が出現したらとは妙な好奇心もあり血の氣の多い連中が等しく希つてゐるところである。
……◇……
ところが正に春風に帆をはらむと云つた形で悠々の感があつたをあて込んだ千歲丸の就航は青天の霹靂、さあかうなると競爭意識がモリモリと盛り上つてくる負けてたまるかと云ふ氣持が事毎に反映してくる。ざわざわざO・S・K支店の前に立看板を出せば商船側も春のシーズンを前に自家宣傳に大童。
……◇……
面白いのは埠頭玄關口の入港時刻通報板、近郵が今迄の商船のむさいのを嘲る樣に美しいものを作つたが、その翌々日には既に商船側の通報板がペンキの色彩も鮮かに塗り替へられてゐるさあかうなれば一寸高見の御見物と御座い、緊張つたのが「あゝ手拭でも吳れんかなあ」はよかつた。

懸賞尋ね人
高橋春代（廿八歲）
同　太平太（四）
特長、左人差指切傷のため短し、身長五尺位、丸顏色白き方、ソバカスあり厚く眼吊り上つてゐる、家出當時の着衣、黃地に木葉樣の着物、銘仙表羽織、黑マント携帶、子供の着衣、毛糸編服着用
右二月二十六日病氣治療と稱し局子街に出たまゝ行方不明、新京、奉天、大連方面に向つた形跡あり發見の御方は滿洲日報圖們支局宛電報にてお報らせ下さい薄謝を呈します

南蠻彩船 (71)

鈴木氏亨作　布施長春畫

女郎花（七）

はじめて二人になつた五月野は遠里小野三郎に對して、どう云つて挨拶したものか、どんな感謝の言葉を述べたゝのか困つて了つた。

と云ふのは、遠里小野三郎の武士らしい、男性的な典型美に打たれ、その任俠が、彼女に、云ひ知れぬ懐しさと、頼もしさを與へて別れ難ない思ひを抱かせ、思慕の情を湧き立たせたからであつた。

遠里小野三郎にしても、偶然な機會から、一人の女を救つて、彼女の悲しい境遇に同情し、それが主人助左衛門の妾の、妹であつたと云ふことまでも知り、餘りに皮肉な運命に一時は驚きはしたが彼女が、庄右衛門を相手に惡怯れもせず、獨りで闘つた女としての勇氣や、膽力に敬服すると同時にそこに云ひしれぬ、異性に對する懐しさが湧いて來たのであつた。

それだけに、彼等は二人とも、どんなきつかけをつくつて、挨拶したものか、困惑したのである。

だが、三郎は、主人助左衛門の吩咐で、大阪城に使ひしたのであるから、これから復命しなければならぬ仕事があるのだ。もう夜も更けたらう、愚圖々々しては居られない。淋しからうが、五月野一人を殘して、堺へ歸らなければならない。――と、心は急きながらも、なんだか五月野一人を殘して去るのが、あまりにつれない仕打のやうに思はれてならぬのだつた

と云つて、彼はどう云つてこの同情を傳へたものか、それにも當惑したのである。

彼女にしても、想ひは同じだつた。

――遠里小野樣とは、一刻も離れがたない想ひがする。たゞ默つて、何に一つ言葉を交さなくも、この家に、凝として長くゐて貰ひたい。兄として、親い友として、いつまでも二人で――と、こゝろはやつてゐても、それをどういひ出したものか、わからなかつた

しかし、二人とも、いつまでも默つてゐるわけには行かない。遂う〱遠里小野三郎から口を切つたのである。

「私も、主人のある身の上、いつまでもかうして居られませぬ。庄右衛門奴も懲り〱して、二度と手は出さぬでせう、これでお暇いたします。また御縁があつたら、お目にかゝりませう」

さう云はれて見ると、五月野も強ひて止めるわけにも行かなかつた。

「折角、お助け下されて、お禮の申上げようも御座いません。このまゝお別れ申すのも、お名殘惜う御座います。ついてはお住居だけでも、伺はしていたゞけますまいか?」

「別に、定つた宿とてもない者です。では御無事で……」

「でも御座いませうが、どうか」

「それ程に仰しやるなら、申上げぬでもない。私は、呂宋助左衛門の部下、遠里小野三郎といふ至らぬ者です」

「えつ!あの、助左樣のお身内の遠里小野樣!」

五月野は、不思議な驚きに打たれた。

それは遠里小野三郎が、庄右衛門を知つてゐたから、どんな人だらうと、いろ〱に想像してゐたのに、いまこの若い武士の飾らぬ告白を聞いて、驚きにもまして慕はれてくるのであつた。

だが、いつまでも引き止めて置くわけには行かない。彼女は、心を冷鬼にして

「また、こちらへでもお通りの節は、お立寄り下さいませ。今宵は遲うも御座りますから、お引止めもいたしませぬ」

「また、お目にかゝる折も御座りませう、これで御免を蒙ります」

遠里小野三郎は、かう云つて名殘り惜げに立ち去つた。

ガランとした破屋に、たつた一人殘された五月野は、三郎の跫音が遠のくと、どつとばかりに泣き伏した。

そこへつか〱と入つて來た者がある。

麻生路郎氏句會

來三月二十二日午後六時半より山縣通り大連亭にて開催來會歡迎

◇宿題（十九日締切）

「心」　麻生路郎氏選
「崩」　高橋月南氏選
「熱愛」　大島濤明氏選

◇市内西公園町一四九大島宛投句

滿日柳壇

友情　編輯局選

山海關　小林鳩公
久々の友訪れ來て夜を更し
戰友を肩に背負つて追擊し
同　杉浦田甫
無遠慮な友の情の强意見
同　若杉春曉
過ちも友情の中に氣がれなし
親展もフレンドの仲見せて居り
同　水野亭流
只だ祈る心へ友の便り待ち
逝ける母慰めつゝも友も泣き
同　吉田甲子
友情の忠告も聞く金を借り
友情は親にも云へぬ事で來る
旅順　桃井たかし
友情もつゞくは金のある間
友情の一歩戀への甘き道
小平島　田村秋泉
友情が度かさなつて戀心
身に浸みる友の情を病み續け
撫順　松浦蝶古
成功に輝くなかに友が待ち
勵ませば友達甲斐の顔をあげ
大連　椰部さき子
友情のテープの端に涙する
友情はレター一ぱい溢れてゐ
奉天　古田部間一
友情もサイダーのやう淡くなり
友情を質草にする辛い暮
大連　今宮龍吉
管鮑も同性愛の端くれか
友に泣く涙は暗く部屋を出る
開原　古市贅六
どん底な友の情で職につき
友情の深き竹馬と老いて行き
大連　大島さし子
親切に囚徒情けの友へ謝し
友情を越えて相思の仲となり
承德　川口天山
友達の情けで持つ新世帶
占領の喜び合ふた無事な顔
大連　杉原可坊
成功の歸國友情みんな寄り
友情を越えてはならぬ友が出來
大連　林子禾
友情がつのりて果ては三原山
久方に逢ふ友情のため涙
大連　三谷一伸
見ぬ友の情け涙の御一封
銃前に銃後に友の深情け
小平島　梶山房枝
お互ひに變つて友情湧き返り
友情を賣るまで欲しい戀でなし
美しい友情そこらを皆泣かせ
大吹雪友を案じる捜索隊
友情の差入れに泣く留置場
大連　青木とみ子
輸血して友の意識にほつとする
危機一髪も友情でもつ有難さ
大連　山崎きみ子
友情は泣いて財布の底を見せ
友情がにじみ出てゐる長手紙
大連　橋口日笑
花の山舊友に會うて生一本
奉天　野口安生
友情がさんだ所で悔いて居り
大連　綾野玉蓮
日滿の友情聯盟脫退し
大連　林惠美子
友情がもえて目頭あつくなり
大連　永野連峰
活動の友情の場面すゝり泣き
鞍山　瀧みどり
友情は胃散のやうに苦くきゝ
新京　まつだ生
友情のこもる涙の慰問品
大連　寺山青々庵
友情を越えた二人へある憐み
甘井子　田中美津嶺
物質でなき友情へ泣かさるゝ
友情を捨てるに惜しい戀となり
大連　野田あた坊
優勝に應援團も泣いてくれ
友情の深さ涙の量で知り
山海關　上倉都一
借りるとき丈け友情押賣し
過ぎ去りし友の意見へ今詫びる
新京　天草靜子
就職が出來て友情へ二人連れ
ルンペンになつて友情の味を知り
奉天　岡田初郎
友情へ今日も泣いてる鐵窓裡
落ちぶれの身へ友情の疎くなり
大連　尾道九十八
元氣でやつて來いよテープ切れ
友情の涙に浮ぶ學資金
大連　赤井一村
友情の台詞に泣かす小學生
友情の溢れ金では買へぬなり
大連　渡邊雨明
ダンサーの友情桃色混りなり
また今年變らぬ友の年賀狀
新京　伊藤英年子
落ちぶれてこんな時さと助け合ひ
披露宴親しい友は素破ぬき
友情に泣くとこの頃の俺の運
友情も金あるときは[illegible]

滿洲日報
三月十四日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

九年度總豫算案 愈よ貴衆兩院を通過
貴族院けふ無修正可決

【東京十四日發國通】十四日貴族院本會議は午前十時開會、豫算案を上程し討論の後無修正でこれを可決した、かくて九年度豫算案は貴衆兩院を通過成立した

【東京十四日發國通】九年度の大豫算案を審議する十四日の貴族院本會議は午前十時二十五分開會、鐵道豫算に對する修正論が人氣を呼んで傍聽席は開會前既に空席なく重要議案の提出なきためこのところ多少だれ氣味だつた議場も久し振りに緊張を漂はせ、首相始め各閣僚もずらり居並び議員も滿員の盛況、開會直に日程に入り

一、昭和九年度歳出入總豫算案並に昭和九年度各特別會計歳出入總豫算案
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件

を一括議題とし柳澤委員長より豫算委員會における審議の經過結果を詳細報告、更に非常時財政の内容を説明し

かゝる顯著な國防費の增加ありしに拘はらず委員會では何等この點に關する質問なかつた、これは恐らく近き將來における問題を見透しての結果だと思ふ

と極めて皮肉な口調で總會の空氣を傳へ正味一時間に亙つて長廣舌を揮ひ報告を終る

傍聽席からビラ
齋藤内閣挂冠せよと 議員さん達面喰ひ

【東京特電十三日發】警戒嚴重な議會の傍聽席からけふはビラが撒かれて議場を面喰はせた、それは午後四時半頃米穀關係法案の質問中傍聽席からパーンといふ音がしたと思ふと議場目がけて黄いろい紙がばらまかれた、そのビラには齋藤内閣挂冠せよ、彼れに經綸なく勇斷なし、國家非常時の時艱は累加す强力人材内閣要望との文句が書いてあつた、犯人は直に逮捕されたが紙鐵砲やうのものに仕掛けてまいたものでどうして持ち込んだか疑問視されこの分では次ぎに何が飛び出すか物騷に思はれてゐる

會期延長
廿日頃提議か

【東京十四日發國通】總豫算案は十四日貴族院で可決となつたが、追加豫算は未だ衆議院にあり其他重要法案選擧法改正治安維持法改正日銀金買上法案等未だ審議中で米穀對策は政府内の無統制により議會提案が延び昨日緊急上程されたが、會期は後九日に過ぎず山積の法案を議了し得るや疑問となる、會期延長は政府は表面之に觸れるを避けてゐたが二十日前後審議進行程度の目鼻つき會期を二、三日延長せば通過確實となれる場合、齋藤首相は各幹部各派交渉委員へ會見を求め延長を考慮せんと會談すべしとの意見が閣内に有力である

前參謀長別宴

【新京特電十四日發】在京官民合同の小磯第五師團長送別會は十三日午後六時より新京ヤマトホテルにおいて開催されたが、折柄長春座に開演中の浪界の雄酒井雲を招じ石田三成の長譚一席に主客一同陶醉して宴に入つたが、出席者は百六十餘名、荒木地方事務所長の挨拶に小磯參謀長の謝辭あり同九時過ぎ盛會裡に閉宴した

小磯前參謀長送別宴(部總理主催、立てるは謝辭を述べる小磯中將)

滿鐵改組の必要は萬人が認めてゐる
特務部長文官制の話は聽かぬ
けふ着任の西尾參謀長語る

【安東特電十四日發】小磯中將の後を承けて關東軍參謀長の任に就く西尾壽造中將は十三日京城において朝鮮軍首腦部に挨拶諸般の打合せを終へて十四日午前六時着列車で安東に入り滿洲に第一歩を印したが、豫定を變更して軍用機で新京に直行することゝなり驛貴賓室で金谷安東憲兵分隊長、瀨之口安東商議會頭から東邊道縱貫鐵道建設に關する説明と希望とを聞いた後、自動車で新義州に引返し午前八時半飛行機に搭乘新京へ向つた、車中出迎へた記者の質問に對して

まだ菱刈軍司令官にお目にかゝつてゐないし、小磯前參謀長からも引繼ぎを受けてゐないのだから、どんな問題に對しても一切お話しないことにしてゐるから

と堅固な豫防線を張つて、話が要點に觸れると笑顏で默殺して了つたが漸く左の如く斷片的に語つた

滿鐵改組問題は詳しいことは知らぬが改組の必要は萬人が認めてゐるところで、滿鐵自身でもさう認めてゐるぢやないか、現在どうなつてゐるつて?陸軍省で目下研究中だと林陸相が議會で答辯してゐる通りだらう、特務部長の文官制といふことも何も聽いてゐない私は現在もう特務部長を兼任してゐる筈だ、滿洲にはもう匪賊なんていふものは居るまい、居るのは强盜だらう、强盜なら日本にも居る、滿洲でも强盜が絶無といふ時代は却々來まい、私は日露戰爭には第十師團の少尉で三角地帶の大洋河から上陸して戰地に第一歩を踏んだ、上陸した日に大孤山まで强行軍してヘトヘトになつたものだ、その後聯隊長として鐵嶺にゐる時分に奉郭戰爭にぶつつかつて奉天に出動したことがある、事變後は昨年の正月戰地を一巡した、酒はあまりやらぬ、趣味としては釣の一點張りだ、大晦日でも正月でも朝五時頃から船に乘つて沖に出たものだ、潮風に吹かれるのが好きなので連れもなくても好いのだ、まあ一種の健康法と心得てゐる、然し滿洲に來たからには釣は出來ないと諦めてゐる(寫眞は西尾參謀長)

奉天官民多數出迎ふ

【奉天特電十四日發】新任關東軍參謀長西尾中將は名越副官、平田參謀少佐帶同十四日午前十時新義州より臨時飛行機にて來奉、飛行場には小雪を衝いて蜂谷總領事、于芷山上將、閻市長、久米總務、三谷警務廳長、栗野地方事務所長、室谷商工會頭、水町、後宮兩少將を始め日滿官民多數の出迎へを受け、直に待合所二階貴賓室に入り挨拶を受けたが、記者團に對し「何も土産話はないよ」と微笑を湛へながら

總て任地に着いてから篤と研究せんと分らない、それまでは感想も何も起らない譯だ、まア何分宜しく賴む

とて一切口を緘して語らない、新京に向ふ豫定のところ降雪のため豫定を變更し一と先づ瀋陽館に引揚げ少憩の後午後三時發はとで新京へ向つた

今夕新京着

【新京特電十四日發】新任西尾參謀長は降雪のため奉天よりの飛行機を中止し十四日午後七時半着列車で來京することになつたが、在京記者團とは十五日會見のはずである

第五次共産軍討伐
蔣氏各旅長に作戰指示

【上海特電十四日發】福建問題のため中絶してゐた第五次共産軍討伐の五省聯合第二期總攻撃は近く開始される事となり、蔣介石氏は各軍の旅長以上を南昌に招致して作戰を指示、近く各路軍に總攻撃令を發する筈である、共産軍討伐の效果如何は國民政府當面の最大關心事であつて蔣介石氏もいよいよ死力を盡す覺悟であるといはれてゐる

蘇聯の不法宣傳に反駁聲明を發す
我外務當局、非公式に

【東京特電十四日發】ソ聯政府の漁區入札ルーブル換算率問題に關する不法なる宣傳に對しわが外務省は十三日非公式にこれを峻烈に反駁せる聲明をなした

平和工作に努力
滿洲勤務は故郷へ歸る心地
新任の伊田○團長談

【奉天特電十四日發】平田○團の交代として新任の伊田○團長は神谷副官とゝもに十三日夜來奉、十四日午前十時二十五分奉山線にて任地へ向つたが、驛頭にて語る

小樽にて兵を送つて歸ると同時に發令となり大急ぎでやつて來た、滿洲は七、八年前旅行に來たことがあるが、服部閣下には京都で、平田閣下には北海道でお目にかゝつた、輝く歷史の後に行くのだからそれを傷けぬやうにしたいと思つてゐる、この○團の參謀長を二年やり部附として三年ゐたから故郷に歸るやうな氣がする、平和工作をやれとのことだから大に努力するよだが飯塚大佐の戰死を聞くがこれによると未だ油斷ができぬ、飯塚大佐は元の○隊長だつたので實に氣の毒に思ふ、先づ任地に行つてそれから新任挨拶に出て來る、後宮少將とも今朝會つたが、少將とは士官學校大學で一緒だつたから懷かしい、又この列車で赴任の田村獸醫部長とも四年ぶりの奇遇である、七、八年前に來た時は朝鮮を旅行するのに後宮少將から背廣を借りて行つたことを考へると實に變つたと思ふ

と語つた、なほ新任上野○○團長も十四日午後十時五十分着十一時二十五分發にて新京へ向ひ、小川少將も十日午後二時安奉線で着奉した

小川少將赴任

【安東特電十四日發】○兵第○○團長小川正輔少將は十四日午前七時安東通過新京へ向つたが語る

日露戰爭に出征してから三十年振りの滿洲だ、本日新京へ直行して軍司令官に御挨拶してから任地へ行く

梅津司令官赴任

【東京十四日發國通】新支那駐屯軍司令官梅津美治郎少將は十四日午後九時四十五分東京驛發天津に赴任する

十六日會例會

滿洲技術協會にては十六日會例會を來る三月十六日午後四時半より技術會館にて開會、當日は大連警察署警務主任末光高義氏の「滿洲の秘密結社」の講話ある筈

職制改正や異動デマに過ぎない
山崎滿鐵理事語る

滿鐵山崎理事は滿鐵總務部關係最近の問題について十四日午前理事室で左の如く語る

幹部の大異動があるとか、根本的な職制改正があるとか色々デマを飛ばしてゐるやうだが、滿鐵としては目下鐵路總局の職制改正を主管箇所に認可申請中のほかは何等職制改正に關する問題は取扱つてゐない、自分が忙しいやうにもいはれてゐるが僕の部屋は閑古鳥が鳴いてゐる、傍系會社の開放問題も目下研究中で具體的なことはまだ何も決つてゐない、正副總裁の上京は議會の出席のためだし、石本君はなんでもお父さんかの年忌などがあつて上京したのだ、わざわざそんな問題を東京まで持つて行つてやる必要は何も無いではないか

貴族院の滿洲問題論戰 (6)
滿洲農産物と關税
農民の疲弊に同情せよ

三月三日貴族院豫算委員會第六分科會における滿洲問題に關する質疑

大藏公望男 日滿兩國の經濟提攜の本旨に副ふやうに御盡力下さることは誠に結構でありますが、不躾に申せば、今日まで日滿兩國經濟提攜の本旨に副つたことが非常に少いのぢやないかと思ひます、主として日本の利益のみによつてやつて居る。しかもその結果は決して滿洲國の利益を害するものでもない、矢張り滿洲國にも利益を與へて居る、といふのであつても、日滿兩國の經濟提攜の趣旨よりは、先づ日本自身の國防上の若しくは産業上の趣旨から色んなことが行はれつゝあるとかう思ふのであります

併しながらそれも結果においては必ずしも滿洲國の利益を害するものではありませぬので、その點は異論はございませぬが、併しながら積極的に税を高くするといふことは、これは著るしく滿洲國々民の利害に關係がある、只今の御話の通り日本の農民が非常に深刻に苦しんで居るといふことは、誠にその通りでありまして、これは何とか政府も御心配になりませぬといけない、併しながら政府の御所見に依りますると、土木匡救費の如きも大凡六億の豫定でやられた方針が、本年は非常に少くなつてしまつて、僅か何千萬圓でありましたかで、どうも政府の御所見は、何となく農村の狀態といふものは苦しみの深刻さが多少解消したといふ風に、豫算では現はれて居ると斯う考へます

然るに滿洲國農民の疲弊といふものは、到底日本の農民の疲弊どころの騷ぎぢやない、是れは實に深刻を極めて居る、その深刻を極めて居るのは決して日本のせゐぢやありませぬが、併しながら丁度運惡く此の滿洲國が出來た後の今日に於きまして、まあ豐作饑饉とか其の他色々の爲めに物價が非常に下つて居る、其爲に苦しんで居るのです、此滿洲國々民が大體に於て、若しこんな事變が起らなかつたならば、我々はこんなに泣苦しまなかつたであらうといふ風な感じを相當に持つて居る折柄なのであるから、今日日本の農民以上に滿洲の農民が苦しんで居ることを是は日本のせゐだと考へて居る者も少くないやうに思ふ、そこへ持つて參りまして、日本の狀態のみを考へて、それは或程度まで關税を高くされるのも仕方がないけれども、高粱も入らない何も彼も入れない、米も入れない、元は入つて居りましたが今日は入れない、材木にも税を掛ける、高粱にも掛けるのだ、さうして何も彼も日本に這入らないやうにするといふことは、いけないことだと申上げたのです、それは或程度日本自身の關税を左右しまして、入れないやうにするのはこれは仕方のないことです

併しながら最後に殘されたる而も滿洲の一番大きな生産物である大豆といふものの迄、多くの税を掛けるといふことはいけないことぢやないかといふことを申上げて居るので、此の點については拓務大臣の御説明もありましたが、まあ此の狀況を能く御考へ下すつて、さうして少くとも何か殘されて居る途だけが一つ此處に必ず眼の前に置かれて居るぞといふ風にして置かねと、何を作つてもどうしても這入らないやうにするといふことだけは、どうしても一つ御考へ置きを願はねといけないと思ふのです

只今の御説明は誠に御尤もで、日本の農民は今なほ苦しんで居る、大いなる深刻さにあるといふことは御尤もですが、併しそれは程度問題で、この日本の農民を救ふ途は何處にでもある、現に土木匡救費を以てやられたといふことその他色々ありませうが、向ふの方では唯一の殘つた農産物まで課税せられたのでは、到底やり切れぬであらうといふことを、私は同情するのであります、是非其點について大臣の御盡力を願ひたいと斯う思ふ次第であります

磯村豐太郎氏 關税の御話が出ましたから一言私も伺つて置きたいと思ひますが、此關税問題は、是は無論世界の問題で、豈單り日滿のみならんやでございますが、此日本の關税、滿洲の關税につきましては、定めし當局者は御苦心のあることだらうと御察し申上げます、例へば日本の銑鐵や何かの税金が高くなつた場合に、滿洲でも高く爲さない譯には行かぬ然るに滿洲にも製鐵所があつて、それは日本人がやつて居るのだからといふやうな點から考へましても、色々な點に於て是は御苦心であらうと思ひますが、此の滿洲の此關税といふものにつきましては只今日本の當局者と御相談中ででもありませうか、此間も……滿洲に工場を造りたいといふ人が中々ある、あるのですけれども、是もさんと關税問題で困つて居る例へば紡績會社が滿洲にある……かどうか存じませぬが、關東州邊りには十四、五もありませうか、是が今の税金では大分儲かつて居るやうです、それを以て將來棉花も滿洲で出來るやうになりました時分には、紡績會社を作りたいとか、或ひは增錘したいとかいふ人が中々あります、ありますけれども、今の關税ならまだ宜いでせうが、これがあべこべに滿洲の關税が上る場合はこの紡績はパッタリ止まつてしまふ

さういふやうなことで、今や色々計畫して居るのがありますけれども、悉くの問題は關税の高低に依つてそれぞれ違つて來るのですから、非常にこれは大事件だらうと私は思ひます、今大豆の關税のことを伺ひましたのですが、これは又此原料を滿洲から取る日本におきましては、餘程これは研究を要する、大豆を使ふ點から行きましてもこれは困る點だらうと思ひます、それにこの頃大豆などはドイツあたりへ行きますのが、大分ドイツの關税の爲めに輸出が少くなつたといふことを承はつて居ります、大豆が滿洲から行く、滿洲の農産物が大分出るのでこれは誠に重大な關係があるので、當局者は兎に角御考慮を願はなければならぬと思ふのでありますが、滿洲だけの關税につきまして、日本とさういふ點につきまして、只今御交渉中でありませうか、その點を一寸伺つて見たいと思ひます

永井拓相 滿洲國との間の關税の問題は、これはまだ色々な交渉は繼續して居るのであります先般改正いたしましたのは先づ先程申上げましたやうな範圍で實行し得るものを實行したのであります、出來るだけなほ其上に兩國の利益になるやうな改正は致したいといふ考へで、兩國共に研究は進めて居るのであります

市廳舍の增築案
市會に上程

大連市役所では昨年十一月産業課の增設を始め各課事務擴張等のため、現在の廳舍は狹隘にすぎる憾みあり、かねて廳舍增築計畫中であつたが今回五萬八千五百圓を計上し、現廳舍東側に地下室附二階建、建物を增築することになり既に參事會をも通過、十五日から開く市會に上程することとなつたが各議員も現在の實情を知つてなり何等異議なく無事通過するものと見られるが市當局では可決早々建築にとりかゝり本年中に完成の豫定であると

豫算市會
あすから開く

大連市第八十二回市會は十五日午後二時より開くが、議題は主として昭和九年度大連市豫算並びにそれに關聯せる諸案で左の如し

一、事務報告書及財産明細表提出の件
一、常設委員推薦の件
一、臨時市場改善委員推薦の件
一、市債償還方法變更の件
一、豫算追加更正の件
一、基本財産繰入に關する件
一、基本財産積戻方法變更の件
一、大連市小學校及公學堂授業料規則制定の件
一、特別會計廢止の件
一、昭和九年度大連市歳入歳出豫算案
一、同年恩賜基本財産歳入歳出豫算案
一、同年市營住宅經營歳入歳出豫算案
一、同年賃舖經營歳入歳出豫算案
一、同年吏員退職死亡給與金歳入歳出豫算案
一、同年中央卸賣市場經營歳入歳出豫算案
一、中學校建築資金起債の件
一、自昭和九年度至昭和十年度大連市立中學校營繕費繼續年期及支出方法設定の件
一、豫算外市費負擔契約締結の件
一、實業學校建築資金起債の件
一、有給吏員定數規定中改正の件
一、市吏員給料額規定中改正の件

扶桑丸の船客

【門司特電十四日發】新に大連航路に就くことになつた扶桑丸は十六日大連に入港豫定であるが、主なる船客は左の諸氏である

畫伯橋本關雪、陸軍運輸部大連出張所長奥村中佐、愛知縣參事會員渡邊玉三郎、滿鐵社員佐藤正典、愛知縣會議員磯部陸次、同神戸眞、工學博士竹内壽太郎、大鹿合名社長大鹿田太郎、村田誠孝、永田安太郎、工藤勝衛、上野對三、旅順醫院長樋口修輔、吉田砲兵中尉、中山中尉、原少尉

人事

▲大島大平氏(滿洲土建書記長)十三日午後十時發列車にて奉天へ
▲瓜谷長造氏(大連商議副會頭)十四日午前七時四十分着列車にて歸連
▲安藤紀三郎氏(前旅順要塞司令官)十四日出帆のうすりい丸で家族同伴離滿
▲松山忠二郎氏(前本社々長)同上
▲長谷川清氏(海軍中將)同内地へ
▲田村辛三氏(豆信專務)同上
▲梶井貞吉氏(新任關東軍々醫部長)十四日入港ばいかる丸にて來連
▲栗田愛之助氏(同副官)同上
▲嘉悦三穀夫氏(陸軍二等軍醫正)同上
▲近藤駿介氏(京都府内務部長)同上
▲ジエン・ロイエ氏(新駐哈佛領事)同上
▲エッチ・ダブリユー・キイニイ氏(滿鐵囑託)同上歸任
▲緒方勝一大將(陸軍技術本部長)十四日午前九時發はとにて北行
▲相馬中佐(同副官)同上
▲小柳津正藏氏(昭和製鋼所顧問)同上
▲片岡春隆氏(ジヤパンツーリストビユウロー事業主任)同上

蛇角

豫算料理、愈々最後の色揚げ。
◇
鵜呑みはいかぬ、少しは嚙んで見やうとの説もある。
◇
齒抜け内閣の苦い顔を見よ。
◇
議員鳩山一郎君登院、明鏡文相破鏡の姿である。
◇
飛んだ話、赤トンボ一疋、フラフラと鵜山に不時着。
◇
飛んでもない話、勝美公判に、フラフラと桃色の一組。
◇
いやいや、邪道句子曰く「黄泥ともに氷流るゝ遼河かな」

生活の虹 (72)
菊池寛 作　志村立美 畫

邪魔な助手 (三)

晝間の待合は森閑としてゐる。今日は、二階のやゝ明るい廣間に通されたが、女將や女中は、昨夜の今日、しかも暮れない裡から早くも姿を見せたので、いゝお客を完全に獲得した氣になつて、下にも置かないもてなしぶりであつた。

部屋は、ちやんと支度がしてあつた。

「玉香さんから、先刻御前さまがいらつしやると云ふお電話がありましたので、ちやんと支度をしてお待ち申してゐました」

と、云ふことであつた。彼が、子爵であることを、玉香が早くも、しやべつたと見える。

「御前さま丈は、よしてくれ。そんな事を云はれると、ゾッとするんだ」

「あら、だつて御前と申し上げないと、お怒りになる方が多いんですよ」

「僕は、家でも、そんな風には云はせないんだ」

と、女將は笑ひながら云つた。

「さうですか。ぢや、みんなにさう申して置きます。玉香さんは、今電話をかけさせましたからすぐ參るでせう。今日は、御飯を召し上つていらしつたらどうですか」

「さうしてもいゝね。ぢや、なにか註文をして置いてくれ」

宴會に使ふらしい二十疊位の部屋で、床の間に翠雲の山水の畫が、かゝつてゐた。

五分も待たなかつた。階段を足音高く、かけ上るやうな音がして、今日は六時からのお約束があるためか、うすい水色の地に、水仙の模樣のある着物の裾を引いた玉香が、そのほつそりとした姿を、出入口に立てゝある屛風の陰から現はすと、そこで片手をついて、挨拶すると、ツカツカと寄つて來て子爵の坐つてゐる傍に、膝を押しつけるやうにして坐つた。

「嬉しいわ。こんなに、お約束を守つて下さるとは思はなかつたわ。私、こゝの家から電話が、かゝつたから大急ぎで、かけつけて來たのよ」

此方は、用事であるが、相手はそれを情事にしようと云ふのである。子爵は、惱まされながら

「ありがたう。そして、そのニユースつて、何だい?」

と、訊いた。

「云ふわ。今云ふけれど、これから一週間に一度宛きつと會つて下さる?」

「月に二度と云ふ約束ぢやなかつたのかい」

「月に二度なんか、いやだわ。奥さまもいらつしやらないくせに、ずるいわ」

「でも、一週間に一度なんて……」

「おいやなら、私云はないわ」

「おい、おい、僕を手古ずらせるのは、かんにんしてくれ」

「でも、貴君はずるいんですもの」

子爵は、苦笑しながら、一時逃れに

「ぢや、一週間に一度と云ふことにする」

「ほんとう?」

「うん」

「ねえ。二十年前の玉香さんならとてもきれいな方なんですつて。でもその方は、三四年前に死にましたつて」

十一日ソ聯の輕爆機 密山縣に不時着
匪賊に拉致された將校二名を奪回して嚴重取調中

【新京特電十四日發】當地某所着情報によればソ聯輕爆機一臺が十一日密山縣小興凱湖北方山中に不時着、搭乘者ソ聯軍飛行將校二名は附近の匪賊の爲に拉致されたが縣當局では事件の重大さを感知し、右飛行將校は直ちに匪賊の手より奪回し飛行機は目下縣に於て嚴重監視中である、なほ不時着の輕爆機はソ滿國境を越え滿洲國內に相當侵入してゐた事實あり搭乘將校の取調べ終了をまつて滿洲國政府では右搭乘者の處置方法と共にソ聯に嚴重なる抗議を發するはずだが右が單なる機關の故障による不時着であるか或は滿洲國內偵察の爲めの越境行爲であるか又はソ聯逃亡を企てたものか未だ不明なるもその結果は重大視されてゐる

海軍補充計畫に 水雷艇再吟味
友鶴事件重大視さる

【東京特電十四日發】水雷艇友鶴遭難事件善後のため海軍は特に尨大な委員會を組織し徹底的の調査を行ひ國民一般の懸念を一掃することとなつたが、友鶴は第一次補充計畫によつて建造されたロンドン條約制限外艦艇の一として我が海軍が久しく建造を中止した水雷艇の復活で特に我が製艦技術の最善を傾けて造つたもので完成後二十日以內にこの慘事を起したのであつて既に第一、第二補充計畫を通じて二十隻の水雷艇建造計畫の決定されてゐる際水雷艇の造艦並にその運轉方法に對して根本的再吟味を行ふ必要に迫られたものである、なほ我が海軍が斯の如く制限外艦艇を造らねばならぬ狀態にある事は例の比率主義による制限の結果であるとして比率主義撤廢、軍備平等權確立の必要が今更の如く痛感されてゐる

十三名を生存救出
引續き艇內を搜査中

【佐世保十四日發國通】十三日午後七時に入渠した友鶴の排水作業は意外に手間取り午前零時に至るも遲々として進捗せず繼續中なるが內部との信號により艇の前部四部、中部三名後部八名計十五名の生存者あることを確められるに至つたので一層救出を急ぐべく努力して居る、米內長官は今なほ現場に居殘り作業を督してゐる

【佐世保十四日發國通】十四日午前一時半排水終了、直に艦內の搜査救出に努めたが午前二時半迄に判明せるものは生存者二名、人事不省二名死亡十三名である

【佐世保十四日發國通】十四日午前五時生存者計八名、救出死體三個、收容し人事不省中の一名死亡今のところ生存救助十三名、死亡七名で引續き作業中である

生存者氏名

【佐世保十四日發國通】十四日午前五時四十五分迄に判明せる生存者は十三名で氏名左の如し

一等機關兵　小松邦一　二等水兵　上野信好　一等機關兵　石原敏之　二等水兵　松田卓爾　一等水兵　松本利惣　一等水兵　穴藤宏義　二等水兵　笠井武雄　一等機關兵　山岡證　三等兵曹　柳田捨一　二等兵曹　戶田惠　三等機關兵　川村淸八　同　高橋竹一　一等機關兵　松田俊雄

苦しさの餘り 脫出を決行
奇蹟的に三名救はる

【佐世保十三日發國通】九死に一生を得て艇內を脫出し海軍病院に收容された三名のその後の斷片的話を綜合すると遭難後三十餘時間を經過し十三日正午頃漸次呼吸困難となつたので苦しさの揚句脫出を決行し奇蹟的にも目的を達したのであるが酸素を入れ始めた時には今から考へると幾分樂な氣持であつたと

脫出者の思出

【佐世保十三日發國通】自力脫出し海軍病院に收容中の某兵の艦內に於ける手記の記憶を辿つての悲壯な言葉（これは某兵が附添の介に語つた手記の想ひ出である）沖も脫出出來やう等と夢にも思つてゐなかつたので手記は艦內に殘してあるので手記に殘した記憶の儘を申上げます、遭難當時は風雨激しく風浪高く友鶴はアッと言ふ間もなく突如沈沒した、その時大元帥陛下と帝國海軍の爲め泰然死に就く覺悟を決めた、時間を經ると食物は無く空氣の流通無く惡ガス充滿今にして生き得た事は全く神の加護と感謝してゐる、過ぎし約二晝夜を振返ると全く夢の樣な心地である

艇長以下幹部 生存望みなし

【東京十四日發國通】海軍當局では岩瀬艇長以下の幹部の生死に就いては事が訓練中に起きて居り訓練作業中は必ず艇長以下幹部將校は艦橋に在つて諸員を指揮して居る譯であるから恐らく顛覆と同時に殆ど全部激浪に浚はれてしまつたものと推定して居る

比率制限外の 高級防備艦
末次司令長官語る

【佐世保十四日發國通】末次司令長官は友鶴の遭難に就いて左の如く語る

友鶴は聯合艦隊に所屬してゐない防備艦だが、水雷艇と云つても日露戰爭當時の艇節と云はれた貧弱なものではなく驅逐艦するなどとは不思議な事だ、あの夜は海は非常な時化でこの金剛でさへ甲板上を瀧の樣な大波をかぶつた、こゝ思ふ、五百二十七噸の小艇だから國分訓練は辛かつた、と思ふ、波浪のため傾斜してそこへ橫波を受け或は窓でも破壞されたものではないかと思ふ、高級防備艦を造られねばならなくなつたのも制限のためで比率主義撤廢、軍備權の平等は當然主張すべきである

滿鐵中、小學校 敎員大異動
主なる拔擢榮轉者

滿鐵學務課では新學期に於ける附屬地中等、小學校の敎員新配置及び異動詮衡を終り十二日認可を求める爲め關東廳に提出したが、本年度の異動は確聞するところによれば老朽及び結婚等の事情により退職するもの小學校で二十八名、中等學校で十九名に上つてゐる、從つて本年は中、小學校とも未曾有の學級增加を行つたため小學校では新敎員の採用配置約六十名を含めて百名餘の異動に上り、中等學校では約四十名の異動を行はれ近來に珍しい廣範圍の異動である而して今回の異動では可成り新進拔擢の跡を見受られるが榮轉組と見做されるものは左の如き人々である

▲轉奉天中學校長寺田喜治郎（現撫順中學校長）▲轉敎育研究所長八木壽治（現奉天高女校長）▲轉奉天高女校長植村良男（現撫順高女校長）▲轉撫順高女校長大久保準一（現本社初等敎育係主任）▲鞍山高女校長小野久七（現鞍山中學校敎諭）▲轉安東高女校長畑中幸之輔（現敎研所長）▲轉本社初等敎育係主任佐藤安中敎諭▲轉撫順中學校長牧島安中敎諭

梶井軍醫部長

東京第一衞戍病院長から關東軍々醫部長に新任の陸軍々醫監梶井貞吉氏は栗田陸軍三等軍醫正を帶同十四日入港はいかる丸で來連した同氏は昭和六年十二月視察のため來滿したことあり、一泊の上十五日午前九時發はとにて赴任する豫定（寫眞は梶井軍醫部長）

表彰される 滿鐵永年勤續者
廿五年は邦人卅二名

滿鐵では四月一日の會社創立記念日に際し恒例により永年勤續社員の表彰を行ふが十五年勤續社員は日本人一四五七名、滿人六〇二名二十五年勤續社員は日本人三二名滿人五名の多數で、二十五年勤續社員中參事技師以上は京圖鐵路總局代表酒井淸兵衞氏一人である

"裏切つた妻と男を殺す" 父の遺書を持ち歸國
新京から送り返された二兒を うらる丸神戸で發見

【神戸特電十四日發】十三日神戸に入港したうらる丸の三等船室で十二、三歲の少女と少年がはしやいでゐたのを水上署員が不審に思ひ所持せる小型トランクを調べると位牌と男の頭髮を包んだ紙袋に遺書と淨書した封書があり遺書を開き種々子供に尋ねたところ、本籍名古屋市東區矢田町五ノ六現住所新京祝町二ノ一九ノ三市瀨工務所傭員林敬三氏の次女淸子（一三）さんと長男貞彥（一二）君で敬三氏は元名古屋市の水道施設工事監督であつたが、三人の妻に死別し昨年三月實兄に前記二兒を託し渡滿、前記工務所に就職知り合ひの菊地キン子を娶り子供を引取るために名古屋に歸省し再び渡滿して見るとキン子は情夫と出奔して居り敬三氏は八方搜し漸く七日居所を突止め二人を殺害し自分も子供を道連れに死なうとしたが、心飾り前記位牌と頭髮と遺書に五百圓を添へ十日大連より名古屋の實家に送つたものと解つた

兇器を持ち忍込み 發見され自殺
別れた妻は女給稼ぎ

【新京特電十四日發】林敬三は昨年五月以來新京中央通り市瀨工務所に雇はれ同所が請負つてゐる滿鐵の水道工事に從事してゐたもので妻女キン子（一九）との關係から十一日午前二時自宅において揮發油を嚥んで自殺してゐる敬三は鄕里靜岡市の水道部に勤務中同市內の某旅館の女中をしてゐたキン子と結婚して昨年五月二人で來滿、前記の所に雇はれてゐたが夫婦の間には何故か喧嘩が絕えず遂にキン子から愛想をつかされ仲に入る人もあつて女の方から六十圓の手切金を出して綺麗に別れたものである
その後女は日本橋通りの「日の本食堂」に女給としてつとめてゐたが、男はなほキン子を思ひ切ることが出來ず度々再び一緒にならうとして女を同食堂から誘ひ出さんとしてゐた、一方女は男の要求をその都度きつぱり拒絕して來たが

海上ギャング團の 身柄引渡しを交涉
駐連ドイツ領事から

國際法上の海賊ときまつてわが裁判所の手で罰せられやうとしてゐるドイツ人ウエスターマン（二七）ほか四名の強盜殺人事件は去る八日第四回公判において共同正犯との認定の下に四名死刑、一名無期懲役の極刑を求刑されたので大連駐在ドイツ領事はいよいよ本格的に身柄引渡しの外交々涉を開始する運行きとなつたが、これに對し國際法上の海賊といへども內國法を以つて處罰出來得るとの見解を持つてゐる大連地方法院の態度は國際間の注目を惹いてゐる
ドイツ領事は公判當初において松本辯護士を通じ關係官廳に對し身柄引渡しに關する內意を伺ふところあつたが、公判進行の結果被告等は極刑を求刑され、裁判所もまた內國法をもつて處罰し得るとの見解を持つてゐる以上ドイツ領事館としてはこれを默過することは出來ぬといふ日本の法律が許す範圍に於いて身柄を受取り自國法律を以つて罰したいといふにあり
ドイツ領事は近く正式辯護士を立てゝ關東廳外事課に交涉し外事課を通じ地方法院に對し身柄引渡しを懇請する段取りともなるべく、この結果法院及び檢察局の態度は注目されてゐる

前例がないから 愼重に研究する
裁判長川畑判官語る

右につき海上ギャング事件の裁判長川畑源一郎判官は語る

公判前に松本辯護士からドイツ領事の意向を伺つたことがあるが、法院が行政上の問題に關係することも出來ぬし、正式の話もなかつたので、具體的法院の意見は云はなかつた、目下のところこの事件は國際法上の海賊であるといふに落ちつきさうであり、法院はどの法律適用によつて處罰すべきかを研究中で、未だ身柄引渡しなどに就いては考へてゐない、萬一ドイツ領事から正式交涉を受けた場合、處罰し得る法律があつても身柄引渡しに應ずるか？といふのですか、それはその場合でないと申上げられないが、引渡すことも出來得ると考へてゐる、こんな事件は前例がないからその場合になつて愼重研究して見よう

滿洲國陸上軍

來る十五日より二十日間大連運動場に於いて合宿練習を行ふ滿洲國陸上競技選手一行十六名は酒井奧田兩監督に引率され十四日十六時卅分新京發で出發十五日午前七時四十分着列車で着連の上濱町大連青年會に投宿する筈

離滿の安藤中將
松山前社長も同船し けさのうすりい丸で母國へ

春の出船、昨夜來の風の名殘が惱ましいが、十四日出帆うすりい丸は春らしい色彩鮮かなところを見せ、乘客の顏觸れも多彩に、話題豐にこのシーズンのトップ飾るに應はしい情景を呈した、船は華やかなうちに別れの悅しさを常に持つてゐる、永い間の滿洲生活から離れて母國に歸る人々、まづ滿洲事變以來旅順要塞司令官として旅大官民から慕はれてゐた安藤紀三郎中將、陸軍關係をはじめ官民多數の見送りを受け「絕大な市民各位の厚意を感謝する」と別れの言葉を殘しての凱旋行……同じく事變前より本社前社長として筆の力で活躍した松山忠二郎氏夫妻、共に別れの挨拶に名殘がこめられ思ひなしか淋しい
その他知名士としては海軍軍縮全權としてジュネーブで活躍した長谷川淸中將、滿洲國の健全な發達ぶりに滿足し切つて離滿こちらの人では豆信の田村羊三氏が商況視察に上京、ジャパンツーリストビウロー事業主任の片岡春隆氏は來る二十二日東京本部で開かれる理事會に出席本年度の旅客シーズンの內地側の情勢視察の目的で約三週間の豫定で內地へ、御婦人客では八田副總裁夫人等、この日の待合所は恐ろしい人の出をみた【寫眞は乘船する安藤中將】

十八日から 店開き
大連の豆タク

滿洲內燃機株式會社の豆タクは旣に市內各主要地點約三十個に駐車場ホールを設け近く完成するが、一方目下使用車の試運轉中で、三月一日開業の豫定を變更し愈々來る十八日華々しく市民の前にデビユーすることになつた、尙ほ十五日には午前十時より遼東ホテルで創立總會を開催する筈

桃色公判で共鳴
奉天丸で逃避行發見

十二日出帆奉天丸で僞名乘船の不審の男があるので水上署に連行取調べると懷中に八圓餘の外に紙の中に二百十六圓の現金をかくしてゐたが自供により市內某社員黑井三郎（二七）＝假名＝といひ豫てより知人の市內美濃町春田彌雄＝假名＝方に止宿中同氏妻女某と勝美事件第一回公判以來通じ不倫の愛慾生活を續けてゐたが
日と共に良心的苛責にさいなまれ遂に逃げ出さうと考へたが何分旅費もなく悶々の日を過ごしてゐる內同人勤務先の出版長植田十三氏＝假名＝が非常な信仰家であるのにつけこみ熱河で死んだ父親の墓を是非たてゝやりたいと訴へ三百圓をせしめ尻に帆かけて、はい左樣ならをしやうとした處を船內臨檢の署員に捕へられたが關係者示談の上やつと無罪放免された

明日の公判で 勝美に求刑
實母證人申請は取止

博士夫人の無軌道戀愛が生んだ殺人事件はいよいよラスト・シーンに入り十五日午前九時から開廷される公判で中園秀雄、藤森勝美の兩者に對し高井檢察官の論告、求刑あり引續いて辯護士側の辯論が行はれる豫定で檢察官の求刑決定は一般の注目を惹いてゐるのみでなく、法曹界でも兒玉博士を不起訴した檢察官が勝美に如何なる論告と求刑をなすかといふ法的理論を中心として非常な興味をかけてゐる
高井檢察官は數日前から專ら論告文の作成に沒頭し求刑量定に就いては下田檢察官長、池內主席檢察官等と協議を進めつゝあるが大體左の如き求刑が行はれるものと見られてゐる
無期懲役　中園秀雄（二六）
懲役三月　藤森勝美（二〇）
なほ勝美の求刑に對しては執行猶豫の意見を附する模樣である
更に當日公判廷にははるばる信州長野縣から訪れて來た勝美の實母藤森靜（六四）さんが辯護人の申請で證人に立つ筈であつたが愛しい娘の罪劫に泣き崩れてゐる老母を法廷に立せることは氣の毒であるといふ辯護人側の同情から證人申請を行はぬことに決定した

在滿中等校出 滿鐵入社試驗

在滿中學および商業學校の滿鐵入社試驗は十五日午前八時より協和會館において行はれ同日は作文および適性試驗を、翌十六日は口頭試問を行ふ筈
なほ今年度の志望者は百八十五名で試驗期日がおくれたので滿洲國その他に採用に決定したものが相當あるため例年より一帶に在學成績に劣る模樣で從つて採用者も昨年度より多少減ずるものと見られてゐる

記事訂正　三月十三日附夕刊中等校陸上界の新進選手の入社記事中の諸選手は滿鐵入社內定ではなく希望者である

白衣の勇士
十六日に凱旋

白衣の勇士坪倉隆藏軍曹外三名は十四日午前十時五十五分着列車で旅順より來連、多數市民の出迎へを受け直に大江町衞戍分院に入つた、尙十六日午前十一時出帆の熙國丸にて傷病兵八十五名は白衣の凱旋をすることになつた

〃日滿音頭〃發表　日本ビクター蓄音器會社では勝太郎、三島の共同吹込で日滿音頭のレコードを近日發賣する

天氣予報

北西の風晴一時曇　十五日

各地溫度（十四日）

地名	午前五時	午前十一時
大連	零下四	零下一
旅順	同二	零度
營口	同八	零下一
奉天	同一三	同六
新京	同一一	同四
新義州	同七	同三

今日の小洋相場（十一時半）　金百圓につき百十六圓六十五錢

御挨拶

本日離滿に際し重ねて在滿同胞諸君の從來の御厚情を深謝仕候生憎く出發前風邪に罹り候爲め新京、奉天其他奧地へは御挨拶にも參上せず又當大連に於ては各方面より屢々送別會等の御寵招を蒙り候にも拘らず總て拜辭し折角の御厚意に背き候事は誠に申譯無之且つ遺憾至極に存奉候、平に御海容願上候、最後に諸君の御健康と御多幸とを祈上候

三月十四日

東京市品川區大井鹿島町三一〇六　松山忠二郎

御通知

來る三月二十四日午前十時より關東廳會議室に於て本會第十六回定期總會を開催致候條御參集相成度此段御通知申上候

昭和九年三月十二日

滿洲結核豫防會

會員各位

會葬御禮　山縣庄太郎

新講談

丹下左膳 (45)

林不忘作　小田富彌畫

火吹紅竹（六）

いつまで經つても、少女を感動させるやうな名文は、出來さうもありません。

すつかりくさつた左膳、髮の中へ指を突つこんで、ガリ／＼掻くと雲脂が飛ぶ。

竹になりたや紫竹だけ、元は尺八中は笛、末はそもじの筆の軸…思ひまゐらせ候かしく。

さいひたいところだが、これぢやア義理にも、そんな艶ッぽい場面とは言へない。

ましてや。

筆とりて、心のたけを杜若、色よい返事を待乳山、あやめも知れぬ水莖の、あとに殘せし濃むらさき。

なんてエのは、望むはうが無理て、色よい返事を待乳山――どころぢやアない。そのまつち山から先づ夜が明けさうです。

左膳らしい戀文。ブッキラ棒で片や土橋式松竹フオーン、片やウエスタンシステムに、千惠藏本格的トーキー（家庭システム）を加へてゐる。卽ち

からない。

ひとり飮みこみで、何が何だかわ

唐突ながら――と冒頭に自分でも斷つてるとほり、いかにも唐突。

これを受け取つた萩乃さんは、どんなにおどろくことでせう。二度讀みかへして、噴飯してしまはなければいゝが。

たのしみにしてお待ちあれ……ナンテ、冗談ぢやない、誰が樂しみにするもんか。

だが、左膳は大得意。

「うむ、われながら會心の出來だテ」

と、聲に出して言ひました。

そして、この手紙を見て、萩乃が胸を轟かすであらう場面を想像して、左膳の胸もときめき、また思はず赤くなつた。ほんとに、可愛いところのある左膳、一生けん

めいに書いたんですもの。

しかし、これで見ると左膳は、その柳生の埋寶を掘り出した上で、そいつをそのまゝ抱へて司馬道場へ、入り婿に乘り込む氣とみえる。ますます／＼もつて容易ならぬ考へを起したものだ。

けれども。

さうなると、あの伊賀の暴れン坊、柳生源三郎との正面衝突は、先づ、免れぬところ……さつき萩乃の部屋の押入れの中で、ソッと聞けば、源三郎は最早や故きものださいつたが――事實か？

左膳、源三郎を思ひ出して、その生死を案じわづらひ、急にあわて出した。

「死んだ男から、女を奪るなんてエのは嫌だなア。おい！源三！、おれがブッタ斬るまで、頼むから生きてゝ吳れよ」

と、胸のなかで大聲に……。

じつさい。

『室内のごこやらに、白つぽい氣が漂ひ初めて、今にも牛乳屋の車がガラ／＼通りさう、お江戸は今享保何年かの三月十五日の朝を迎へようとしてゐる。

卷紙を白眼む左膳の眼つたら、まさに非常時そのものです。

たうとう、書いた。

「萩乃殿――唐突ながら、忘れればこそ思ひ出さず候……」

こいつは何處かで見たやうな文句だ。ちよいと借用したんです。

「可愛い可愛いと啼く明け烏に候」

これは自分ながら上出來だと、左膳、ニヤ／＼したものだ。

「鳴く蟲よりも、もの言はぬ螢がズンと身を焦し候。さて、小生こと明日出發、歸府の上、埋藏金を掘りに參る所存、歸府の上、その財産をそつくり持參金として、おん身の許へ押かけるべく候。たのしみにしてお待ちあれ。頓首々々」

これだけの文句です。アッサリしたもの。しかし何うも呆れたものだ。支離滅裂……右の腕も右の眼もなく、隙だらけのところは、爭はれないもので、はなはだ筆の主左膳に似てゐると申さなければ

松竹と日活 發聲映畫戰 花の四月に

春の映畫シーズンを迎へて各映畫會社は一段と活氣づいてゐるが四月には松竹と日活が近來にないト…

●第一週――は日活伊藤大輔、大河内傳次郎、極め付の「丹下左膳」（劍戟篇）が日活系及び日比谷映畫劇場に封切られ、松竹は下加茂衣笠貞之助監督、阪東好太郎主演「冬木心中」と蒲田野村浩將監督及川道子主演「夢みる頃」の東西トーキー併立興行で對陣しようといふ

●第二週――は兩社の「さくら音頭」トーキー競映戰で、これまた絶好の取組にファンを熱狂させるだらう

●第三週――にはいよ／＼片岡千惠藏のトーキー「直八こども旅」が出る、松竹は栗島すみ子の第二トーキー「日本女性の歌」か林長二郎、水久保澄子初顔合せの「月形半平太」を封切るプランである

所長を置かぬ 日活兩撮影所

日活現代劇部東京移轉及び重役更迭に伴ひ京都撮影所長甲斐庸生氏は辭任と決定、東京多摩川撮影所も京都も、今後所長を置かず中谷社長が一切これを統轄する事になつた、尙ほ甲斐氏は撮影所顧問辯護士を囑託され日活との關係を持續すると

兒童慰安映畫

滿鐵社會係の第五十四回兒童慰安巡回映畫は十三日の大房身を振り出しに十四日金州、十五日城子疃、十六日貔子窩、十七日周水、十八日普蘭店、二十二日旅順から州外に出て鄭家屯、チチハル、ハルビンを經て最後に安奉線を廻り五月二十一日歸連の筈

一樹會演能會

一樹會の春季演能會は來る二十一日（春季皇靈祭）午前正九時より大連羽衣高等女學校にて開催、入場隨意、番組左の如し

▲能　竹生島（寶生、白水久吉）實盛（寶生、森川莊吉）草紙洗小町（觀世、比企哲夫）是界（寶生、片桐敏博）

▲囃子　高砂（觀）西王母（寶）鞍馬（寶）さもろ（觀）雲林院（寶）安宅（觀）三山（寶）櫻川（觀）芦刈（寶）海人（寶）

▲狂言　昆布柿　吹取　宗八

うわさ話

日活館では「春の映畫案内」といふ美しいパンフレットを作つてファンに贈呈▲内容は「狂亂のモンテカルロ」「ボートの8人娘」「會議は踊る」「ヒットラー靑年」「SOS氷山」の洋畫を宣傳▲常盤座は二十日過ぎにパ社の特作品「或る日曜日の午後」「ゆりかごの唄」「妾は天使じやない」の三本の中一本を上映▲奉天の洋畫系統は大體メトロが新富座、ウファが奉天館、パラマウントが平安座となるらしく▲既に内定してゐるものは新富座に「今日限りの命」と「キートンの麥酒王」▲平安座に「無敵タルザン」それにSOS氷山」が交渉中で「ブダペストの動物園」は奉天館▲またメトロの大連封切は「紅塵」「極東兵隊」「ホワイトシスター」を豫定して

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

赤機の不時着陸

滿洲國嚴重に抗議

不法の越境行動に不快感

我軍部當局の見解

【東京十四日發國通】蘇聯邦飛行機の滿洲國內の不時着陸について陸軍當局は左の如き意向を有してゐる

ソ聯飛行機が從來から滿洲國領土上空に度々侵入して來た事は今回の不時着陸によつて之が單なる噂でなく事實である事が明かにされたわけである、このソ聯飛行機の不法領土侵入に對しては滿洲國政府は當然ソ聯政府に對し嚴重抗議するは勿論であつて滿洲國の國土防衛に共同責任を有する我陸軍としてもこのソ聯飛行機の度重なる下法行爲には不快の感を抱かざるを得ない、併しソ聯は現在何等交戰狀態にあるのではなく親善なる國交を保つてゐるのだから不時着陸した飛行機並に搭乘者には保護を加へてゐるが滿洲國政府の抗議に對しソ聯が如何なる態度に出るかを見極めて處置するが、誠意ある態度をもつて搭乘者並に飛行機は歸還せしめる事になるであらう

貴族院本會議

九年度總豫算案上程

【東京十四日發國通】貴族院本會議々事夕刊つゞき——質疑のため

三上參次君(無)登壇

私の質問要旨は今日の高等教育から普通教育に至るまでもう少し日本人らしい教育をして頂きたいの一言に盡きる、現在の教育は要するに外國教育方針の直譯に過ぎず、中等學校科目の三分の一は外國語修得に當てられてゐる、私は飽迄外國語修得の必要を認めるがさりとて外國語一點張りの教育は日本人たる事を教へるに足らない憾みがあることも認めればならぬ

さて國民的精神教育の缺如を指摘し、我國の教育制度沿革を論じ外國語修得の時間を減ずれば世界大勢に遅れぬかと心配があるが政府は有力な飜譯機關を設置し新智識輸入に努むればよいと提唱し文相の教育根本方針に對する所信を質して降壇すれば

齋藤兼攝文相

御說には全く同感である政府も日本精神作興に努める考へで外國語科目の整理については目下教育調査會で愼重調査中だから何れ成案を御目にかけたいと思ふ、飜譯機關設置は經費多大で早急實現は期し得ない

と簡單に答へ午後零時二十七分休憩

再開

【東京十四日發國通】貴族院本會議は午後一時五十四分再開總豫算案に對する討議に入り贊成意見陳述のため

長岡隆一郎君(交友)登壇

私は本豫算案に對し贊成するものである、併しその內には幾多の不滿をも持ち乍ら已むを得ず贊成する次第であるけれども現內閣は現下の國政を擔當する能力ありとは考へられぬ、本豫算案にしても何等統一せる政策なく只數字の羅列に過ぎぬ

と結んで降壇、次いで

菅原通敬君(同成)登壇

さて農村對策の不統一と無爲無策を痛撃した後豫算案に轉じ

本豫算案中には重大な國防費が含まれてゐる、東洋平和維持のために是非共必要缺くべからざるものだから此の意味で本豫算成立を希望する次第である、他の幾多の諸政策には不滿あるもこの豫算には多分の緊急なる國防費を含むのである、これ敢へて贊成を表する所以である

獨より軍需品

購入總額一億元

ゼークト將軍渡支

【南京十四日發國通】ベルリンよりの情報に依れば蔣介石の最高軍事顧問として支那軍改革に當る筈のハンス・フオン・ゼークト將軍は六日ベルリンを出發渡支の途に上つたと

尚は目下渡歐中の廣東砲兵工廠長はベルリンに於いて兵器製作專門の技術家數名を招聘する契約をなし且つ兵器製作に必要なる多數の新式機械及兵器軍需品を購入したと右價格は明瞭でないが約一億元に上ると云はれる

南昌會議

【南京十四日發國通】蔣介石は剿匪善後及軍政整理辦法考究のため重要協議を行ふことゝなり在南京要人の參集を求めて自家用飛行機を以て傳へ來つたので汪精衛、戴天仇、孫科、孔祥熙の四氏は今朝南京發南昌に急行した

中南米向け輸出組合

設立に決定

【東京十四日發國通】中南米の片貿易調整を目的に商工省の斡旋で輸入組合を設け輸出組合が輸入組合に補償金を交附し同市場よりの輸入を增加しその反面輸出增進を企圖してゐたが、補助金交附は往航路運賃を値上げし之を復航路運賃に割當てる形をとる事に意見一致を見先づ輸出組合を創設する事になつた

チモール島賣却說は虚傳

葡公使館否定

【東京十四日發國通】十一日附ロンドンのサンデイ・デスパッチ紙の報道としてポルトガル政府は東印度諸島中のチモール島東半部のポルトガル領を英國に買却する意圖を有つてゐる旨傳へられたが十三日駐日ポルトガル公使館では右は全然虚報であり何等の根據もないと公式に否定した

安藤前司令官

送別會開く

十三日夜遼東ホテル

前旅順要塞司令官安藤中將並に飯野步兵中佐の送別會は十三日午後六時三十分から遼東ホテルで開催、小川市長を始め森本法院長、岩井少將、高田商議會頭、御影池民政署長、山西、山崎滿鐵理事高柳中將、大內市議長、張本政市商會長、高屋少將、大連、滿日新聞社長以下約百二十名の知名士列席酒間餘興數番あり盛會裡に午後八時二十分閉會した

開宴に先立ち小川市長は

安藤司令官には一昨年事變直後御來任になり、以來滿洲の關門たる大連で防空設備の不完全なるに鑑みその立案をされ、市民として非常に感謝してゐる次第ですが、その案を立てる前に公私共にお世話になつた閣下とお別れせなければならないことは悲しみに堪へない

と挨拶後乾杯、續いて安藤中將は左の如く謝辭を述べた

在任約一ケ年中各位より數々の御懇情を賜はり乍ら充分義務を果さず歸還することは恐縮に堪へない、種々の都合で在任中の御禮を申上げるべき筈のところ却て斯る盛大な御宴會を開いて下さいまして在職最後を飾るものとして感謝する、日露戰役當時奉天の戰ひに重傷を負ひ死を覺悟してゐた處、再び生を得て爾來約三十年間軍人として御奉公しこの三月五日現職を退いたが、任地旅順が幾多同僚が最期をとげし聖地なるに拘はらず一人間として餘生を得た安藤は洋々たる前途を感じてゐます、大連市は事變以來日滿兩軍の上に精神的物質的に援助を與へられ不肖も市の功績の一部を分け與へられ感謝してゐる日、滿、支三國の提携を持つて東洋平和確立を期するためには大連市は重大な使命を持つてゐる、而してその市において遺骨送還、出征凱旋兵のために盡された努力は國民精神を作興するのみならず隣邦支那に對しても無限の力を持つて働きかけたと信じてゐる大連市の重要性はひとり經濟貿易等にとゞまらず、防空設備に關しても關心を持つべきで、これに關しては軍部の力の及ばざる點は市民の力を望むこと切なるものが有る、將來これが完成を見たならば單に自分の希望が達成さるゝのみならず當市の生命が永遠性を持つことゝならう內地でも本年の六月には大連市を中心として旅順要塞其他で防空演習實施の計畫あり、後任司令官の着任と共にその準備が進められやう、その節には是非とも各位の御後援を切望する(寫眞は送別會、中央○印が安藤前司令官)

國民の負擔增せば軍擴停止は必定

神經質的な論議は控ふべし

外相、競爭否認を說く

【東京十三日發國通】衆議院の昭和七年度第一豫備金支出委員會で廣田外相は左の表明を爲した

最近列國は軍備計畫擴張の傾向である、物は極まで行くと必ず轉換するものである軍備擴張が國民に負はせる負擔增大せば漸次列國に軍備競爭停止の機運が生ずるのは必定である一九三五年の海軍會議は其の點で期待し得るものである、米國の百二隻建艦計畫は今すぐに建艦せんとするものでない、大統領は臨時建艦の權能を得たので國際情勢が平和的ならば緩和すべく神經質的論議は控ふべし、日英兩國は平和關係の相互諒解で進み來た故シンガポール軍港問題にも疑惑無用だ、東亞の平和が確立せば自然解消せん、異議申立てる意思はない

畏し聖上陛下

陣太刀を御佩用

サーベル式廢止で

從來の陸軍々刀は陸軍改正案通り洋式のサーベルを廢し昔の陣太刀式に改まり、畏くも聖上陛下に於かせられても右陣太刀を御佩用あらせられる事となり十日陸軍記念日から聖上陛下には初御佩用靖國神社の祝賀會場に行幸遊ばされた、陛下御佩用の御軍刀は日本鍛錬會で謹作され御外裝は新橋話屋事小松崎茂助氏方で謹調されたもので、御はゞきは菊御紋章の肉合彫刻、御目貫は菊御紋章の三双(臣下は櫻の三双)御刀緒は紺平打三分巾表茶色、裏古代紫に金糸の織交ぜ總金モールの御見事なものである【寫眞は其の御軍刀】

米穀移入調節法案

衆議院本會議(十三日)

鳩山一郎君(政)一議員として初めて登院、議員の誰れ彼に取圍まれて大臣席を見入つてゐる

【東京十三日發國通】十三日の衆議院本會議は午後一時十五分開會議長から大阪府選出議員喜多孝治君(政)死去を報告し、勝田永吉君(民)の動議で院議を以て弔辭を呈するに決し議長起草の弔辭を可決、日程を變更して

一、輸出生糸販賣統制法案(政府提出)

を議題とし、農相提案理由を說明斯くて質疑のため

近藤壽市郎君(政) 本法案では糸價安定を期し得るか又養蠶家を救濟出來ると思ふか

後藤農相 完全とは思はぬが漸次研究の上方策を講ずる

三宅磐君(民)は生糸生產費の低落を期し人絹と競爭せしむべしと強調し農相これに答へて

生糸が安くなり人絹と競爭出來るやうになることは必要だが早急には實行困難ですべての方面から考慮したいと思ふ

次いで田谷義治君(國同)強力な統制法實施を強調し最後に生糸の國營をやる意思はないかと質せば農相輕く順を逐うて理想の實現を期すと答へ、かくて十八名の委員附託

一、河川法中改正法律案(政府提出)

を上程、松實委員長の委員會經過結果の報告ありその通り可決

一、司法保護法案(小林錡君外六名提出)

山本委員長の委員會經過結果を報告その通り可決

一、衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)

一、傳染病豫防法中改正法律案(中井一夫君外五名提出)

守屋委員長の委員會經過結果を報告その通り可決

一、營業收益稅法中改正法律案(小林錡君外二名提出)

一、蠶糸法案(山道襄一君外三名提出)

をそれ〴〵委員長報告通り可決

一、臨時米穀移入調節法案

一、政府所有米處理法案

の政府提出二案を一括上程、後藤農相提案理由說明質疑に入り三善信房君(政)臺鮮米特別會計法に關し首相の食言を詰り米穀應急對策としては外地米の移入統制より外ないと力說し縷々農村對策を說き恒久策樹立を勸說すれば農相、拓相之に答へ次いで河野一郎、高田耘平兩君はそれ〴〵本問題に關し農、拓兩相と質疑應答し田谷義治君も同樣質問を繰返し二十七名の委員附託となり次いで

一、軍民一致に關する質問(宮脇長吉君提出)

を議題とし宮脇君先づ在鄕軍人非難問題につき釋明し在鄕軍人會を政治的に利用せぬことに關し林陸相に質問し陸相は在鄕軍人會は政治的に活動してならぬものと明瞭に答辯す、此の時工藤鐵男君も鄕軍の政治的活動取締を希望し陸相堀田海軍次官夫々取締る旨を答へ午後六時十七分散會

朝鮮產木材の滿洲輸入禁止

民政黨質問趣意書を衆議院に提出

【東京特電十三日發】朝鮮產木材の滿洲國輸出禁止に關する質問趣意書が民政黨の中村不二男氏外三十餘名に依つて衆議院に提出された、其の要旨は左の通り

昨年滿洲國の木材不足によりて朝鮮總督府營林署より製材二十五萬石及び民間の原木二十五萬石を供給した所其の後營林署は突然九年度民間出材の滿洲向け輸出を禁止したのは如何なる理由に依るか此の措置は滿鮮の通商關係を阻害し民業を壓迫するもので日滿木材統制の上からも惡影響を及ぼすものである、現に此のために滿洲國營口では露西亞材、米材を主とする製材工場の建設を見つゝあるが如きは我が國策に反するものであるから政府は速かに此の輸出を解禁する必要がある

等級別にて年金下賜

四月一日から

【東京十三日發國通】戰爭や事變の犧牲者たる傷痍軍人はこれまで一時賜金が下賜されたゞけだつたが四月一日から第一款傷から病氣の症狀四款傷までに終身年金を下附することゝなつた、戰鬪における第一款傷中准士官は三百十二圓兵は二百六十圓、第四款傷中准士官は百五十六圓、兵は百三十圓、普通公務上の第一款傷中准士官は二百五十二圓、兵は二百十圓、第四款傷中准士官は百卌二圓、兵は百十圓の割合、第二款傷、第三款傷はそれに準じ決定する

胡氏の軟化說を否定

【香港十三日發國通】胡漢民の反南京態度緩和說は延いて西南政權從來の獨自の立場を搖がす大問題として異常の注目をひいたが右は全く南京側の宣傳にして胡漢民側近者は胡漢民が南京側の入京勸告を受けたことは事實だが中央が胡漢民の對外意見と民治に對する意見を無視し只この儘徒らに西南政權を接收せんとするだけでは斷じて入京することはないと語りこの軟化說が中央の宣傳なることを[illegible]書してゐる

ドルゴフ氏

【ハルビン十四日發國通】ロシア商工會長ドルゴフ氏は新京に向つた

議會風景

【東京特電十三日發】會期も切迫してゐるに拘らず政府案の審議が停頓し政府は氣が氣でないところへ衆議院は議員のお土產案が堆積し議員はこの方が先決問題といはぬばかりに力んでゐるので議事を按配する議長の苦心は大抵ではない◆それで各派交涉のうへ質問演說は二十分以內とすることゝ、臨時本會議を開いて議事を進めることを申合せた◆明鏡止水の一語を殘して大臣を辭めた鳩山氏はこの日久し振りに登院し政友會の議席に坐つて幹部連と談笑しながら先頃までの同僚後藤農相が蠶糸問題でいぢめられてゐるのを感慨無量の態で見てゐた◆水雷艇遭難事件で海相が沈痛な報告をしたに對し、海軍通の內田信也君と高橋少將が專門的な質問を行つて緊張せしめた◆次いで國同の加藤鯛一氏が遭難に關聯してピストル、銃器取締りに就て政府に警告すると山本內相極くノンビリした調子で七年中に密輸入沒收ピストル一萬八千餘、彈丸二十七萬餘發だと頗る物騒な報告をした◆この日は蠶糸問題と米穀問題で頗る入念の質問が行はれたがビラ撒き事件もありこの分では何が飛び出すかと議場を不安に陷いれた模樣である

社說

支那對日態度の表裏

南京政府の對日政策は一定してゐる。それは親日とまではいかないが、兎も角抗日態度を執らず、滿洲國に對しては成る可く觸るゝを避けんとするにある。それが徹底的のものであるかどうかは知らぬが、現在の政策がそこにあることは各種の消息によつて察せられる。我有吉公使と蔣介石氏との會見の模樣によりても推ぜられる。その本意は今露骨な抗日態度を執れば、國內の情況も益々紛糾して收拾し難きに至るを恐るゝからである。それよりも現在の支那の急務は內部の統一にあるとの主旨である。先づ共產黨を倒すのが國家保持上の先決的急務であると考へるのであるが、これは同時に南京政府保持の爲めにも必要であると考へるのである。更に共產黨のみでなく、各種の反蔣勢力を先づ以て抑制することが自己保存の爲めに第一要件であると爲すのである。

◇

行政院長兼外交部長汪精衛氏は、曩に西南政府と黨部と聯携せる滿洲國帝政反對通電に對して、此通電が對內的のものならよいが、對外通牒を意味するならば國家の統一上弊害がある、宜しく政府の對外方針を尊重すべしと通告してゐる。その前にも、汪院長は、改めて滿洲國の帝政反對を日本其他の諸外國に通牒する必要はないと聲明してゐる。その理由と爲す所は、既に滿洲國の獨立を認めてゐないのだから、今更帝政反對を唱へる必要はないといふのだ。理論上正確であると同時に、內實には、抗日態度を執らないといふ對日政策の方針を徹底的ならしめんとするものである。

◇

併しながら、西南派その他の反南京政府派乃至反蔣派にありては、これを以て軟弱外交、非愛國態度であるとして攻擊の材料にする。此の政府攻擊者の中には、大局に疎くして南京政府の對日策を否認するものと、その適當なるを知りながら、只反對してこれを苦しめんが爲めに反對するものとある。實際に於ては政略的に南京政府の對日策を非議する者が多く、これに雷同する賠々者が亦甚だ多い。それらの處置に就きて南京政府は困つてゐる實情である。

◇

此の故に、汪行政院長は曾つても、南京政府は滿洲國が帝政になつてもその否認の態度を改めるものでないと云つて、滿洲國乃至皇帝に對して惡罵に近き談話を發表してゐる。のみならず、滿洲國の國政に參與する中國人を叛逆者として懲罰すべき旨を各機關に命令したと傳へられる。しかも、支那人にして滿洲國に對し擾亂を圖らんとするものあらば嚴重に之れを處罰すべしとも通告してゐる。南京政府の苦しき立場が察せられる。

◇

兎も角も、南京政府が抗日態度を露骨にしないやうに取締つた爲めに、最近の邦貨の上海輸入は著しく增加したが、一方では、張學良氏が漢口に三省剿匪司令部を設けてから、更に長江沿岸に日貨排斥熱が起つた。親の心子知らずといふべきでもあらうが、必ずしもさうでもない。本心か對內的方便かは知らないが、蔣汪二氏は元來長期抗日を稱へて、國力の足らぬ間は雌伏すべしと誡しめてゐるのみならず滿洲國否認を反復聲明し、陸海空の軍備の整頓充實に努力してゐる。眞僞は不明だが藍衣社の滿洲國要人に對する良からぬ策謀もあるとすら傳へられる。此故を以て抗日を以て矢張り愛國行爲なりと自認し、抗日行爲は蔣汪二氏の本心と必しも背反しないと思惟する向もあるかも知れない。

◇

要するに、南京政府の對日態度には日本に對しても表裏あり國內に對しても表裏があると見るべきである。又反蔣派の對日態度にも亦表裏あり、その對南京態度にも表裏があると見るべきである。畢竟國際關係の事は裏に裏あるは當然の事と見て、裏の事は裏にて考慮す可く、表面の事をわざ〳〵表面に持つて來る必要はない。我邦としては表面だけでも、彼の政府が理解的態度を執つて來たのをよい機會として、その理解を漸次裏面にも及ぼすやうに利導すべきである。それには此頃計畫されつゝある經濟的提携などもよく、彼國人間の日語日文流行による日本文化吸收慾望を援助するもよい。而して吾人の切に望む所は、支那の有力階級が、表面的政治的でなく、眞實に日本を理解して、東洋和平の大局に着眼するに至らんことである。

滿洲產業銀行設立 要望の聲民間に起る
奉天地委、期成委員會

【奉天特電十四日發】十三日の地方委員聯合會において可決された滿洲產業銀行設立要望に關する件は特別委員を定め十四日午前九時より溫泉クラブにおいて審議されたがその結果滿洲產業銀行設立委員會を設け委員長に宮川氏を推しその他委員を定め定款その他の草案を決定し軍部並に各要路に申請することゝなつた、右銀行は資本金五千萬圓にて實現の曉は滿洲國における金融上貢献するところ大なるものとして期待されてゐる

縣參事官會議
來る廿三日から新京で開く

【新京特電十四日發】滿洲國においては兼て地方行政制度整備のため各部に命じて調査研究を行はしめてゐるが、君主制樹立と共に產業振興、地方行政などの諸政策を着々實行に移すべく、直接地方行政實施の衝に當つてゐる縣參事官の意見を徵して具體案を作成し、地方行政整備に資するため來る三月二十三日より三日間新京において縣參事官會議を開くことになつたが、同會議においては君主制樹立に伴ふ地方國民の精神作興並びに地方財政、農村經濟、縣財政、交通衞生、その他地方行政の指導監督等の地方行政全般に亙り論議研究が行はれ、滿洲國今後の最大政治工作たる地方行政に多大の効果を擧げるものと期待されてゐる

西尾參謀長着奉（夕刊參看）

奉天靖安軍
將校訓練開始

【奉天特電十四日發】奉天の靖安軍は十三日去る五日皇帝より賜つた軍人への勅諭並に御下賜金の莊嚴なる傳達式を擧行したがこれに感激した全軍は忠誠を誓ひ一層奮勵することゝなつたが、十五日より美崎參謀長を中心として將校の訓練を開始この月末には第一回の觀兵式を擧行する筈で名實ともに新滿洲國精兵としての向上に力めてゐる

訪日答禮使

【新京特電十四日發】訪日答禮使一行は二十一日はとで新京發大連經由赴日することゝなつた一行は左の如し

赴日本國修聘特使 國務總理大臣 鄭孝胥
同上財政部大臣 熙洽
隨員總務廳次長 阪谷希一
國務總理秘書官 鄭禹
同 上 白井康
總務廳秘書官 羅潛
外交部理事官總務司長 朱之正
財政部理事官總務司長 星野直樹
同上事務官 胡宋瀛
吉林省公署參事官 趙汝楳
同上秘書官 羅振邦

なほ隨員は右の外事務官囑官など約十名が加はるはず

菱刈全權設宴

【新京特電十四日發】菱刈大使は十四日午後七時半ヤマトホテルに赴日本國修聘特使として二十一日赴日することになつた鄭總理、熙洽財政部大臣以下隨員一同を招待し送別宴を催した

ヤツと掘り當てた『井戸掘り外交』
桑島亞細亞局長の持論實現
山西省から機械人夫の註文

【東京十四日發國通】外務省の桑島亞細亞局長は天津時代から對支外交は井戸掘外交でなくてはいかんといふ持論だつた、それは「支那は何處へ行つても用水に惱んでゐるから、日本の優秀技術で各地に井戸を掘つてやれば、支那の民衆は非常に好感を持つに決まつてゐる」といふのであつた、ところが最近山西省自動車製造廠技師の仇慕淳といふ人が中央滿蒙協會の星野理事を訪れ山西省一帶の酷い旱魃被害を述べ灌漑用水井戸を掘るためポンプ機械と井戸掘人夫の周旋方を依賴して來た、星野理事は十三日外務省を訪れ此の話をしたので桑島局長はすつかり乘り氣になつて愈々僕の持論が實現されたわけだと大いに喜び此の機會に人夫の一隊を支那へ派遣し井戸掘外交の實現を期さうと大變な意氣込みである

フォードの賃銀一日五弗
二年ぶりで一弗增

【デトロイト十三日發國通】フォード自動車會社は本日同社の總ての從業員約十萬人に對する最低賃銀を一日五弗に引上げる旨發表した、因にフォード會社の一日最低賃銀は一九二九年には一時七弗に上り高賃銀の牙城を誇つてゐたが一九三一年十月先づ六弗に又一九三二年十月初めより更に四弗に引下げられてゐたが今回之を五弗に增加したのである

文化協會の活動
諸般の改革を斷行し
九年度から積極的に

永年滿洲の文化發展のため努力をつゞけて來た滿洲文化協會では滿洲國の帝制實施と共にます〳〵その使命の重大さを加へて來たが、この際同協會としては新規時直しの意氣込で以て更に積極的な活動に入ることゝなり、その前提として同協會の基礎を確實にする必要から寄々協議中のところ、先づこの際同協會の負債整理を斷行すると共に事業の合理化を圖り同協會として獨立經營を行ひ得る方針の下に諸般の改革を斷行することに決定、こゝに同協會も昭和九年度からその內容、外部的活動共に面目を一新使命遂行に努力すべく一般から期待されるに至つた

近視眼と漢字
オヌマ生

八相　五行以內十字詰　中傷はさらず　投書歡迎

◇過日の滿日紙上で、受驗小學生間に近視眼が多いので、當局及び父兄に對する一大關心を促された。眼科學の權威船川博士も明示された原因は吾等の良き指針であるが、私はここにもう一つ大きな原因を指摘して見たい

◇日本の小學生が一年から二年、三年と進むに隨ひ、また小學から中學、專門校と上級に進む程近視眼が累加してゆくのは確に後天性であることを立證すると同時に、日本の漢字制が直接原因となつてゐることも見逃せぬ事實である。

◇ある字劃の複雜な漢字！これを讀む方面から考へるときは、小學四五年生の日常食り讀む雜誌讀物などを一見しても、その漢字活字の大きさが、九ポイント乃至、七半ポイント、それにルビ付といふ驚くべき最小字の、しかもクシヤ〳〵の印刷だ（同一の大きさでもローマ字や、カナは決して斯んなものではない）所謂日本の漢字制ほど繁雜極まる制度は何處の社會を見ても類例がない。

◇これを讀むだけでさへ眼の爲めにどれだけ害を及ぼすか知れぬのに、あの筆劃の多い漢字を纖細なペン先で克明に筆記させられるに至つて悲慘極まりといふべしだ、小學より中學、專門校と、其程度がだん〳〵ヒドクなる、そして細字になる。勢ひ眼の距離は短縮される、鬱血もする、加ふるに室內の不足な光線、不完全な照明が手傳つて否應なしに近視眼の製造となる。

◇この近視眼問題は獨り大連に限つたものではない、日本內地學生間全般の一大問題として先覺者達に叫ばれてゐる、日常、街頭、電車內などに見受ける學生の眼鏡の多いこと、これは獨り日本人のみに限るともいふ奇現象であつて、また眼鏡をかけぬ者であつても果して近視でないものは幾人であらう？

◇日本文化の向上發達に比例して近視眼の多くなるのは、一つはこの漢字制にあることも否定出來ぬ、漢字は斯うした生理的方面にも禍ひすると同時に、經濟的、能率的、教育的、あらゆる方面にムダ骨を折らせる非科學的文字であつて、國家的前途の第二國民、兒孫の爲めにも、世の教育者、父兄各位の切に猛省を促して善處を煩はしたい。

鴨江護岸工事

【安東十四日發國通】安東縣當局においては每年夏期鴨綠江の氾濫により多大の被害を蒙りつゝある現狀に鑑み、その護岸工事は刻下の緊急事としてゐたが今次財政部より五萬元程度の工事費の認可を得たので、本年解氷期を待つて鐵嶺、臺安、途中の各縣と相呼應し一齊にこれが工事に着手することゝなつた

警講奉天入所者

【奉天特電十四日發】滿洲國より東京警察官講習所に派遣される第三回警察官留學生は過般新京において試驗の結果三十名を詮衡本月末赴任入所する筈であるが奉天省よりは瀋陽警察廳警務廳安東警察廳より各一名選拔された今回の官留學生は何れも滿洲國警察官の中堅官吏として歸任後は相當重要なる位地に就くものである

關東廳辭令（十三日）

關東廳警察部 小林貞一
產婆試驗書記、看護婦試驗書記ヲ命ズ

人事

▲高橋和男氏（橫濱正金副支配人）十四日午後四時二十分發列車で北行
▲田中恭氏（滿洲國財政部理財司長）同歸任
▲江崎重吉氏（滿鐵大連鐵道事務所長）同北行

大觀小觀

アメリカの大規模建艦計畫イギリスの大規模建艦計畫早くも軍縮決裂、建艦競爭が問題となる▲併し、廣田外相は、餘り氣にかけるに及ばぬこの狀勢はやがて軍擴停止になるべきものだと斷案を下す▲シンガポール軍港問題にも異議など申立つる意思なしといふ▲飽くまで和平工作の信念に立つは賴もし、小さな隙を見せぬ用意もよし▲滿洲建國當時から豫想された滿洲景氣此頃稍具體的になりかけた▲そこでこれを利用するインチキも出やうといふわけ、豫じめこれを防止せんとする當局の用意親切といふべし▲ハルビンに在留するポーランド人、ポーランド・アジア株式會社、ポーランド・アジア銀行を建設せんとす▲ハルビンは國際都市として、經濟上にも將來大發展を期待さるゝ所、早くも此計畫あるは機敏といふべし▲水雷艇友鶴の生存者僅かに十三名、決死の救助作業に拘らず、犧牲の多かつたは殘念だつた▲二十一億一千一百五十三萬七千餘圓の豫算が兩院を通過した▲その額の大なる事、無修正なること、非常時の姿。

滿洲國の極東大會參加問題眞相（下）
岡部平太

四、文相の態度

二月二十七日貴族院に於てなされた二荒伯の文相に對する質問演說はいたく吾々を失望せしめた。やるならもつと本氣に突き込んでやつて貰ひ度かつた。翌二十八日は日本體協が最後の理事會を開いて、吾々に回答を與へるといふ日なので其の日東京における滿洲國側委員會は極度に緊張して必死の活動をつゞけて居た、自分が貴族院にかけつけて速記錄を讀いて、明日の委員會に提出して貰はうとしたら、その時、その問題はたつた今二荒伯が質問して、文相と首相があつさり答辯したと聞いて實にガッカリした。實は二荒伯には會ふ機會なく伯には問題の根本性質が不明であつたらうと思はれた。果して朝日の系統からはその夕刊に鳩山文相談として實に馬鹿々々しい記事が出た「日本は國際聯盟は脫退したが國際的な文化事業に對しては世界人と協力せねばならぬといふ詔書も出て居る。極東大會は文化事業だ、脫退したりする法はない……」果してこんなことを文相がいつたかどうか知らぬ、いつたとすれば文相のスポーツに對する認識も十分でない。

スポーツがフエヤーである間それは文化事業かも知れぬ、今スポーツが不純に化しやうとするので抗爭して居るのだ、くさり果てたスポーツでも文相は何は文化の事業と見るのか。流石の文相もその頃辭職を決心してゐた時で少々輕率だつたと思ふ。

◇

丁度その頃滿洲陸上競技聯盟が奉天に於て會合し東京における滿洲國側の運動に對し、袖を引き止める樣な奇妙な聲明書を發表したことは時が時だけに東京委員會の空氣をいたく憤慨させた、何れ關西方面からの宣傳に乘ぜられてのことゝ思ふが、東京に於て熱し切つて居る時大日本體協に有利な宣傳材料になる外何もならない聲明書を發表してくれたとは甚だ遺憾であつた

◇

二十八日の體協理事會が鳩山文相の談話に引ずられたことは事實だつた。滿洲側ではこの理事會には出席を拒まれたが出席理事三十名の中一名を除く以外全部「滿洲國の參加、不參加に拘はらず日本は第十回極東大會に參加すべし」と主張してさう決議した。

たゞ之をその時發表しなかつたことは日本運動界の爲に非常な幸運といはねばならぬ。若しこれがその時發表されて居たら日本運動界は名狀すべからざる混亂に陷り收拾すべからざるに至つたかも知れぬ。

だが諸君！この三十名は少くとも現在日本の體育界、スポーツ界における善知識で名實共に日本を指導して居る人々であるといふ事を銘記して置いて貰ひたい。

自由主義を清算せよ

その他茂木君の失言問題、僕等個人に對する凡ゆるデマ、滿洲側の不統一といつた樣な問題が八方に飛び散つたが兎も角も滿洲國側の最初からの主張は體協を動かし、完全な提携となつて今では日滿體育協會は一體となつて動いて居る。だが日本の運動界を動かして居る誤つたスポーツ自由主義は一朝一夕のことでは動かない、革新聯盟は今や、この問題に向つて更に第二、第三段の活動を開始せねばならぬ必要に迫られて居る「スポーツの世界は自由だ」「スポーツは政策の外に超越すべし」とはスポーツマンがよく口にする言葉だ、僕等も之を堅く信じさう主張し來り、將來と雖もその信條は狂はないつもりだ。だが、それは極めて相對的であることを知つて置かねばならぬ。スポーツをやるお互同士が同じ理解がある時にのみそんなことはいへるのだ。

歐洲戰爭がすんだ後、ラインランドの撤兵問題で獨と佛、英がにらみ合ひの形になつて、外交の風雲極めて不穩だつた時先づその空氣を緩和させたものは、伯林市と巴里市の對抗ラグビー戰であつた。その選ばれた兩市の代表は今まで、激しい戰線に戰ひつゞけて居た青年達であつたのだ、雙方にスポーツマンシップの確乎たる信念があつたらそんなことは平易に行はれる。

日本は國際聯盟は脫退して居るが滿洲の青年學生の代表は快活にラグビーをやつて忘れ得ぬ日本の好き印象を持つて歸つて行つたではないか。近い例を擧ぐれば張學良政權の時、東三省における空氣があれ程險惡であつても支那の青年がフエヤーに出て來れば、日本は欣然として之を迎へたではなかつたか。あの頃政策を超越してスポーツは誰に批難される事もなく支障なく行はれたではないか。

日本のスポーツ指導者達は革新聯盟を以て、スポーツの自由を奪ふファッショだと早合點して盛んに僕等に國際協調主義の必要を說いてきかせる。彼等はオリムピックの崇嚴な空氣の中で君が代の吹奏裡に日章旗が揭げられて行く時の光景を陸軍關係の人達や愛國團體の人達に說いて聞かせた。

然しそれは一體どつちがいふ言葉なのか。スポーツマンはなる程君達がいふ樣に愛國者だかも知れない。だがそんな輝かしい時ばかりの愛國者であつて、今日本のスポーツ界が直面してる樣な友邦の正義の主張がとりざうられ、日本のスポーツの自由が蹂躪されようとして居る時、眞先に立つてその不正と鬪ふことはスポーツマンの義務ではないのか。スポーツのダークサイドに對しては默つて目をつぶつて居てもよいのか。それでもまだ愛國的な感情を有ち合せると自慢になるのか。

こんな重要な問題を外にして、寸を爭ひ、秒を爭ひ、尺を爭つて見た處で、それが何になるのか。モダンボーイの暇つぶしの享樂といはれたつて君等に何の返す言葉があるか。ダンスの世界選手權に行く選手と何の相違があるか。彼等にも藝道に對する精進もあれば君等位の鋭い身體のツレーニングもある。

それで居て君達がスポーツマンとして社會に歡迎され、國家國民の支援によつて國際競技場に名譽ある選手として送らるゝ所以は、斯かる際男らしく國民外交の尖端に立ち日本の名譽スポーツの精神を守り得るだらうといふ期待があるからだ。

これを外にして何のスポーツぞ何のスポーツマンぞ。

市況（十四日）

株式
內地ボンヤリ 地株保合

內地主力株ボンヤリを入れ當市の五品保合日產二十錢安新東三十錢安電々二十錢安に大引

◇定期後場（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品 寄	二八八	
引		二八九

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二六六	二六五	二六五	二六五
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電々	—	一六六	一六五	一六六

◇鞘取引

代行二八九、電々乙一四九、製氷九八〇、金福一一五、一二〇、周水四一、土木八八、正隆二新八九、大連機械一〇九四、大連機械新四〇〇

特產
銀價の軟調に 大豆反騰

後場の定期は大豆は銀價の軟調を眺め反騰を示し豆粕は閑散ながら大豆高に伴れ強調を辿り豆油、高粱ともに大豆高に強保合を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（反騰）單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	三一五〇	三一八〇	三一五〇	三一七〇
四月末	三一七〇	三一九〇	三一七〇	三一九〇
五月末	三二一〇	三二四〇	三二一〇	三二四〇
六月末	三二五〇	三二八〇	三二五〇	三二七〇
七月末	三三〇〇	三三三〇	三三〇〇	三三〇〇

出來高 百八十六車

▲豆粕（強調）單位枚

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	一〇四五	一〇四五	一〇四五	一〇四五
五月末	一〇四五	一〇四五	一〇四五	一〇四五
六月限	一〇四〇	一〇四〇	一〇四〇	一〇四〇

出來高 一萬六千枚

▲豆油（強保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	八一〇	八一〇	八一〇	八一〇

出來高 二千百箱

▲高粱（強保合）單位屯

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	一六一〇	一六一〇	一六〇〇	一六一〇
四月末	一六一〇	一六三〇	一六一〇	一六二〇
五月末	一六三〇	一六三〇	一六三〇	一六三〇
六月末	一六三〇	一六三〇	一六三〇	一六三〇
七月末	一六五〇	一六五〇	一六五〇	一六五〇

出來高 四十二車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保（袋込）	三一四〇	三一七〇
大豆（裸物）	—	—
普通大豆（袋込）	三〇九〇	三一〇〇

出來高 七十車／三車

品名	寄付	大引
豆粕	一〇五〇	一〇五五

出來高 三萬八千枚

豆油（出來不申）　高粱（出來不申）　包米（出來不申）

錢鈔
マバラ氣崩れで 鈔票反落

後場保合に寄つたがアト青島筋の賣と物多くマバラ投物あり六、七十錢安と下押す

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一三三五	一三三〇	一三三〇	一三三〇

出來高 期近四百八十五萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一三三五	一二一五	一六五五
二時	一三三五	一二一五	一六五五
三時	一三三五	一二一五	一六五五

出來高 銀對洋 一萬二千圓

商品
後場 出來不申

奧地市況

▲奉天奉票對金票
現物 五、二八〇
▲奉天國幣對金票
現物 一一四、三〇　一一三、九五
先限 八七、四〇　八七、七〇
▲奉天國幣對鈔票
現物 一〇六、七五　一〇六、七五
▲開原國幣對金票
現物 一一四、四〇　一一四、四〇
▲ハルビン國幣對金票
現物 一一四、三〇　一一四、三〇
▲安東鎭平銀
當限 一、六一六
先限 一、六二〇

市場電報

▲ハルビン大豆
四月 四八五〇 四八五〇
五月 五〇〇〇 五〇〇〇
▲ハルビン小麥
四月 一、一七五〇 一、一七五〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一六八〇	一六八四〇
東新	一八〇二〇	一八〇〇〇
中品	不申	二九一〇
先	二九〇〇	二九一〇
新	二九六〇	二九三〇
中	不申	二六六〇
先	二七一〇	二六八〇

大阪株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	不申
新株	一三一〇	一三一二〇
大紡	不申	不申
鐘紡	一三四〇	一三四二〇
東新	不申	不申
日糖	一七九一〇	一七九一〇
郵船	不申	不申
滿鐵	不申	五八二〇
滿新	不申	不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
三月	二三九三	二三三〇七
四月	二三二五	二三三三四
五月	二三五九	二三三六八

神戶期米

限月	後場寄	後場引
三月	二二五六	二二六八
四月	二二九五	二二〇二
五月	二二三〇	二二四一

東京期米

限月	後場寄	後場引
三月	二三五五	二三六二
四月	二三六九	二三七六
五月	二三九四	二四〇六

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
三月	二〇三九〇	二〇三四〇
四月	一九五九〇	一九五六〇
五月	一九四九〇	一九四四〇
六月	一九四九〇	一九四四〇
七月	一九五一〇	一九五一〇
八月	一九五九〇	一九五五〇
九月	一九五一〇	一九五二〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
三月	五五八〇〇	五五九〇〇
四月	五六〇〇〇	五六二〇〇
五月	五五九〇〇	五六三〇〇
六月	五五七〇〇	五六四〇〇
七月	五五六〇〇	五六五〇〇
八月	五五九〇〇	五六六〇〇

家庭

春を彩る花
さあ準備しませう
そろそろ園藝シーズンです

そろそろ園藝のシーズンです、滿洲では苗や種子が手薄なためにわざわざ内地へ注文して取寄せられる方も澤山あるやうですが、先づ

急ぐ　のは霧島（久留米つゝじ）や牡丹、芍藥などです、霧島は四月に入ると花を持ちますし牡丹、芍藥の花は五月以後ですが、もう芽が出かゝつてゐますから餘り芽の伸びないうちに取寄せて移植しないと花がよくありません。

種子物では寒さに耐へる金盞花、スキートピー、石竹類、エゾ菊類、雛菊（デージー）飛燕草、ケシ類、矢車草、パンヂーなどは三月中に播いた方が花が早く見られて樂みです、野菜類ではエンドウ、ソラマメ、二十日大根、春菊、葱などは早く播いた方が成績がよいやうです。

しかし寒さに耐へないものを早く播くと發芽に對する

温度　が足りないため、或は低溫の濕地中に在つたり、時には乾燥が過ぎて發芽不能に終ることが多いのです

花ものではサルビヤ、ダリア、カンナ、ホーセンカ、金蓮花、百日草、美女櫻、朝顔、夕顔等野菜では隱元豆、茄子、トマト胡瓜、南瓜などがそれで、花物は四月中旬以後、野菜類は四月下旬頃播いた方がよい發育が見られます。

球根　類ではアマリリスだけは早くとり寄せて植付けた方が成績がよいが、パラヂウム、球根ベコニア、グロキシニアの類は五月になつて取寄せた方が安全です熱帶物の苗は一般に晩い方が安全なのですがデンドロビウムは早く注文しないと花がつきますし、葉蘭類の低溫に耐へるものはボツボツ取寄せて結構です。胡蝶蘭、カトレアのやうな高溫を要するものは五月中にとり寄せること、何れにしても取寄せやうと思ふものはなるべく早く注文して大體の

到着　の日取を指定して豫約して置くのが一番よい方法でせう。

註文先は一般に躑躅類は久留米名古屋、宇都宮、山形方面が非常に進歩してをり、球根類では奈良、名古屋、靜岡、神奈川、東京、千葉、新潟方面、盆栽類は廣島、兵庫、大阪、長崎地方がよいやうです。露地栽培用の種子物は札幌を中心に北海道が有名ですし、シャボテンは大阪堺、横濱、名古屋、東京など、露地、溫室向の種子物では横濱の坂田商會と横濱植木株式會社などへ註文なされば安全でせう（安東盛氏談）

【寫眞・上はパンジー、下はルピナス】

スターリン顔負け

アメリカで映畫俳優の高給が政界の問題となつたが「赤い」ロシアでも踊り子の方が、政府の高官より遙かに割が好いといふのだから、世間は大概似たり寄つたりだ。例へばバレットのプリマ・ドンナはスターリンよりも高給を受けてゐる。彼等は一興行五百ルーブル、月に五千ルーブル位の報酬は普通である。然るに「赤い」政府の首腦は月に一千ルーブル位なもので共產黨員の俸給はそれが限度になつてゐる。勞働者になると平均月に約二百ルーブルだから共產主義國も共產に行くとブルジョア國に比べてあまり變りはないとみえる。（カットはスターリン）

わが夫を語る（九）

坊ちゃん社長
株式會社福昌公司　相生由太郎さん

株式會社福昌公司における相生由太郎さんの社長振りは年少とはいへ、どうしてどうして指一本差させないガッチリしたもので素封家相生家の當主としての采配振りは？播磨町の靜かなお宅で語る遂子夫人は、その豐滿な體軀のやうに、いかにもふつくりと、あたゝかい感じの方です。

◇

タクの社長ぶりは、ついぞ一度も見たことがありませんけれど、うちでは全くお坊ちやんで、あれでよく社長樣がつとまるかと思ふ位ですわ、エー、エー、うちでは何一つするにも「あれは何處に在るか？」「これは何處に？」といつた調子で子供以上に手がかゝる位、まるで大きい坊やですわ……でも男の人に家の中であんまりゴソゴソされるのもネエ……と暗に夫君のお坊ちやん氣質を肯定する遂子さんの笑顔そのまゝの微笑。夫人には、この「大きい坊ちゃん」の他に本年六歳のさわ子さんを頭に三人のお子さんがおありです。

◇

パパとして？とても未だ及第點に行きませんわ、さわ子だけはどうやら相手になつてくれることもありますけれど小さい方などは抱つこするのさへ何だかこわいらしいんですの、別に子供嫌ひつてわけではなく、ひまがあるとさわ子をのせてお馬になつてはひ廻つたり、日曜日には大抵分家（相生常三郎氏宅）からみんなで遊びにまゐりますのでお山の大將になつて二階から階下から馳廻つてかくれんぼをしたり、鬼ごつこをしたり、それあ大變な騷ぎ方で、どう見てもまだ中學生氣分でございますわ氣性はいたつて快活でスポーツが大好き、大連一中時代にはランニングの選手でしたとかで……えゝ、タクは四つの時からの大連つ兒です。遂子つていふ名は遂河のほとりの營口で生れたからで二人とも全くの滿洲つ子で滿洲が一番好きです。

◇

タクの自慢といへば、先づ親孝行なこと──母が今なほ健在ですから、この家の生活は總て母親を中心にいたしてをります、從つて趣味も母を中心に麻雀をしたり、長唄をきいたり……ダンスなんかあんまりやりません。ゴルフも少しやりますし、昨年の夏はスカールを買込んで黑石礁の沖で大分猛練習をやつてゐたやうでした。元々活動的な性質ですから會社のおつき合ひで自分の親爺位の年配の方ばかりの宴會など、どうも苦手らしいんです。

◇

もう一つ──この時代に甲種の運轉手の免狀を貰つてゐますので、今でも大抵自分で運轉手を助手席へかけさして宴會へでも何でも參りますの。（寫眞は相生由太郎氏の御家庭）

家庭顧問
信じきつてゐた夫に　愛人が出來てゐる事を知つた

【問】私は十年前現在の夫と戀愛から結婚生活に入り今日まで極く平和に過ごして參りました。ところが先日ふとしたことから夫に二年前から他の愛人が出來てゐることを知つたのです。全く夫を信じ切つてゐた私は餘程も疑ひを持つたことすらございませんでしたのに、この事を知つてからは夫と居るのが苦しく自殺しやうかとさへ思ひます、私は今も尙結婚當時のやうに夫を愛してをり夫無しでは一日も生きて行けない氣がします。夫は決して私を捨てるやうな事はしないと申し乍ら、その愛人とも別れることが出來ないと云ひ、相手の女（藝者）も奧樣に濟まないが別れられないと云つてゐます。私は一體どういふ道を選んだらよろしいでせうか、何卒御教示下さいませ（大連芳子）

【答】

たゞ「忍」の一字　心で泣いて笑顏せよ

神聖な戀愛から終生苦樂を共にするつもりで結婚され、ひたすらに夫を信頼し十年間も平和に幸福に日をすごしてゐられた貴女の驚き、悲しみ、苦しみは深くお察しします。しかし御良人は決して貴女を捨てないと言ひ、相手の女性も奧樣に濟まないと言つてゐるのなら、二人とも道理はよくわかつてゐるが所謂思案の外とやらで今のところ互に手を切ることが出來ないのでせう。この際貴女は先づ心を廣く持ち決して短氣を起してはなりません、昔から女子に嫉妬の無い者はないと言はれ又嫉妬は或程度まで愛情の花でもありますが、今貴女は一世一代の運命の岐れ路に立つてゐる最も大切な時ですから呉々も嫉妬の爲に精神を亂したり、妻としての道を踏外すことの無いやう自重せねばなりません。御良人が藝者に夢中になつてゐる今こそ、貴女が良妻たるの眞價を發揮する絕好の機會です。御良人の愛が貴女から仇し女に移つて行くのは貴女自身にも全然責任が無いとは云はれませんから大いに反省し、當分は唯「忍」の一字を守り何處までも純眞な愛を以て捨我精進しつゝ氣永くお待ちなさい。御良人の愛は屹度再び貴女の許に歸つて來ます。自殺など以ての外、心に泣いても笑顏で夫を迎へるそれが勝利の秘訣です。（岡内半藏）

モダン・ボール・ルーム　ダンス教授時間

○女子　午前九時＝午後三時
○男子＝午後三時＝午後十時
春期初心者募集致します
○場所　大黑町廿七（電氣遊園裏）
M・A・T・D　サトウ舞研　佐藤和子

ラヂオ　大連　JQAK　三月十五日

▲午前六時三十分ラヂオ體操第一
▲午前七時ラヂオ體操第二
各地溫度通報
▲午前十一時相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）
▲午後零時五分相場（錢鈔、特產株式、各地相場）ニュース
公設市場値段
▲午後三時三十分相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後五時三十分支那語講座テキスト第六十課　滿鐵學務課秩父固太郎
▲午後六時ニュース
職業紹介事項
▲午後六時三十分映畫物語「三日姿婆」廳原愛、峰一路、伴奏日活管絃部、指揮片野源吾
映畫伴奏吹寄せ・日活管絃部、編曲並に指揮片野源吾
▲午後七時三十分この花踊り（大阪堀江演舞場より中繼）
▲午後八時三十分時報
▲午後八時三十一分ニュース、氣象通報
▲（引續き）詩吟、忠臣藏一番から十二番まで長谷川秀隆

日本棋院秋季大手合戰譜（第十四局）

先　三段　染谷一雄
　　初段　藤澤庫之助

●一八一レ八　○一八二ヨ十一
●一八三ヨ十　○一八四ワ八
●一八五チ八　○一八六ワ七
●一八七ワ九　○一八八ハ十二
●一八九ニ十四　○一九〇ヌ十九
●一九一カ八　○一九二ホ九
●一九三ヘ九　○一九四カ十六
●一九五カ十七　○一九六ヨ五
●一九七タ五　○一九八ル十二
●一九九ル十一　○二〇〇ル十三
●二〇一ツグ　○二〇二劫トル

【10】

七劫ツグ
所要時間累計（白六時五十七分　黑六時二十八分）
（制限時間各七時間）

對局者のことば

黑　百八十五で百八十六に出て白（チ七）黑百八十五とキルのは中央の味が悪くて打てませんでした、さう出ギルと白百九十八黑百九十九白（テ十一）とハネ出されるやうなことが恐いのですが

黑　百八十九は（ホ十二）にツイでもさくはないやうに思ひましたが部分的にはもちろんツグ方が有利です

白　百九十と黑百九十一とは仕方が無いやうでした

戰の跡

◇黑百八十一は（ツ九）にオサへ白（レ十一）と交換してしまはなかつたのは譜の如く白百八十四とトビ出される具合があつて、この邊で間違ふさせつかくの好局を少しの貪りの爲に失ふ惧れがあると見たのであらう

◇黑百八十七、百九十一とオサへたので大勢は全く決したやうである、白は百九十の手で百九十一に出ても黑（リ十八）白（リ十七）黑百九十のヨセを容るしてはこの方が大きい

本社特選　新棋戰（其四）

香落　六段△山北孫三郎
　　　四段▲志澤春吉

【圖は七三金迄の局面】

山北氏持駒銀

▲七四銀　▲同金
△同飛　▲五四角
△七一飛成　▲八七歩成
△六五銀　▲八六飛
△五四銀　▲同歩
△七五角　▲八五飛
△五三金　▲五一銀

累計六十手

土居八段講評

志澤君の五四角打は、攻防ともに利きが薄い、七三銀打、三四飛、二三歩、九四飛なら八五角打の方が面白い山北君が龍を利用して飛車取り王手を掛ける意味の下に六五銀と打つたのは安全第一の手段である。

萩原七段解說

志澤氏の五四角は、七三銀と防ぎ三四飛、三三歩、七四銀、同銀、同飛、七三銀、七二銀、七四銀、八三銀、同銀で納得になる、又七四銀で九四飛なら、八五角と打つて指し易い、從つて前回山北氏の七六飛は敵に八六歩の順を與へて仕舞つて面白くなかつたことが判明したのである、だから志澤氏は五四角で七三銀と防ぐべきである、山北氏の七五角は、攻防兼備の好手で、志澤氏の八五飛は、七六飛では三一角と切られて惡い、次に五三金と打つて四一飛の先を取り、敵に五一銀と防がした後、九三角と飾得を圖つたのは巧妙な指手で、如何に七五角が好手であつたかと、この五三金によつて判然としたのである。

ソ滿國境に躍る綠林の大和撫子

戀の放浪から馬賊の仲間入り 今は參謀として虎林襲擊

【吉林】密林に閉す北滿の曠野を征服し自ら匪群の上に君臨して參謀となり反滿抗日に躍る妙齡の邦人女子がある

彼女の名は極秘に附されて居るが長崎の片田舍に呱々の聲を擧げた彼女は年十歲にして父を失ひ、十一歲にして母を失ひたる後性來の淫蕩振りを發揮し、故鄕を後に轉々男から男へとさすらひの旅を續ける内、二十七歲の五月大阪に於て一支那人と知り合ひ、廣き大阪の一角で幾夜重ねた情痴の世界は彼女に取つて此の上も無い性の狂奏曲として喜びの絕頂に達せしめた、明けて二十八歲の陽春の四月半頃二人は手に手を取つて大連に上陸した

斯くして彼等二人は滿蒙の地を我物顏に橫行し轉々として流れる内華やかな馬賊生活に興味を抱き遂に彼等は李杜の部下として馬賊生活の第一步を踏み出した、斯くする内に李杜の參謀たりし張春玉は何時ともなく彼女の美貌に野心を抱き、種々秘策を練る内彼女の情夫を山中に誘ひ出して殺害し彼女を妻にした、刺戟に活きる彼女は早くも前の情夫を打ち忘れ張參謀の溺愛に陶醉して幸福な幾年かは夢の如く過ぎた、張も又彼女を得た爲めに幸福の背境に萬物を忘れて自ら主權を彼女に委せ、多年野望の實權は遂に彼女の把握する處となつた

之れより幾千の部下を手足の如く自由自在に動かし北滿は期せずして彼女の勢力範圍となつた

然し永久には續かなかつた、昭和六年の九月十八日突如起つた柳條溝事件は滿蒙の天地を震動し、全滿の事情は大變革を來した、事の急を悟つた彼女は早くも露滿國境に難を避け頻りに反滿抗日の策を練つた

斯くする内に昭和七年十二月下旬より大々的に開始されたる日滿協力の大討匪工作に哀れ彼女の華やかな夢も密林の露となつて消えんとした、男優りの勝氣な彼女は早くも機先を制して張及び李杜を屈服させ我が軍の前に歸順を申込んだ、厚意を示す彼等の態度に歸順を許した我が軍は善良なる國民として其の儘彼等を聖業に導いた、然るに我が軍及び關係者が穢氣を引揚げるや再度反逆の旗を翻へし同志を糾合して露滿國境に逃走し機をうかがふ事幾月、去る一月下旬虎林縣城を約一千名を以て包圍襲擊をなし我が友軍に多大の損害を與へたるは參謀彼女の策略とは誰一人知る由もなかつた、暗に躍る反滿抗日の彼女今は又しても露滿國境に逃げ延び密林のクイーンとして覇を稱へて居る模樣である

熱河駐屯部隊に『武士の花』贈る

嬉し・土木課の心意氣

【旅順】熱河省内の各地に駐留する我が將兵に對し各方面から種々なる慰問品が寄せられてゐるが、その中にも關東廳土木課が昨年の三月末北票の駐屯部隊兵營に數十本の吉野櫻を移植したところ、花時には全枝に花を持ち將兵の心を慰めるに非常な效果があつたので關東廳土木課では本春も更にその苗圃から二年生から八年生の吉野櫻一千本を各地に送り駐留部隊の兵舍の四圍に移植し、花時に無聊の將兵を慰めることゝなつたが、右櫻樹は來る二十日頃各地に發送されるので此の花時には熱河方面各地とも櫻花の爛漫たる中に軍中花見を催すことが出來よう

飽くを知らぬ年增の吸血鬼

車中に泥醉して暴行

【四平街】十日午後十時四十分頃北行二十三列車二等寢臺車内において、一見三十歲位の泥醉女が年若き一人の娘を蹴る毆るの暴行を加へるのを警乘員が見るに忍びず娘を一等車に避難せしめた處、泥醉女は其の後に追ひ迫り更に手酷く暴行するので一般乘客の迷惑ばかりでなく如何なる危害を加へんとも測り難く、止むなく列車が四平街驛に到着すると共に兩人に下車を命じ驛前派出所に連行取調べた結果、婦女誘拐の嫌疑があるので翌十一日午前零時本署に身柄を移し被害者の娘には慰安を與へ泥醉女は留置場に保護檢束をなし、醉ひの醒むるを俟つて當直の北村高等主任取調べたる處泥醉女は原籍山口縣玖珂郡神代生れ好本モミ(三二)娘は同縣熊毛郡平尾町西土手濱崎サツヱ(一七)といひ兩人は遠緣に當るところから昨年五月頃モミはサツヱの兩親に對し滿洲は大した景氣であるから、此の際サツヱを滿洲に連れ行き軍隊の酒保で働かせれば金は儲け次第と言葉巧みに欺し込み、當年漸く十六歲になつたばかりのサツヱを帶同昨年五月二十四日渡滿、それ以來錦州、鶯城子、山城鎭地方を流れ歩きつゝ嫌がるサツヱに暴力を加へて密淫賣を強要し、客から貰つたチップをも全部捲き上げ一錢の小使錢も與へず生血を吸ひ續けてゐたが、今度は北滿地方にて密淫賣をせしめんと去る十日北行列車に乘込み食堂で強か酒を呷つてゐたが、サツヱは行先恐しく國へ歸りたいと言ひ出したのが癪に障つて此の暴行に及んだといふのであるが

サツヱは取調べの係官に對し「私は奧地へ連れ行かれてはこの上ドンナ酷い目に遭ふか知れません、どうか國へ歸して下さい」と父母の名を呼んで泣き崩れる哀れさに係官も痛く同情し結局モミより國元までの旅費として金五十圓を受取り、同日午後二時の南行列車で歸國せしめたが一方モミも其儘放免されたが後は係官の訊問に對し「私は内地で娼妓、朝鮮で酌婦をやつてゐた經驗もあるからブンナ小娘に金儲けをして貰はなくても男對手に自分で結構食つて行けます……」と空嘯いてゐたほどの強か者であつたが、歸國せしめたサツヱの後を追跡して又連れ戻すことはなからうかと氣遣はれてゐる

西將軍いよ〳〵凱旋

十三日、錦州から新京へ

【錦州】熱河、河北の作戰に赫々の武勳を樹て、王道樂土の建設に多大の功績を殘した人德の西第〇〇團長は久納參謀長、松山高級副官、藤繩軍醫部長、城戶獸醫部長衣川法務部長、江川經理部長以下幕僚を從へ、十二日午後二時二臺の飛行機に分乘、雪の省境を飛破して錦州に凱旋した

飛行場には白石飛行〇隊長、秋山、高木、黑岩、桑原各部隊長馬淵參謀、後藤副領事、宇井警察署長、濱口民會長、馮縣長始め官民多數の出迎ひあり、滿洲航空會社出張所に入り、晝食を取り少憩後西第〇〇團長は菊地副官を從へ同三時五分發列車で菱刈軍司令官に挨拶のため新京に向け出發したが久納參謀長松山高級副官以下幕僚は市中各旅館に分宿、暫く滯在の豫定である(寫眞は錦州飛行場に到着の西第〇〇團長(下)と幕僚(上)向つて右より衣川法務部長城戶獸醫部長、藤繩軍醫部長、江川經理部長)

田中部隊が眞つ先に凱旋

【錦州】熱將軍の牙城を衝いて熱河肅正の凱歌を揚げ滿洲國の邊境に安居樂業の平和鄕を築いた西第〇〇團の田中部隊は、駐屯地の凌源を出發しその先遣として十二日午後十一時四十一分着列車で凱旋の途來錦した、驛頭には夜中にも拘らず官民多數の出迎ひあり、忽ち「錦州だ、おうい起きろ、起きろ」の聲あつて車中大騷ぎ、車内は電燈を消して僅かに蠟燭を灯してゐる、その暗い列車から降り立つて一同と感謝の挨拶を交す「早いなア」と住み馴れた熱河の空を遙かに見返り名殘を惜しむ者もあつて凱旋の歡びにも惜別の淚が光つてゐる、車中に少憩の後十三日午前二時萬歲の聲に送られて拂曉の奉山路を元氣一杯で奉天に向け出發した

安藤司令官

多數の萬歲聲裡にきのふ離旅

【旅順】安藤前要塞司令官は十三日午後零時十五分旅順驛發列車にて家族同伴在旅官民多數の見送り萬歲の聲に送られ離旅したが、同將軍を初め家族一同は此日早朝より齋戒沐浴の上飯野中佐、中根副官を帶同白玉山納骨祠に參拜、親しく英靈に對し送辭を述べる所あつた

驛頭に於ける官民諸團體婦人團體其他の見送人はさしも廣きホームを埋め在任中の德望高き事を如實に示し、惜別の情濃かなる事未だ曾てない光景を呈した

超弩級「入學難」

鐵嶺の日語學堂 志願者十七人に一人

【鐵嶺】事變前までは生徒の募集難に困憊してゐた當地日語學堂も事變後の急激な日本語熱勃興に每年新學期每に入學志願者殺到し其の銓衡に惱まされるといふ反對の現象を呈し、其の現象も想像以上のもので新學期募集定員四十五名に對し昨年は十五倍の六百餘名あり、本年も略同數かと觀られてゐたところ十二日までに既に七百八十餘名あり、願書受付締切期日たる二十七日までには少くも定員の二十倍九百餘名に達せんとする勢ひにあり

斯くの如き多數の志願者から四十五名を選拔するは容易ならず而も志願者中には學術優秀の者少なからず、將來伸びんとする生徒を收容し得ざるは學校當局者の苦痛とするところで、これを緩和せんとするには學級增加の外なく早くも鐵嶺滿人側父兄間には日語學堂學級增加希望の聲が旺んに擡頭し、日本側各機關も此の聲に刺戟されて學級增加運動を起すべしとの意見が多い、小田島堂長も殺到する志願者の詮衡に困憊した結果、矢張り學級增加より外に緩和の途なしとして近く赴連滿鐵學務課の意見を聽く筈であるが、その結果如何によつて鐵嶺の日滿各機關や父兄達は學堂擴張の運動を開始せんと意氣込んでゐる

好績の大石橋青訓

少年團設立をも協議

【大石橋】大石橋青年訓練所は昭和八年四月二十二日四十六名の入所生を以つて盛大に開所し非常時日本に善處する青年訓育上絕大なる貢獻を續行し今日に及んで居るが、十三日午後一時より俱樂部日本間に於て來年度に於ける入所勸誘座談會並に少年團設立に關する協議會を開催した、各警備機關並に滿鐵各箇所代表及幹部並に在住市民來會し頗る緊張裡に建議した

一、行事

(イ)挨拶 主事代理

(ロ)八年度行事報告 小堺指導員

(ハ)所感 倉橋地事長

(ニ)少年團設置の必要 芦田訓導

(ホ)少年團の本領 川口訓導

(ヘ)設置に關する座談

右に依り其成績を見れば教練八七日一二六時間、修身公民科二三日一四時間、普通學科四四日七四時間、職業科五四日六九時間で出席步合も平均八七・九七と云ふ素晴らしい成績振りで學科教練總平均も八五・八九を示して居る、斯の如き好成績を納め居るも是れ偏に父兄並びに有志が如何に青年教育に關心を持ち常に激勵後援を惜まざるに歸因するもので、將來帝國非常時に處する大決心の現れと見るべきである、小堺指導員は左の如く語つた

主なる行事としては六月十九日軍司令部附石川少佐の教練實施七月一日日本全國青訓開所記念日に就き記念式を擧行、九月十八日は滿洲事變記念日に就き守備隊、在鄕軍人、小學生と聯合し攻防演習を行ふ、九月二十六日七日は鞍山、遼陽間に於て實施せられたる州外全滿青訓、中等學生聯合演習に參加、又射擊大會に出場成績個人第一位總成績十二訓練所中第五位を得ました、十月二十日には本年度教練査閲を受け其成績又良好石川少佐より御賞の言葉を賜りました、當訓練所よりの本年度入營者三名、南嶺高射砲隊に一名、公主嶺戰車隊一名、舞鶴海兵團に一名で入隊後の成績も又良好の由互に勵まし合つて居ります

意氣込む鐵嶺

音頭小唄の正式練習

【鐵嶺】市民待望の鐵嶺小唄や音頭が村岡樂童氏苦心の作曲によつて世に出て、今や鐵嶺では老も若きも朗かな音頭小唄の聲に充滿してゐるが折角の小唄も正式に教へを受けたのは僅か二三時間に過ぎず其後は獨習の形にあるを以て自然に曲も亂れ勝ちとなる傾向あり三業組合ではこれを遺憾とし鐵嶺美妓中より鐵嶺ホテルの玉吉、松花の繩太郎、金波樓金晋、叶家やんちや、由良之助の巴を選拔歌手として十四日から每日午後三時から商工會議所樓上に集合し、江見先生から正式の譜曲によつて指導を受ける事とした

倘音頭踊の方も近く師匠を招聘して猛練習を開始し、花の四月地方遊覽者の來るまでには堂々公開して大いに鐵嶺情調を宣傳する筈である

在鄕軍人分會 滿洲里で發會

【滿洲里】三月十日陸軍記念日の佳節をトし當地在鄕軍人會發會式は午前九時より市内二道街モデルンに於て日、滿、蒙各要人出席の上孤々の聲を揚げた、會長、副會長は滿場一致の推薦に因り會長は滿洲里國境警察隊長深井直一氏、副會長は滿洲航空會社滿洲里出張所長限政太氏と決定した、多數來賓の祝辭及新會長深井氏の訓辭等あり發會裡に十一時散會した

當地在鄕軍人總數は百四十三名で居留民約半數は在鄕軍人となるわけで我が國最西生命線の全貌を如實に現し面常時日本の力強さが窺はれる

農村指導員

熊岳城へ派遣

【錦州】錦縣公署では縣下農林業の指導開發に當らしむるため各區より中等學校卒業程度の青年各三名を推薦せしめ、その中より優秀者一名宛を採用し熊岳城農事試驗場へ委囑せしむる事になつたが、選拔された名簿の青年十一名は十二日縣公署岡部副參事引率の下に熊岳城へ向け出發した

景勝維持會

常任理事任命

【鐵嶺】龍首山景勝維持會は從來日滿双方から數名の理事を委囑し楊縣長を會長に紀藤民會長を常任理事に推し景勝維持策を研究して來たが、臨時遊覽列車運轉も實現の模樣あり音頭小唄も紹介せられ今春は地方遊覽者のサービスに萬全を期す必要あり、それに山上の施設にも種々研究すべき問題あり現在の理事のみにては計畫遂行上支障少なからずとし、今回日本側から三十名滿洲側から約二十名の贊助員を委囑し、維持會を一層充實にし龍首山を中心に鐵嶺振興策を講ずる事とした

公主嶺青年演劇研究會

陸軍記念日の當夜開演の準備を遂げた公主嶺青年演劇研究會主催、在鄕軍人分會、地方事務所社會係、滿日支局後援の舊劇と軍事連鎖劇は會場の都合上十一日午後六時半より公會堂で開催所謂立錐の餘地なき滿員の盛況を呈し大評判となつたのは登場會員の何れもが初舞臺に加ふるに僅かに三日間の稽古に過ぎぬので舞臺に穴をあければよいがと氣遣はれてゐたのである、新舊劇とも大車輪の熱演に劇通の半鑿もなく第一回の試演としては上々の出來であつた

【寫眞は舊劇小櫻萬次全三場に出演會員扮裝】

商業美術展 募集數增加

【奉天】奉天商工會議所主催の商業美術展覽會は各方面からの期待多く既に奉天だけの豫定募集ポスター五點、商標包紙、商品函等の圖案十點は二倍となり十日をもつて締切つたが大連その他各地の募集數も豫定より增加する見込である日本における美術審査の權威者審査員として商業美術協會長、商業美術學校構成塾長濱田增治氏が審査員として受諾した

旅順放送

▲滿洲結核豫防會では二十四日午前十時から關東廳會議室に於て第十六回定期總會を開催する

▲乃木町寶來俱樂部主人伏見喜久太氏令孃滿子孃は今回中井滿日支社長夫妻の媒妁に依り高橋宗平氏の令息喜一郞氏を養嗣子として迎へる事となり廿五日宮地出雲大社神前に於て式典を擧げ同夜六時から自宅において披露宴を催す新郞は慶應出身の前途春秋に富む好青年であり新婦は旅順高女を出て後東京櫻井塾を出身した才媛である

▲出雲大社教旅順教會所では來る二十一日の春季皇靈祭に當り同教會所に於て午前十時から春季皇靈祭遙拜式午後七時から祖靈社春季大祭を行ひ各式後說教をなす筈である

▲元舊市街土木課出張所主任坂本信治氏は昨年三月熱河軍出動と共に同方面の國道建設に從事永德に勤務中今回安東國道建設事務所へ轉勤する事となり知友の許へ音信があつた、氏の卜居は安東堀川筋十六ノ一である

▲松村町二二中川政市氏方では三日長男節生君が出生

▲衛戍病院入院中の傷病兵六名は十四日午前六時四十分發列車にて内地へ歸還

▲旅順署勤務松原清巡査は今回家事の都合に依り辭職した

▲旅順民政署地方係では來る十九日から三日間市役所の事務監査を行ふ

▲旅順公學堂第二十五回卒業式は二十三日午前十時から擧行

遼陽片々

▼衛戍分院に入院中の患者六名は沿線衛戍病院收容中の患者七十二名と共に十四日十八列車で内地に向け歸還した

▼滿鐵社員會及び社員俱樂部共同主催で廿一日午後六時半から小學校講堂に於て社員及び家族慰安の爲め全トーキー映畫會を催すと

▼鞍山署長から新京大使館警察部監察官に榮轉の泉警視は十三日來遼警察、地方事務所、縣公署其の他を訪問告別挨拶があつた

▼北門外生田病院主生田友次郎氏は舊臘腸の途釜山府公立病院に入院加療中である最近快方に向ひつゝあると

▼電燈公司支配人中村信氏は九年度豫算打合せの爲め大連滿電本社に出張中の處十三日はさて歸遼

▼沖地方事務所長は十三日奉天往復

▼青年訓練所では赤十字支部の後援で十七日夜小學校に於て活動寫眞會を催すと

▼商業實習所内にある滿鐵の日語學校では豫て新入學生の募集中で十日締切つたが募集人員五十名に對し志願者五百五十餘名の多きに達した試驗期日は十五日午前九時からである

▼小學校附屬幼稚園の新入幼兒の虎眼檢査は十三日午後一時から行はれた

大滿洲國帝政記念

北滿の草原を這ふ 凄慘野火の襲擊

湖岸一帶猛烈な吹雪の惱み 鏡泊湖調査隊の難行

・島田特派員發・

【梅林十四日發】去る十日國線バスに分乘して敦化を出發した國立公園豫定地鏡泊湖調査隊一行は警備隊員二十名に護られ、途中鏡泊湖岸松乙溝、湖沼、寧安に宿泊、十三日正午約三千五百キロの行程を

突破 無事海林に到着した、しかもこの間二千五百キロは牡丹江並に鏡泊湖の氷上走破で陸地は僅かに一千キロであった

敦化出發後十、十一の兩日は天候に惠まれ氣溫も零下五度程度寧ろ鏡泊湖が解氷せぬかと危ぶまれたほどで、これがため水力調査班、道路調査班は短時間のうちに最大能力を發揮して活躍した、また映畫撮影班及び寫眞班は鏡泊湖岸の風景を撮影すると同時に問題の鏡泊學園を訪問、自立自衞をモットーとした學園の

全貌 をフイルムに收めればならぬためこれまた大車輪の活躍を續けてゐた

十二、十三日の兩日は打って變った天候で湖岸一帶より海林は吹雪に閉ぢこめられ氣溫も零下十餘度に降下してキャメラのクランクする映畫班の手も自由を失ふほどであったが幸ひに一同元氣旺盛一名の落伍者も出さず、海林より更に牡丹江驛を迂廻して寧安に歸ることが出來た、この四日間の調査中最も恐れてゐたのは匪賊の襲擊であったが我々は遂にそれらしき影だに認めず、むしろ昔の匪賊地帶も今は王道樂土の和やかな光に

時に 充ち滿ちてゐるかの如く感じられ黑ずんだ皇軍戰歿勇士の墓標を見れば僅かにその時の過ぎし掃匪時代の皇軍奮鬪の跡が偲ばれ、墓標附近に漂よってゐる清淨の氣に打たれるのであった

併し匪賊の襲擊こそなかったが一行の調査撮影にはまた豫期してゐなかった恐るべき障礙が橫はってゐた

それは先に述べた十二日よりの大吹雪と北滿の草原特有の猛烈な野火とである、咫尺を辨ぜぬまでに降りしきる吹雪の恐ろしさはいはずもがな、限りなき倭林地帶を火煙と黑煙を揚げつゝ燃え廣がって來る

野火 の襲擊が如何に恐るべきものであるかは、遭遇したもののみが知り得るものだ、この二つの強敵は大自然の現象であるだけに流石の一行も手が出せず漸くその障碍を突破して寧安に到着することが出來たのであった

寧安で一行は二班に分れ撮影班は更に北湖頭より鏡泊湖に入り、西岸、吊水樓の大瀑布撮影に向ひ他は伊林に出で更に牡丹江驛に向った、野火と吹雪とに爭ひつゝも一名の落伍者も出さず一同元氣旺盛である、なほ撮影班は西岸の撮影を行ひつゝ敦化に引返し他はによつてハルピンに出て十五日に新京に落合ふ豫定である（寫眞は北湖頭落の全景）

スポーツ滿洲國 ラグビー獨立

滿洲國と關東州の地域撤廢 本月下旬から猛練習

【新京十四日發國通】滿洲國ラグビー協會では今春のシーズンを期し滿洲國並びに關東州滿鐵沿線諸チームを包含し、在滿日滿兩チームの障壁を撤廢して名實伴ふ滿洲國ラグビー協會を結成すべく、近く大連の日本ラグビー協會滿洲支部との間に折衝する筈で、既に兩者の意見一致を見て居り、他競技に先んじて劃期的なラグビーの獨立を斷行することゝなった、既に入部決定せるものは、東都七大學リーグで活躍した立教ラグビー部主將橫島、糸居兩選手、東大出の松川、岡田選手及び立教出のスリー・クオーター顯原選手の新京轉勤等があり、昨シーズン活躍した主將難波警備公署副署長、古海人事處給與科長の老將はじめ、東大出の尹、池田、長谷川、南滿工專出の鹿毛選手等も非常な元氣で、本シーズンこそは全滿に覇を唱ふべく、本月下旬より猛練習を開始することゝなった、同チームの新陣容並に協會チームのスケヂュールは左の如し

○フオアー・ワード 難波（主將—東大）相馬（東大）古海（東大）飯澤（東北大）尹（東大）池田（東大）黑田（拓大）小熊（旅順工大）藤沼（東外語）長谷川（東大）三上（東大）松川（東大）岡田（東大）橫島（立教）植田

○バック 糸居（立教）顯原（立教）鹿毛（南滿工專）佐々木（新京商業）水上（旅順工大）上倉（工專）小橋（工專）橋本（本牧中學）植木（新商）

スケヂュール「△印は外來、○印は遠征」

▲四月八日（日）
滿洲國＝奉天滿鐵　西公園三時
中　銀＝滿　電　同　二時
▲十五日（日）
滿　電＝滿洲國　新京商二時
滿　鐵＝中　銀　同　三時
▲二十二日（日）
中　銀＝商　業　中銀グ十一時
滿洲國＝滿　鐵　新京商　二時
▲二十九日（日）
日滿對抗試合　西公園二時半
▲五月六日（日）
△奉醫大＝滿洲國　西公園二時半
▲十三日（日）
○滿洲國＝大連滿鐵　大連一時半
○中　銀＝工　大　同　二時半
○滿　電＝商　業　新京商二時
▲二十日（日）
中　銀＝滿洲國　中銀グ二時
▲二十七日（日）
滿　鐵＝滿　電　新京商二時
▲六月三日（日）
商　業＝滿　鐵　新京商二時
▲十日（日）
滿洲國＝商　業　新京商二時
▲十六日（土）
中　銀＝商　業　中銀グ二時
▲十七日（日）
○滿洲國＝撫　順　撫順　二時

慈雲普蔭

皇帝陛下の御眞筆 東本願寺に御下賜

大連東本願寺別院輪番新田神量師は嚮て新京出張中の處、今回滿洲國皇帝陛下御眞筆の扁額御下賜の光榮に浴し師はこれを捧持して歸連したが同寺では院寶として之れを長く鄭重保存することになった【寫眞は御眞筆】

匪賊の出沒

【奉天特電十四日發】十三日午前九時三十分頃滿南、穆家店間十五キロの地點で巡回中の工夫を數名の匪賊が襲ひ同所の第三十三號を襲擊した報に接した穆家店停車中の二十五列車の先驅車が現場に急行したが匪賊は既に逃走目下追擊中

海拉爾から最初の邦人四人

海拉爾に日本領事館が設置されて最初の四人が受刑のため十四日午前大連地方法院に押送されて來た四人は海拉爾東大街二〇無管井豐治（四六）同大村吉高（二一）同中尾秀吉（三二）の三名で不法逮捕監禁傷害、恐喝の罪を引起して同地官憲に逮捕され、海拉爾領事の初公判に廻された結果何れも懲役四月の判決を言渡されて服罪服役のため日本警察署の手で大連地方法院へ押送されて來たものである

三人組强盜

【奉天特電十四日發】十三日午後六時頃小西門外羅王牢方に三人組の强盜押入り家人を脅迫、家內くまなく物色した揚句、大洋百五十元、金票六圓その他貴金屬數點を强奪逃走した、日滿當局で犯人嚴探中

專用の慰安車

愈よ五月から沿線を巡回 意氣込む滿鐵社會係

沿線在住の滿鐵社員慰安のため滿鐵社會係では毎年春秋の二回慰安會を巡回せしめて映畫、演藝、講演等を行ってゐるが從來普通客車を臨時に設備してゐるため諸施設不完全であったので今回常設的專用慰安車を造ることに決定、豫算の流用を得たので社會係から鐵道部宛て古客車五輛の讓渡を要求した、そして古客車を改造して映寫設備、展望車、講演場、陳列室の諸施設や電燈、保溫、換氣の完全な設備を施して本年五月からこの專用慰安車を以て全線を巡回することゝなった

奉天着の長瀨部隊長（十三日）

轉向者が續出し 愈よ統一公判

非轉向者は出口重治唯一人 滿洲共產黨事件

第二次滿洲共產黨事件の獄中被告の準備公判は去る十日大連地方法院田中裁判長かゝり開廷され、思想轉向に關し被告の意志を確めたが主魁松崎簡（二八）を初め小林周三（二七）廣瀬進（二九）の三名は理論上の誤謬を訂正し日本共產黨の佐野、鍋山兩巨頭と同樣に轉向することを誓ひ、さきに皇太子殿下御降誕に際して國民的感激に呼び醒まされ獄中からは田村辯護士に向けて轉向の聲明の書面を出した河村內午（二〇）は兩今共產陣營から身を退き、保釋中の所謂沒落組に投ずる旨を聲明し、出口重治（二九）のみは再考することゝなった

これを以て一切赤化を清算し完全に思想轉向したもの十五名、理論上の誤謬を發見し合法的共產主義に轉じたもの三名、再考中のもの一名といふ確然たる色分けとなった、而して裁判所側では出口重治を除く全被告が轉向した今日分離公判の必要なしとの意見有力となり、田中裁判長は高橋、平井兩陪席判官と合議の結果第一回公判は來る四月五日統一公判を以って開廷するに決定した、なほ公判第一日には野頭主魁松崎簡が轉向理由を公判廷で辯する豫定でありそれまでには再考中の出口もおそらく轉向を聲明するに至るものと見られてゐる【寫眞は出口重治】

巡回講演班 奉天教育廳で

【奉天特電十四日發】奉天教育廳では帝制實施の意義を一般に徹底せしめるために王道精神を強調すべく巡回講演班を組織しその第一着手として十四日午後五時より教育廳主催、軍部、滿鐵、協和會、鐵路總局その他の後援の下に講演と映畫の夕を警務總議堂、省立第一、第二、第五の小學校、民衆教育館、省立第一高級中學校で催した、講演者は各學校長で工作過程發展整備狀況及び帝制實施に伴ふ國民の覺悟につき熱辯をふるひ終って滿洲建國の實況を映寫し國民に帝制の眞意義を知らしめた、右講演班はこれを機會に各地に巡回講演、映畫で宣傳する筈である

結婚倦怠期

結婚倦怠期にある二組の男女の種種相を描いた問題の大傑作『薔薇の圓舞曲』（德田秋聲氏作、富士四月號所載）は文壇近來の大收穫と素晴らしい人氣を呼んでゐる。

花恥しの扶桑丸 大連ライン お仲間入り

十六日初のお目見得

このシーズンに大連航路へまた一つOSKから贈られた超弩級、常夏の國臺灣と內地を結んでゐた扶桑丸が裝ひ新らしく大連ラインに介入、日滿連絡船としてフンダンにサービスしやうといふのである

總噸數八千百八十八噸、スピードは十七ノット、生れは國產ぢやないがれっきとした育ち、殊に大衆的な三等パッセンヂャーに重きを置いた船內設備は乘客に氣持の好い民衆的な感じを起させる、定員は一等四十二名、二等八十八名、三等五百六十一名、船舶としては丁度娘盛りといったところ

この航路、就航定期船中では斷抜けて船體が大きく異彩を放つものと豫想される、船長はおなじみの宮野鼎三氏、事務長が鈴木安治氏、考へて見ればお馴染の二人が臺灣航路から引抜いて來たやうに思はれる、十六日初航海その佛姿を見せる筈だが期待されて好いと思ふ「なんだ臺灣のお古か」なんて嫌味は言つこなしに選ばれて定期に介入した扶桑丸を双手を擧げて歡迎しよう（寫眞は扶桑丸）

艇內の死體 生存者もなし

五十五名の生死判明 友鶴艇の救助作業

【佐世保十四日發國通】十四日午前十時十分更に七名の死體發見した生存者は最早なき見込みなるも艇內中部よりは死體出づる見込みである、然し機關室複雜なる關係よりその收容は夕刻となる模樣かく込みとなりしに依り遭難現場の死艦搜査を續行することゝなり、旗艦龍田以下廿一驅逐隊は敷設艦數隻と共に出動飛行機も前日同樣飛翔し大活動してゐるが十四日正午更に十七個の死體が發見され計五十五名の生死が判明した譯である

改札制度の意見聽く

滿鐵々道部で

滿鐵々道部が本年一月十日から實施した奉天驛をはじめ滿鐵線主要十ケ驛の改收札制度に關しては、現在內外の批評が一致せずその是非についても甲論乙駁で一部では收札の際寒氣のきびしい驛ホームに旅客を立たせることに非難もありまた檢札係としても肉體上作業困難を伴ふことを理由に反對する者もあり、旅客の一般的傾向としては

滿洲を旅行して一番感じの好いことは驛での檢札が無いことだといふのが全體の意見であるが鐵道部としては最近乘客の增加と共に不正乘車が激增しこれの取締と驛構內警備の萬全を期するうへから斷然本制度を存續し將來新京、大連等の主要驛でも實施の腹を決めた、從つて鐵道部としては今後本制度の實施に關して出來得る限りこれを合理化することゝなり十三日各實施驛に鐵道部長名を以て左の點に關して回答方を促した

一、本制度實施により鐵道營業上の利益不利益
一、本制度に關する內外の風評
一、本制度實施後の從事員および旅客の訓練狀況
一、本制度實施に伴ふ驛構內營業に對する影響

謠言が飛ぶ

【奉天特電十四日發】滿洲國皇帝の登極とともに最近北平方面には來る四月一日滿洲國新皇帝には北平東陵に參拜されるとの謠言がさかんに流布され支那官民は相當動搖を來してゐる

石鹼工場燒く

【奉天特電十四日發】十四日午前一時四十分頃奉天鐵西同和石鹼製造工場より出火可燃性の石鹼原料なると水の便なきため火勢一時に高まり消防隊の努力も意の如くならず午前四時辛うじて鎭火原因は煙突の不完全らしく目下取調中であるが損害約一萬圓である、なほ同工場は大連油脂工業會社の出資にかゝるものである

大同學院の志願者銓衡

【新京特電十四日發】第三回大同學院第一部入學志願者中新京受驗者の銓衡は三月十四日から三日間同學院で施行する

安樂子

O・S・Kが日滿連絡を獨占的な立場でモノポッてゐる事は先刻御承知のところだがこれにどの船會社でも競爭船を出現さしたらとは妙な好奇心もあり血の氣の多い連中が專ら希つてゐるところである。

◇

ところが正に春風に帆をはらむと云つた形で悠々の感があつたO・S・Kにとつて近郵の九州をあて込んだ千歳丸の就航は青天の霹靂さあかうなると競爭意識がモリモリ盛り上つてくる負けてたまるかと云ふ氣持が事毎に反映してくる、近郵がわざわざO・S・K支店の前に立看板を出せば商船側も春のシーズンを前に自家宣傳に大童。

◇

面白いのは埠頭玄關口の入港時刻通報板、近郵が今迄の商船のむさいのを嘲る樣に美しいものを作つたが、その翌々日には既に商船側の通報板がペンキの色彩も鮮かに塗り變へられてゐるさあかうなれば一寸高見の御見物と御座い、慾張つたのが「あゝ手拭でも奥れんかなあ」はよかつた。

河內山氏慰靈祭

故辯護士河內山武雄氏の一周忌に際し大連辯護士會、縣人會、七高會、獵友會等主催となり十六日午後四時半より市內光明臺產靈教會において故人の慰靈祭を催すと

多田恪氏

滿鐵多田地方課長の令弟で北滿の北安で齒科醫開業中の多田恪氏は十三日午前不慮の災害で燒死した、多田地方課長は奉天より直ちに北安に急行したが故令弟の遺骨帶同十八日歸連の上大連で葬儀を行ふ

獵友會總會

大連獵友會では十五日午後五時半より電氣遊園登瀛閣に定時總會を開催し終つて懇親會を催すので會員多數の出席を希望すると（會費金貳圓）

山岡五段就任

滿鐵運動會柔道教師石垣良知氏退任後小谷六段のみで缺員中であつたが今回永岡九段の推薦に依り昭和八年東京高等師範學校體育科出身の山岡保孝五段が就任することゝなつた

八木橋訓導結婚

大連常盤小學校訓導八木橋雄次郎氏は榊原常盤、鈴木大廣場兩校長の媒妁により大廣場校訓導桐畑綾子氏との婚約整ひ、來る十八日大連神社で華燭の典をあげるが、同夜五時半から連鎖街扶桑仙館で披露宴を張ると

大連神社月次祭

十五日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町山縣通區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭典を執行す

鐵路學院生徒募集

鐵路總局の鐵路從業員養成機關として今年度より開設される鐵路學院では左のごとく學生募集を發表した

▲募集人員 滿洲國人二百名（業務科豫科八十名、機械第一科豫科六十名、機械第二科豫科三十名、土木科豫科三十名）
▲入學資格 滿洲國初級中學卒業者
▲願書提出期日 四月十五日

鴨綠江渡涉禁止

【安東十四日發國通】南滿に訪れる春の魁け鴨綠江の解氷は打續く數日來の暖かさに數日ならずして之を迎へる事となるべく既に鴨綠江の結氷は日一日とその厚さを減じ遂に十三日より氷上渡涉禁止の布告が發せられるに至つた

南蠻彩船 (71)

鈴木氏亨作　布施長春畫

女郎花（七）

はじめて二人になつた五月野は遠里小野三郎に對して、どう云つて挨拶したものか、どんな感謝の言葉を述べたものか困つて了つた。

と云ふのは、遠里小野三郎の武士らしい、男性的な典型美に打たれ、その任俠が、彼女に、云ひ知れぬ懷しさ、頼もしさを與へて別れ難ない思ひを抱かせ、思慕の情を湧き立たせたからであつた。

遠里小野三郎にしても、偶然な機會から、一人の女を救つて、彼女の悲しい境遇に同情し、それが主人助左衛門の、妹であつたと云ふことまでも知り、餘りに皮肉な運命に一時は驚きはしたが彼女が、庄右衛門を相手に惡怯れもせず、罵りて鬪つた女としての勇氣や、膽力に敬服すると同時にそこに云ひしれぬ、異性に對する懷しさが湧いて來たのであつた。

それだけに、彼等は二人とも、どんなきつかけをつくつて、挨拶したものか、困惑したのである。

だが、三郎は、主人助左衛門の吩咐で、大阪城に使ひしたのであるから、これから復命しなければならぬ仕事があるのだ。もう夜も更けたらう、愚圖々々しては居られない。淋しからうが、五月野一人を殘して、堺へ歸らなければならない。——と、心は急きながらも、なんだか五月野一人を殘して去るのが、あまりにつれない仕打のやうに思はれてならぬのだつたと云つて、彼はどう云つてこの同情を傳へたものか、それにも當惑したのである。

彼女にしても、想ひは同じだつた。

——遠里小野樣とは、一刻も放れがたない想ひがする。たゞ默つて、何に一つ言葉を交さなくも、この家に、凝として長くゐて貰ひたい。兄として、親い友として、いつまでも二人で——と、こゝろはやつてゐても、それをどう云ひ出したものか、わからなかつた。

しかし、二人とも、いつまでも默つてゐるわけには行かない。遂う〳〵遠里小野三郎から口を切つたのである。

「私も、主人のある身の上、いつまでもかうして居られませぬ。庄右衛門奴も懲りたとして、二度と手は出さぬでせう、これでお暇いたします。また御縁があつたら、お目にかゝりませう」

と云はれて見ると、五月野も強ひて止めるわけにも行かなかつた。

「折角、お助け下されて、お禮の申上げようも御座いません。このまゝお別れ申すのも、お名殘惜う御座います。ついてはお住居だけでも、伺はしていたゞけますまいか？」

「別に、定つた宿とてもない者です。では御無事で……」

「でも御座いませうが、どうか」

「それ程に仰しやるなら、申上げぬでもない。私は、呂宋助左衛門の部下、遠里小野三郎といふ者です」

「えつ！あの、助左樣のお身內の遠里小野樣！」

五月野は、不思議な驚きに打たれた。

それは遠里小野三郎が、庄右衛門を知つてゐたから、どんな人だらうと、いろ〳〵に想像してゐたのに、いまこの若い武士の臆らぬ告白を聞いて、驚きにもまして慕はれてくるのであつた。

だが、いつまでも引き止めて置くわけには行かない。彼女は、心を冷鬼にして

「また、こちらへでもお通りの節は、お立寄り下さいませ。今宵は遲うも御座りますから、お引止めもいたしませぬ」

「また、お目にかゝる時も御座りませう、これで御免を蒙ります」

遠里小野三郎は、かう云つて名殘り惜げに立ち去つた。

ガランとした破屋に、たつた一人殘された五月野は、三郎の足音が遠のくと、どつとばかりに泣き伏した。

そこへつかつかと入つて來た者がある。

麻生路郞氏句會

來三月二十二日午後六時半より山縣通り大連亭にて開催來會歡迎

◇宿題（十九日締切）
「心」　麻生路郎氏選
「萌」　高橋月南氏選
「熱愛」　大島濤明氏選

◇市內西公園町一四九大島宛投句

滿日柳壇

友情　編輯局選

久々の友訪れ來て夜を更し　山海關　小林　鳩公
戰友を肩に背負つて追擊し　同　杉浦　田甫
無遠慮な友の情の強意見　同　若杉　春曉
過ちも友情の中に氣がねなし
親展もフレンドの仲見せて居り　同　水野　亭流
只だ祈る心へ友の便り待ち
逝ける母慰めつゝも友も泣き　同　吉田　甲子
友情の忠告も聞く金を借り
友情は親にも云へぬ事で來る　旅順　桃井たかし
友情もつゞくは金のある間
友情の一歩戀への甘き道　小平島　田村　秋泉
友情が度かさなつて戀心
身に浸みる友の情を病み續け　撫順　松浦　蝶古
成功に輝くなかに友が待ち
勵ませば友達甲斐の顏をあげ
友情のテープの端に涙する　大連　櫛部さき子
友情もサイダーのやう淡くなり
友情はレター一ぱい溢れてゐ　奉天　古田部凹一
友情を質草にする辛い暮
管鮑も同性愛の端くれか　大連　今宮　龍音
友に泣く涙は暗く部屋を出る　開原　古市　贅六
どん底を友の情で職につき
友情の深き竹馬と老いて行き
親切に囚徒情けの友へ謝し　大連　大島さし子
友達の情けで持つ新世帶
友情を越えて相思の仲となり
成功の歸國友情みんな寄り
占領の喜び合ふた無事な顏　承德　川口　天山
久方に逢ふ友情のため涙
友情がつのりて果ては三原山
友情を越えてはならぬ友が出來　大連　杉原　可坊
見ぬ友の情け涙の御一封
銃前に銃後に友の深情け　大連　林　子禾
美しい友情そこらを皆泣かせ
友情を賣るまで欲しい戀でなし
お互ひに變つて友情湧き返り　大連　三谷　一伸
輸血して友の意識にほつとする　小平島　梶山　房枝
友情の差入れに泣く留置場
大吹雪友を案じる捜索隊　大連　青木さみ子
危機一髮も友情でもつ有難さ　大連　山崎きみ子
友情は泣いて財布の底を見せ　大連　橋口　日笑
友情がにじみ出てゐる長手紙　奉天　野口　安生
花の山舊友に會うて生一本　大連　綾野　玉蓮
友情がさんだ所で悔いて居り　大連　林　惠美子
友情がもえて目頭あつくなり
日滿の友情匪賊退し
活動の友情の場面すゝり泣き　大連　永野　連峰
友情は胃散のやうに苦くきゝ　鞍山　瀧　みどり
友情のこもる涙の慰問品　新京　まつだ生
友情を越えた二人へある憫み　大連　寺山青々庵
物質でなき友情へ泣かさるゝ
友情を捨てるに惜しい戀となり　甘井子　田中美津嶺
優勝に應援團も泣いてくれ
友誼の深さ涙の量で知り　大連　野田あた坊
借りるとき丈け友情押賣し
過ぎ去りし友の意見へ今詫びる　山海關　上倉　都一
就職が出來て友情へ二人連れ　新京　天草　靜子
ルンペンになつて友情の味を知り　奉天　岡田　初郎
友情へ今日も泣いてる鐵窓裡
落ちぶれの身へ友情の疎くなり
元氣でやつて來いよテープ切れ　大連　尾道九十八
友情の涙に浮ぶ學資金
友情の弔詞に泣かす小學生　大連　赤井　一村
友情の溢れ金では買へぬなり
ダンサーの友情桃色混りなり
また今年變らぬ友の年賀狀　大連　渡邊　雨明
落ちぶれこんな時さへ助け合ひ
披露宴親しい友は素破ぬき
友情に泣くこの頃の俺の運　新京　伊藤更生子
友情も金あるときは親まれ